趣旨等を記載した書類

ア　設置の趣旨及び必要性

１．沿革

西九州大学は、昭和 43 年、「高度の知識を授け、人間性の高揚を図り、専門知識と応用技術をもって社会に貢献し、世界文化の向上と人類福祉に寄与する人材を養成する。」を建学の理念とし、佐賀家政大学として、家政学部家政学科の１学部１学科からスタートした。

その歴史を遡れば、昭和 21 年の佐賀栄養専門学校創立にその端を発している。その後昭和 49 年に「西九州大学」に名称変更し、家政学部に社会福祉学科を設置した。

西九州大学の教育方針は「あすなろう精神」という言葉に集約される。「あすなろ(翌檜)」とは檜科に属する常緑樹であるが、今はあすなろの幼木であっても、風雪に耐え、やがては檜の大木にも負けない力強い大樹になろうとする志を意味する。すなわち、今は荒削りで未完成の若者であっても

①　大地にしっかりと根を張り、少々の風では挫けないような信念と根性

②　未来という天空に向かって真っ直ぐに伸びていくような意欲と行動力

③　周囲を見渡す大木のように高い志と広い視野

になって欲しい。

このような進取の気質に富んだ人間性に裏打ちされた専門的職業人の養成を、人間教育の柱として、取り組んできている。

さらに今日では、

①　健康と福祉に関する「知の創造拠点」の整備充実

②　新しい社会人としての人間的資質の養成「あすなろう精神」に基づく人間教育

③　人間の健康と福祉に寄与する専門的職業人の育成

の三通りの項目からなる「大学運営の基本構想」が追加されている。

このような理念を背景として、平成 11 年には西九州大学大学院を開設、平成 13 年にそれまでの西九州大学家政学部を西九州大学健康福祉学部に名称変更した。

そして平成 19 年には、高齢化社会、その他の社会的ニーズに応えるため、リハビリテーション学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）を開設し、平成 21 年には、育児・保育・幼児教育・児童教育などの分野で山積する課題に対応するため、子ども学部子ども学科を開設するに至った。

資料１：西九州大学の沿革（概要）

資料２：学校法人　永原学園の沿革（概要）

このような沿革・実績をふまえ、この度、本学健康福祉学部に新たにスポーツ健康福祉学科の設置を目指す背景と設置の趣旨、及び設置を必要とする理由は以下の通りである。

２．健康福祉学部スポーツ健康福祉学科の設置

１）社会的背景

少子高齢化社会が進む我が国において、社会の活力の低下や人間関係の希薄化など様々な問題や将来への不安が生じている。佐賀県などの地方圏では、特に大都市地域への若者人口流出や経済活動における活力の低下といった問題も抱えている。こうした問題を克服し、新しい豊かな社会を構築するためには、福祉の面からの社会環境の整備とともに、すべての人が地域社会に参加できる環境を作り上げる取り組みが求められる。こうした中で、誰もが望んでいる健康寿命の延伸やロコモティブシンドローム予防など健康を基盤とした生活の質の向上、特に生きがいをもって豊かな生活と積極的な社会参加ができることが重要であり、そのための環境とコミュニティづくりが急務であると言える。

折しも、我が国では、スポーツ立国戦略が策定され（平成 22 年８月）、また、平成 23 年８月にはスポーツ政策の基本的方向性を示すスポーツ基本法が施行された。その施策は、国民の誰もが体力、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現し、スポーツを活用して健康で活力に満ちた長寿社会を実現し、新しい公共の形成を推進しようというものである。この施策の理念は、高齢者や障害者の福祉において新しい展望を開くバックボーンにもなり得るものでもある。

こうした情勢に鑑み、本学では、高齢者や障害者に対する深化した生活支援の提供も視野に入れて、社会福祉の専門知識を身につけ、さらに健康運動やスポーツ・レクリエーションを活用して生活の質の向上や豊かな生活の構築に貢献でき、そして、誰もが健康で活力に満ちた新しい公共の形成を担うことができる人材の育成をめざして、「健康福祉学部スポーツ健康福祉学科」を設置することとした。

２）健康福祉学部に新学科（スポーツ健康福祉学科）を設置する意義

本学は創設以来、「健康と福祉」をテーマとして、栄養と福祉の分野を中心に、専門知識と応用技術をもって社会に貢献する人材の育成をめざしてきた。健康福祉学部では、これまでに管理栄養士、社会福祉士、学校教員など多くの人材を地域社会に送り出し、リハビリテーション学部では、理学療法や作業療法の分野で活躍する人材の育成に努めている。子ども学部では、子どもの成長発達をさまざまな立場でサポートする人材の育成を進めている。

このような教育研究上の実績をもつ本学健康福祉学部にスポーツ健康福祉学科を新たに設置する意義は、既設学部が対象とする高齢者や病弱者、障害者、子どもだけでなく、すべての人に対して、運動やスポーツ・レクリエーションなどの身体活動を通して積極的な健康維持・向上、生活支援ができる人材を育成することにある。保健、医療、福祉の各分野と健康、スポーツの分野とが連携した教育研究活動を展開することを通して、本学の建学理念である「あすなろう」精神をさらに具現化し、すべての人々が幸福で豊かな生活ができる地域社会の実現に寄与しようとするものである。

３）健康福祉学部スポーツ健康福祉学科における教育上の理念、目的

（１）教育研究上の目的

西九州大学学則第１条　（目的）

「高度の知識を授け、人間性の高揚を図り、専門知識と応用技術をもって社会に貢献し、世界文化の向上と人類福祉に寄与する人物を養成する」

スポーツ健康福祉学科は、上記学則にある目的に沿って、学生の人間性の高揚を図り、スポーツ、健康、福祉分野の専門知識と応用技術をもって障害者や高齢者を含むすべての人に対して生活の質向上のサポートをする人材を養成する。したがって、スポーツ健康福祉学科における教育研究上の目的は、スポーツ、健康、福祉分野に関する学際的総合的な研究の体系化と、それを基礎とした応用的実践的な教育研究の展開である。ユニバーサル社会の理解と健康スポーツの専門知識を基盤に、真心をもった人間性と高度な知識・技術をもって、すべての人に対して生涯にわたってスポーツを活用した豊かな健康生活を支援できる専門職業人、および広範な領域で活躍する社会人の育成を教育上の目標とする。

（２）中心とする学問分野

上記の理念および目的から、スポーツ健康福祉学科の教育研究上における中心的な学問分野は、「障害者や高齢者における福祉とその支援を考究する社会福祉学」と、「スポーツや運動、レクリエーションなどの身体活動を活用した健康管理と社会支援のあり方を考究する健康スポーツ学」である。社会福祉学と健康スポーツ学を中核に据えつつ、栄養学、リハビリテーション学、教育学など隣接諸科学の知見を応用することによって、健康生活支援と社会参加支援とに関する学際的総合的な知の体系の樹立を企図している。

（３）教育研究上の到達目標

健康福祉学部スポーツ健康福祉学科の教育がめざす人間像は、「ユニバーサル社会の理解と福祉の心を基盤に、スポーツや身体運動を活用した健康生活支援ができる専門的な知識・技術と応用的能力を備えた社会人」であり、以下の５点を教育上の到達目標とする。

①教養教育・専門教育を通しての総合的な人間力の育成
②社会福祉と健康スポーツに関する学際的総合的な研究活動の展開
③身体運動を通して健康生活支援ができる専門的知識と技術の教授
④障害者や高齢者の健康生活支援に必要な専門的知識と技術の教授
⑤豊かな人間関係を築くために必要なコミュニケーション能力の育成

イ　学生確保の見通しと社会的な人材需要

１．学生確保の見通し

スポーツ健康福祉学科は、既存の社会福祉学科における社会福祉学を基盤に新たにスポーツ学及び健康科学を融合させた複合分野の学科として設置するものである。ここでは、各種データをもとに設置後の学生確保の見通しについて説明する。

最初に、関連分野における全国の志願者動向について見てみることにする。

リクルート進学総研は、発行する高等教育機関の学校経営専門誌「リクルートカレッジマ

ネジメント」の 179 号（Mar.-Apr.2013）において、平成 24（2012）年時点の国公私立大学に設置されている 5,128 学科を分析対象とした学部・学科トレンド特集（pp.6-29）を組んでいる。それによると、78（リクルートが独自に分類）の単独分野における直近４年間（平成 20～24 年）で志願者数の増加が大きい学科系統の分野 14 番目に「スポーツ学（3,694 人）」が位置している（資料３-１）。さらに、539 種（上記 78 分野に該当しない複数の分野が融合した学科をリクルートが独自に分類）の複合分野における同様の志願者動向では、「スポーツ学」と「健康科学」の組み合わせが 11,156 人の増加で１位（資料３-２）となっており、単独及び複合分野ともに「スポーツ学」は、志願者が増加傾向にあることが確認できる。

また、同分野の好調ぶりは、同特集の中の平成 20 年から平成 24 年の新増設・改組トレンドの項で、同期間に新しく増設された複合分野の合計設置数ランキングにも表れている。それによると、スポーツ学と健康科学の組み合わせによる学科増設数は 17 と全体で２番目（１位は教育学と保育・児童学の 21、３位は栄養・食物学と健康科学の７）に位置し、新増設時の平均志願倍率は 10.6 を示している。一方、同分野の順調な成長の勢いが今後も継続するか否か心配されるところであるが、同誌が示す志願者が増加している学科系統のポテンシャル（募集定員増＝志願者数増）及び大都市圏とローカルの分野別ポテンシャルについての解説によれば、スポーツ学と健康科学分野は、ローカルにポテンシャルが高く、募集定員が不足している分野に位置しており、ローカルで募集定員を増加すると今後も志願者が集まる可能性が高いと述べられている。

続いて文部科学省による平成 24 年度学校基本調査を見てみると、体育・スポーツ系学部における全国の入学志願者数の動向（資料３-３）は、全体で 8,672 人の入学定員に対し入学志願者数が 41,622 人となっており、志願倍率は 4.80 を示している。さらに、スポーツと健康の複合分野による学部の志願倍率を見てみると、スポーツ健康政策学部 4.30、スポーツ健康（科）学部 6.33、健康・スポーツ科学部 8.74 となっており、体育・スポーツ系学部の中でもより高い倍率を示す傾向となっていることから、同様の複合分野として設置する本学スポーツ健康福祉学科も、ある程度の志願者数が見込めるであろう。

次に、本学が位置する九州北部地区の志願者動向について見てみたい。

九州北部地区には５学科（４大学４学部）のスポーツ系学科が存在するが、それらの平成 24 年度入学動向についてまとめたものが資料３-４である。全体では 610 人の募集枠に 1,973 人の志願者が存在し、志願倍率は 3.23 となっている。先述の全国傾向では判断できなかった、スポーツと健康に「福祉」を含めた複合分野としての学科志願倍率について見てみると、九州看護福祉大学看護福祉学部鍼灸スポーツ学科で 2.10、熊本学園大学社会福祉１部ライフ・ウェルネス学科で 1.88 となっている。これは、上記の表イ-①-１リクルート調査による単独分野における直近４年間で志願者数の減少が大きい学科系統の分野 13 位に「福祉学（－3,038 人）」があがっていることからも分かるように、その影響は否定できないが、既存の２つの学科の実績通りおおよそ 2.00 という数字は見込めるものと推察できるであろう。

では、本学スポーツ健康福祉学科への実際の志願者はどの程度見込めるのだろうか。ここでは、本学が第三者機関（日本開発構想研究所）に依頼し、平成 24 年 7 月～9 月にかけて実施した新学科設置計画に関するアンケート調査の結果について見てみたい。但し、調査当時は「健康スポーツ学科」として新学科設立を構想していたが、事前相談の段階で教育課程などとの整合性を示すため、学科名称を「スポーツ健康福祉学科」へ修正した。

調査概要として、調査対象校は、本学所属学生の主な出身県である佐賀・福岡・長崎地区の本学に入学実績のある高等学校、並びに、平成 24 年度の本学オープンキャンパスの参加者在籍校を抽出して行った。調査協力校は全体で 37 校（41 校に依頼）、県別では佐賀県 22 校（23 校に依頼）、福岡県 10 校（13 校に依頼）、長崎県５校（５校に依頼）であった。調査対象者は、調査時点において高等学校２年生とし、有効回収数としては 6,984 人を得た。調査の結果、進学意向については「進学を希望する」と回答した者は 28 人（0.4%）、「一応進学を考える」は 100 名（1.4%）、「受験先の一候補」は 434 人（6.2%）であった。また、学科に対して「興味を感じる」とした者は 489 人（7.1%）、「少し興味を感じる」1432 人（20.5%）となっている（資料３-５参照）。

今回、本学は「スポーツ」という新しい分野への参入を試みるが、これら進学意向および興味関心度の結果から、これまでの進学実績校の中でスポーツ分野を希望している層と同時に、これまで進学実績のなかった高等学校の同じ層への関係構築が可能となり、仮に調査の対象を近隣の全公立・私立高校に広げた場合、進学を希望すると答える生徒の実数はさらに高くなるものと予想される。

また、日本開発構想研究所の本調査に関するレポートにおいても、「アンケート回答時点では様子を見ている段階であり、進学先候補の一つとして位置づけていると考えられる回答者（「一応進学を考える」を回答）まで含めると、入学定員の２倍を超える回答者（128 人）がいることになる。今後、具体的な教育内容や卒業後の進路などを明確にし、特色や魅力となる点を示すことができれば、入学を志願する可能性は高まることが期待できる。（中略）したがって、入学定員 50 人の確保は十分可能な範囲にあると見込まれる。」と述べられている。

以上、全国及び九州北部地区におけるスポーツ・健康分野の学部・学科の動向と、近隣地区における本学への進学意向調査の結果を踏まえ、最後にスポーツ健康福祉学科の平成 26 年度～平成 29 年度における入学志願者数等の見通しを想定してみたい。

冒頭で述べた通り、スポーツ学と健康科学の複合分野は全国のトレンドとなっており順調に成長している。さらに、そのポテンシャルは大都市圏よりローカルで高く、募集定員を増加することで志願者も集まる可能性が高いことから、本学が位置する佐賀県（ローカル）での学生確保は長期的に見込めるであろう。しかし、分野の中身より大学そのもののブランド力が全体のトレンドに与えている影響も拭えないとの見解もあることから、本学の志願倍率 2.07（平成 25 年度実績）と、先述した九州北部地域における「福祉」を含めた複合分野の学科志願状況（資料３-４参照）を踏まえ、本学が新設するスポーツ健康福祉学科の入学志願者数等の見通しを示したものが資料３-６である。

資料３－１：志願者数の増減が大きい学科系統（平成 20～24 年）
資料３－２：複合分野の志願者増加ランキング（平成 20～24 年）
資料３－３：平成 24 年度体育・スポーツ系学部の入学志願者数の動向（全国）
資料３－４：平成 24 年度スポーツ系学科の入学志願者数等の動向（九州北部地域の大学）
資料３－５：「西九州大学の新学科設置計画に関するアンケート調査」報告書
資料３－６：本学スポーツ健康福祉学科の入学志願者数等の想定（平成 26～29 年度）

２．卒業後の具体的な進路

スポーツ健康福祉学科の教育がめざす人材は、「ユニバーサル社会の理解と福祉の心を基盤に、身体運動を通じた生活支援ができる専門的な知識技術と応用的能力を備えた社会人」である。

スポーツ健康福祉学科では、社会福祉士国家試験受験資格、中学校、高等学校の保健体育教諭一種免許、健康運動指導士、健康運動実践指導者、障害者スポーツ指導者、レクリエーション・インストラクター、日本体育協会公認スポーツ指導者等の資格を、本人の選択によって取得できるため、卒業後の進路として、社会福祉施設や福祉行政などの社会福祉に関わる民間企業や団体、教員、警察、消防署などの公務員、スポーツ団体やスポーツ用品メーカーなどのスポーツに関わる民間企業や団体、健康増進施設や食料品などの健康に関わる民間企業や団体へ就職すると予想される。また、各教科の学習やボランティア、インターンシップなどで習得した知識やコミュニケーション能力は、関連分野以外の一般企業の就職にも役立つ。

以上、学生の個性と能力に応じた多様な進路を想定し、個別性に対応できるきめ細かな就職支援体制を準備する。

予想される主な進路先

- 社会福祉関連（福祉施設や、社会福祉協議会など）
- スポーツ・健康増進関連産業
- 医療機関（メディカル・フィットネス部門）
- 保健体育教員（中学校・高等学校）
- 官公庁、団体職員
- スポーツ関連及び福祉機器関連一般企業

３．地域社会の人材需要の見通し

我国の総人口はここ数年の横ばいから減少傾向を示す一方、65 歳以上の老年人口は年々増加し高齢化が急速に進行する状況で、医療や福祉への関心は高い。厚生労働省は、生活習慣病の予防や社会生活を営むために必要な身体機能の維持および向上により健康寿命の延伸と健康格差の縮小を実現する、21 世紀における第 2 次国民健康づくり運動（健康日本 21（第２次））や特定保健指導、メタボリックシンドローム対策、ロコモティブシンドローム対策などを推進し、健康を支え、守るための社会環境整備を進めている。また、スポーツ基本法ではライフステージに応じたスポーツ活動の推進や地域スポーツの活性化において、その環境整備とともに専門的知識をもった指導者の確保の必要性を示している。

新学科の地域社会における人材需要の見通しについて、本学が第三者機関（廣告社株式会社）に依頼し、平成 24 年６月～７月にかけて実施した近隣企業・施設の新学科への興味・関心及び卒業後の採用意向調査（依頼数 600、回収数 107、有効回答率 16.7%）を行った。その結果、「スポーツ健康福祉学科」で学んだ新卒採用意向（資料４－１）では、48.1%が「採用対象となる」と回答し、さらに「採用対象として今後検討してもよい」の割合 24.1%を含めると、72.2%にのぼる。このことから、卒業後の進路において、近隣企業・施設の新学科の新卒者ニーズは高い割合で存在しているものと推察される（資料４－２参照）。

続いて、予想される主な進路先別に見ていくことにする。まず、今後、最も需要が高いと予

測される、健康運動指導士や健康運動実践指導者など含めたスポーツ・運動指導者が、各現場で現在どの程度雇用されているのか概観する。平成 22 年度スポーツ・運動指導者に対するニーズ調査報告（財団法人健康体力づくり事業団）によると（資料４−３）、民間のフィットネスクラブでほぼ 10 割、病院・診療所においても約６割がスポーツ・運動指導者を雇用している。また、本学科で取得できる健康運動指導士、健康実践指導者、保健体育教員免許による各資格取得者の雇用及び業務委託状況を主な業種別で見てみると（資料４−４）、民間のフィットネスクラブや、公共のスポーツ施設、健康・医療・スポーツ関連団体での雇用率が高く、特に前者２つの資格取得者についてはその傾向が顕著であることから、健康と運動をキーワードとした利用者の多様なニーズに応え得る専門知識と技術を有した人材の需要度の高さが理解できる。

さらに、これらの業種の中でも雇用・業務委託割合が特に高い値を示している「民間のフィットネスクラブ」における過去 10 年間の経営動向を見てみると（資料４-５）、売上高と指導員数はほぼ横ばいで推移しているものの、会員数、事業所数が増加していることから、今後の売上高の上昇が期待できる。また、指導員数の横ばい状況については、上述した通り、健康と運動に関する専門知識と技術を有する人材の高い雇用率が実証している通り、指導員の中でも優先的雇用が見込めるものと推察される。

つぎに、本学科で取得可能な障害者スポーツ指導員資格について見てみたい。同資格は、厚生労働省が発行している障害者白書の中で取り上げられている「スポーツの振興」に直接的に関わる資格であり、今後、高齢者及び障害者スポーツを中心としたアダプテッド・スポーツの普及や、本学所在地である佐賀県が積極的に取り組んでいるユニバーサルデザインの推進役としても活躍が期待されるものである。しかし、佐賀県内の人口比による同資格取得率（資料４-６）は 0.018%（全国 24 位）と、その期待に応えるに十分な数字であるとはいえないことから、本学科による同資格取得者の輩出は、地域ニーズにマッチしたものと言える。

以上のことから、本学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科における人材養成は、福祉分野や健康産業分野に対し、専門的高度な技能をもった人材を補い、佐賀県をはじめとした九州地区における健康生活支援に寄与するところが大きい。

なお、佐賀県内には、本学を含めて大学が２校、短期大学が３校存在する。保健体育教員養成など本学科同様の資格取得が可能な大学は、国立大学法人佐賀大学文化教育学部のみである。しかも、同大学の定員数は少数であり、地域社会の福祉分野や健康産業分野の人材需要から見ても、充分にその専門知識や実践的技術を活かした就業が可能と考えられる。

資料４−１：「スポーツ健康福祉学科」で学んだ新卒採用意向
資料４−２：新学科設置に関するアンケート調査＜事業所対象＞調査結果報告書
資料４−３：スポーツ・運動指導者の雇用状況
資料４−４：主な業種別にみたスポーツ・運動指導資格所持者の雇用・業務委託状況
資料４−５：フィットネスクラブの売上高、会員数、事業所数、指導員数
資料４−６：日本障害者スポーツ協会公認スポーツ指導員登録者数

ウ　学部、学科等の特色

平成 24 年 8 月 28 日付中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」では、予測困難な時代において、高等教育段階で培うことが求められる「学士力」によって、社会人としての自らの責務を果たし、他者に配慮しながらチームワークやリーダーシップを発揮して社会的責任を担いうる、倫理的、社会的能力を発揮することなどが求められている。また、これからの目指すべき社会像と求められる能力として国民一人一人が主体的な思考力や創造力を育み、想定外の困難に対処する判断力の源泉となるような教養、知識、経験を積むとともに、協調性と創造性を併せ持つことができるような大学教育への質的転換と、少子高齢化社会等の中で誰もが必要な医療、介護、保育等を安心して受けられる社会的システムの構築と維持、そのための必要な人材の育成が必要であると記している。

西九州大学においては、昭和 43 年の建学以来、「あすなろう」精神のもとで、常に時代の要請を敏感に受け止め、それに応える教育研究の展開に努めている。

そのなかでスポーツ健康福祉学科は、これまでの健康福祉学部で築いてきた伝統とリハビリテーション学部や子ども学部を含めた専門性の高い知識と実践力を活かし、ユニバーサル社会の理解と福祉の心を基盤に、身体運動を通じた健康生活支援ができる専門的な知識技術と応用的能力を備え、健康運動やスポーツ、レクリエーションを活用して生活の質の向上や豊かな生活の構築に貢献できる人材を養成する。

特に、障害者や高齢者を対象とした健康生活支援も視野に入れた社会貢献にも目を向け、社会福祉領域の専門的知識を基盤に健康運動やスポーツ・レクリエーションの知識と実践力とともに他者への配慮やチームワーク、リーダーシップなどの能力を養う教育を行う。

具体的には、①全ての人を対象とする包括的な身体運動のあり方について学ぶ、②現代社会に求められる健康運動・スポーツ・レクリエーションの知識と実践方法を学ぶ、③地域に密着し、健康運動・スポーツ・レクリエーションなどを活かしたコミュニティづくりについて学ぶ、④高齢者や障害のある人の生活支援における健康運動やスポーツ・レクリエーションの活用をユニバーサル社会の実現の視点を含めて学ぶ、⑤保健体育教育について専門的に学ぶ、ことを教育内容とし、スポーツ健康福祉学科の特色とする。

これらの実現は、西九州大学を健康生活（社会）支援の総合大学として位置づけるものである。

エ　学部、学科等の名称及び学位の名称

健康福祉学部は、創立当初より健康と福祉による社会貢献を実現するための中核的な学部として、社会福祉学科と健康栄養学科それぞれで専門的な実践力を身につけた人材を養成してきた。さらに「健康生活支援」を本学のキーコンセプトを位置づけるために、既存の社会福祉学科と健康栄養学科で培われた社会福祉と健康スポーツに関する学際的総合的な教育研究分野を、新たに独立し

た学科として明確に体系化し、スポーツ健康福祉学科の名称でさらなる社会貢献をしようとするものである。

健康福祉学部スポーツ健康福祉学科がめざす人間像は、「ユニバーサル社会の理解と福祉の心を基盤に、スポーツを活用した健康生活支援ができる専門的な知識と応用力を備えた社会人」であり、教育研究の中核をなす学問分野が「障害者や高齢者における福祉とその支援を考究する社会福祉学」と「スポーツや運動など身体活動を通した健康管理と社会参加支援の在り方を考究する健康運動学」であるため、その融合した学問領域を修得した学位として「学士（スポーツ健康福祉学）」を授与することとする。

大学名	西九州大学	Nishikyushu University
学部名	健康福祉学部	Faculty of Health and Social Welfare Science
学科名	スポーツ健康福祉学科	Department of Sports, Health and Welfare
学位の名称	学士（スポーツ健康福祉学）	Bachelor of Department of Sports, Health and Welfare

オ　教育課程の編成の考え方及び特色

１．教育課程の編成方針

１）教育課程の編成の考え方（開設科目の区分）

健康福祉学部スポーツ健康福祉学科の教育課程は、「共通教育科目」と「専門教育科目」の２部門で構成される。

（１）共通教育科目

共通教育科目は、「共通基礎科目」、「教養教育科目」、「語学」、「健康運動学」、「情報処理」の５つに区分される。このうち、「共通基礎科目」は、本学の建学理念である「あすなろう」精神を具現化した科目である。「語学」「健康運動学」「情報処理」は、４年間の学習過程の基礎技能にかかわるものであり、主として１、２年次に履修する。「教養教育科目」は、専門教育科目と相互に補完しあうことにより、学生に幅広い教養を授け人間性の陶冶を図ることから、１年次から４年次まで各自が自由に選択履修する。

ア．共通基礎科目

共通基礎科目として、本学の建学理念である「あすなろう」精神を具現化した「基礎演習あすなろう」を開講する。

「基礎演習あすなろう」は、１年次通年隔週の必修科目である。大学生活のスタート時点における学習生活支援を目的とし、学長による建学理念についての講話、大学と高校との違いと共通点、大学での勉学の特徴、レポートの書き方などの内容を、少人数のゼミ形式によ

り実施する。ゼミ担当教員は、学生の年間にわたるチューターを務め、学習や生活上の相談にあたる。これによって、いわゆる「五月病」を予防し、教員のきめ細かな個別的指導と学生同士の人間関係の構築を通して、新入生の大学生活への円滑な移行を援助する。

イ．教養教育科目

「実践教養」「人間と文化」「人間と社会」「人間と自然」の４領域からなる。上記共通基礎科目を補完する実践教養科目「あすなろう体験群」と、文化的、社会的、自然的存在としての人間に多様な学問領域からアプローチすることで、幅広い教養と人間性を養うとともに、人間について広く深く理解するための視点やものの見方を培おうとするものである。

①「実践教養」は、「あすなろう体験Ⅰ（基礎）」「あすなろう体験Ⅱ（実践）」「あすなろう体験Ⅲ（応用実践）」の３科目で構成される。これらは、通常の授業では実施しにくい、学外での企業体験や社会体験、地域のさまざまな行事に参加するボランティア活動など、体験的学習を中心に構成され、職業意識や市民意識、公共心の涵養を図る。なお、「あすなろう体験Ⅰ（基礎）」は学外での体験活動を主とする１年次通年隔週の必修科目である。

②「人間と文化」は、「心理学入門」「現代社会と倫理」「人間論と現代思想」「文学と言語」「生涯学習論」「人間の歴史」「脳と認知科学」「異文化理解」「海外研修」の９科目で構成される。

③「人間と社会」は、「法学」「日本国憲法」「社会学入門」「くらしと経済」「ジェンダー論」「少子高齢化社会と人間」「人類学」の７科目で構成される。

④「人間と自然」は、「生命のしくみ」「生物と環境」「化学入門」「統計学の基礎」「物理学入門」「地球環境科学」の６科目で構成される。

これら教養教育科目は、「あすなろう体験Ⅰ（基礎）」以外すべて選択科目である。なお、「生涯学習論」「少子高齢化社会と人間」「生命のしくみ」は、健康、体育・スポーツ及び社会福祉分野への関連がとくに深い科目であることから、学科推奨科目に指定する。

ウ．語学

①英語を必修科目として４単位（「総合英語」「英語表現」）、選択科目として４単位（「英語会話」「上級英語」）開講する。

②第２外国語として、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」を、いずれも選択科目として開講する。

エ．健康運動学

①講義科目である「健康・スポーツ科学」を選択科目として開講する。

②実技科目として１年次「フィットネス・スポーツ」、２年次「ウェルネス・スポーツ」をそれぞれ開講し必修とする。

オ．情報処理

１年次の必修科目として、「情報処理基礎」を演習形式で実施する。

（２）専門教育科目

専門教育科目は、「学部基幹科目」「学科基幹科目」「学科専門科目」３つに区分される。既設学科の有する知見や人材を活用した科目に体育・スポーツ学関連科目を配置し、現代の健康社会をめぐる諸課題に多角的にアプローチし、幅広い視野と実践力の育成をめざす。

ア　学部基幹科目

学部基幹科目として、既存学科や健康スポーツ学の専門学問領域科目の習得に必要な概括的考え方や基礎知識の修得及び学習意欲の喚起を図ることを目的とする「健康福祉概論」を必修科目として配置する。

イ．学科基幹科目

学科専門科目として、すべての人が豊かな生活を送る上で必要となる支援についての基本的な考え方を学習する「生活支援学総論」と現代社会における福祉の在り方を学習する「現代社会と福祉Ⅰ」「現代社会と福祉Ⅱ」および運動やスポーツなどの身体活動を通した健康の維持・増進と福祉についての基本的な知識及び考え方を学ぶ「スポーツ健康福祉学概論」を配置し、「現代社会と福祉Ⅱ」を選択、その他の３科目は必修とする。

ウ．学科専門科目

学科専門科目は、「ゼミナール」「社会福祉に関する科目」「健康スポーツに関する科目」「社会福祉及び健康スポーツ関連科目」「教職に関する科目」の５つに区分される。

①ゼミナールについては、専門ゼミとして３年次に「スポーツ健康福祉学演習Ⅰ」、４年次には４年間の学修の総仕上げとして「スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究）」を配置し、いずれも必修とする。

②社会福祉に関する科目は、既存学科に倣い社会福祉士養成に必要となる科目を中心にした全 38 科目を選択科目として「人・社会・生活」「地域福祉」「福祉サービスに関する知識」「相談援助の理論と方法」「相談援助の演習・実習」の５つの領域に区分して設定する。

ⅰ．人・社会・生活

人・社会・生活の区分には、人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法につ

ていて学習する、「人体の構造と機能及び疾病Ⅰ」「人体の構造と機能及び疾病Ⅱ」「心理学Ⅰ」「心理学Ⅱ」「生涯発達心理学」「社会理論と社会システム」「社会調査の基礎」の７科目を配置する。

ⅱ．地域福祉

地域福祉の区分には、地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術を学ぶ、「地域福祉の理論と方法Ⅰ」「地域福祉の理論と方法Ⅱ」「福祉サービスの組織と経営」「福祉行財政論」「福祉計画論」の５科目を配置する。

ⅲ．福祉サービスに関する知識

福祉サービスに関する知識の区分には、福祉サービスに関する知識を学ぶ、「社会保障論Ⅰ」「社会保障論Ⅱ」「高齢者福祉論」「介護論」「障害者福祉論」「児童・家庭福祉論」「公的扶助論」「保健医療サービス」「就労支援サービス」「権利擁護と成年後見制度」「更生保護制度」の 11 科目を配置する。

ⅳ．相談援助の理論と方法

相談援助の理論と方法の区分には、総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術を学ぶ、「相談援助の基盤と専門職Ⅰ」「相談援助の基盤と専門職Ⅱ」「相談援助の理論と方法Ⅰ」「相談援助の理論と方法Ⅱ」「相談援助の理論と方法Ⅲ」「相談援助の理論と方法Ⅳ」の６科目を配置する。

ⅴ．相談援助の演習・実習

相談援助の演習・実習の区分には、相談援助の実際について学ぶ、「相談援助演習Ⅰ」「相談援助演習Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」「社会福祉援助技術実習」の９科目を配置する。

③健康スポーツに関する科目は、すべての人を対象に身体運動を通じた生活支援が可能となるために必要な理論と技能を習得するために、健康と運動・スポーツに関する学問領域の科目を中心にした全 43 科目を選択科目として「基礎科目」「健康運動支援関連科目」「生涯スポーツ支援関連科目」の３つの区分で構成する。

ⅰ．基礎科目

基礎科目の区分には、運動・スポーツと身体の仕組みを理解するのに必要な「運動学（運動方法学を含む）」「生理学（運動生理学を含む）」「バイオメカニクス」「コーチング学」、スポーツの心理及び関係性作用やスポーツライフのあり方を理解するのに必要な「スポーツ心理学」「スポーツ社会学」「生涯スポーツ論」、スポーツの政策活動やビジネスを理解するのに必要な「スポーツ行政」「スポーツマネジメント論」、そして人々の心身の健康を支援するための基礎を学習するため、「スポーツ栄養学」「健康管理学」「衛生学（公衆衛生学を含む）」「救急処置（学校安全を含む）」、運動（スポーツ）方法の基礎および高度な指導法や技能を習得するための演習科目と

して、「運動方法学演習１（体つくり）」、「運動方法学演習２（器械運動）」「運動方法学演習３（陸上）」「運動方法学演習４（水泳）」「運動方法学演習５（バスケットボール）」「運動方法学演習６（サッカー）」「運動方法学演習７（柔道）」「運動方法学演習８（剣道）」「運動方法学演習９（ダンス）」「運動方法学演習１０（健康体力つくり）」「運動方法学演習１１（アダプテッド・スポーツ）」「運動方法学演習１２（キャンプ）」、「運動方法学演習１３（スキー）」、スポーツ実技およびその指導方法を学習するスポーツ教育を支援する上で補完的知識として必要な「精神保健学Ⅰ」「精神保健学Ⅱ」「学校保健」の全 29 科目を配置する。

ⅱ．健康運動支援関連科目

健康運動支援関連科目の区分には、人々の身体運動による健康維持・増進活動を支援するのに必要な知識や技能を学ぶ、「運動処方」「運動負荷試験」「測定評価」「健康体力づくり論」「健康産業施設等現場実習」「健康運動総合演習Ⅰ」「健康運動総合演習Ⅱ」の７科目を配置する。

ⅲ．生涯スポーツ支援関連科目

生涯スポーツ支援関連科目の区分には、地域のすべての人の豊かなスポーツライフを支援するために必要な知識や技能を学ぶ、「地域スポーツ実践演習」「レクリエーション支援論」「レクリエーション支援演習」「アダプテッド・スポーツ論」「発育発達とスポーツ」「高齢者の健康と運動」「リハビリテーション論」の７科目を配置する。

④社会福祉及び健康スポーツ関連科目は、障害者や高齢者の運動・スポーツを含めた身体活動を支援する上で必要となる「ユニバーサルデザイン概論」「ユニバーサルデザイン各論」「健康生活と福祉技術」、健康及び福祉を取り巻く社会のあらゆる事象を客観的に捉える方法を学ぶ「健康福祉情報処理」「健康福祉統計法」、そして自分の将来に関連のある就業体験を行う「インターンシップ」の６科目を選択科目として配置する。

⑤教職に関する科目は、スポーツを通じた教育のあり方を理解するのに必要な「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」、教職の意義等を理解する「教職論」、教育の基礎理論を理解する「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」、教育課程及び指導法を理解する「教育課程論」「道徳教育指導論」「特別活動論」「教育方法論」、生徒指導、教育相談及び進路指導等を理解する「生徒指導論」「進路指導論」「教育相談」、そして教育実践を体験する「教育実践演習（中・高）」「教育実習事前事後指導」「教育実習」の 18 科目を選択科目として配置する。

２）教育課程の特色

（１）社会福祉学科を中核とする既存学科との連携

西九州大学が建学以来 45 年にわたって蓄積してきた教育研究上の成果を生かし、既設学

部・学科との連携を通して教育効果の双方向における向上を期待する観点に立って、「社会福祉学」と「健康運動（スポーツ）学」を中核に据えつつ、健康栄養学、リハビリテーション学、教育学などの隣接諸科学の知見を応用することによって、すべての人（特に障害者や高齢者）に対する運動・スポーツ支援と健康支援を通した生活支援、換言すれば福祉社会（ユニバーサル社会）の支援のあり方にアプローチする科目を開設する。

配置する科目は、健康やスポーツに関わる支援者に必要な基礎理論と技術を学び、それに基づく知識と技能を演習と学内外の実習の場で体験的に獲得していくことを可能とする科目配置を行うとともに、資格取得に結びつくよう編成している。

なお、平成 24 年 8 月 28 日中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」で示された、学生の主体的学修を促すため、２年次からは取得を目指す資格や本人の活躍を目指す職域に応じて科目を選択できるように、地域を主な活躍の場とする「福祉スポーツ支援モデル」と「健康づくり支援モデル」、学校を主な活躍な場とする「スポーツ教育支援モデル」の３つの履修モデルを設定している（履修モデルは、資料６-１～３（本文 18 頁）を参照）。

（２）少人数の演習、ゼミナールの実施

１年次の「基礎演習あすなろう」、３年次の「スポーツ健康福祉学演習Ⅰ」、４年次の「スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究）」の開設によって、入学から卒業まで、少人数のゼミと担当教員によるチュートリアルな指導を通して、学生による自主的な学習態度の育成とともに学生への個別的な学習支援の徹底を図る。

（３）ボランティアや体験学習の重視

本学の建学理念を具現化した「あすなろう体験」をはじめ、「社会福祉援助技術実習」「健康産業施設等現場実習」「地域スポーツ実践演習」「インターンシップ」等、学外での体験を伴う科目を開設することにより、昨今の学生に指摘される生活体験、社会体験の不足を補うとともに、地域の方々とのかかわりを重ねることによって特に、障害者や高齢者への理解を深め、支援のあり方を自ら考え実践する主体的学習態度と意欲の醸成を図る。

カ　教員組織の編成の考え方及び特色

１．教員配置

健康福祉学部スポーツ健康福祉学科の設置の趣旨に基づき全ての人を対象に、健康運動やスポーツ、レクリエーションを活用して生活の質の向上や豊かな生活の構築に貢献できる専門職業人を養成するために、それぞれの分野の経験豊富な教育研究者を専任教員として配置した。

本学の建学の精神「あすなろう精神」を教育課程の中心に置くことに配慮し、さらに、既設学科である社会福祉学科から７名が本学科に異動、新規採用教員２名と合わせて９名の専任教員の配置を計画している。

社会福祉に関する科目群は学科の特長を表す一つの柱となるもので、本学が長年培ってきた領域であることから、既設学部・学科の兼担教員を担当科目に配置する。そして、もう一つの柱となる健康スポーツに関する科目群については、専任教員と既設学部・学科の兼担教員をバランスよく担当科目に配置することで、質の高い教育の実施を計画している。

超高齢化社会の到来が目前に迫り、高齢者の健康問題が課題となっているが、本学科では健康運動学及びレクリエーションやアダプテッド・スポーツを専門とし対象に適した支援活動に必要な基礎知識から支援技術を教授できる専任教員を配置している。

共通教育科目は、既設学部の兼担教員が授業を担当するが、本学の基本理念を熟知しているので人間教育を中心として福祉の心を理解させることができる教員配置となっている。

主要科目は、原則として教授、准教授、講師が担当するよう配置した。助手は２名を置く。

２．教員の年齢構成と定年

教員の年齢構成は、資料に示すとおり、30 代から 60 代まで概ねバランス良く各年代に配置されており、適切であると判断している。

本学園における教員の定年は、現状では、教授 68 歳、准教授 65 歳、講師以下 60 歳（平成 13 年 12 月に、学校法人永原学園教職員就業規則の改正により、教育職員の定年は必要に応じて５年まで延長できる）となっている。今後教員年齢の上昇が憂慮されるが、適宜、若手教員を採用し、育成することが活性化に重要であると認識している。

本学部の専任教員には、完成年度を迎えるまでに定年を超える者が含まれるが、それらの教員については完成年度を迎えるまで定年を延長する措置を運用し、雇用を確保するよう計画している。

資料５－１：学校法人永原学園就業規則（定年に関する規程）
資料５－２：教員の年齢構成
資料５－３：教員採用計画表

キ　教育方法、履修指導方法及び卒業要件

１．教育方法及び履修指導方法

健康福祉学部スポーツ健康福祉学科では、学生に入学当初から目的意識を明確に持たせていくための教育課程編成の考え方及び特色を設定し、次の教育方法を行う。

1）授業計画（シラバス）

学生が受講する授業科目が、どのような展開で行われるか授業科目ごとに授業の到達目標及びテーマ、授業概要、受講の心得、成績評価、テキスト及び参考書等を記載し、年間の進捗計画を明示した「授業計画（シラバス）」を大学設置基準第 25 条の 2 及び第 2 項に基づき毎年作成し配布する。

2）セメスター制の導入

学習効果を高めることを目的とし、授業科目の内容により通年科目と共に半期完結のセメスター制を導入し、授業科目をより多く揃え、専門職業人になるにふさわしい教養ある学生を育成する。

3）学習支援体制

以下の事項を通じ、学生の学習及び生活上の指導の円滑化を図る。

① 指導教員（チューター）を配置し、学生生活が円滑にいくよう助言・指導を行う。

② 入学後の１年生に対し新入生オリエンテーションを行い「学生便覧」「授業計画（シラバス）」他を配布し、指導教員（チューター）、学務部教務課、学生支援課、図書館及び関連部署から履修方法等４年間の学生生活での必要な事項説明等行う。

③ 授業内容及び方法、授業の到達目標と授業効果、成績評価方法の見直し・適正化等について、共通教育運営委員会や教務委員会等と連携し学習支援を行う。

④ 新入生の保護者に対しては、入学式直後「保護者懇談会」を設け、教務課など、関連部署から４年間の学修支援体制の説明と協力を依頼する。

⑤ 在学時の１年生次後期から 4 年生次の後期までの各学期始めには、ガイダンスを行い「個人別成績一覧表」等を各個人別に配布し、卒業要件や免許・資格取得に必要な科目の修得漏れがないよう再確認させ履修登録させる。また、当学科からは、指導教員（チューター）も参加し、学習支援を徹底する。

⑥ 特に２年次前期ガイダンスでは、目指す職域や人材像に応じた前述の３つの履修モデルを示すことで専門教育科目の履修へ容易に移行できるようにする。

⑦ オフィスアワー制度を設け、学生個人からの学修、進路、就職及び生活の悩みの相談を多くの教員が保障できるよう設ける。

⑧ 既存学部においては他大学と単位互換協定を設けており、スポーツ健康福祉学科においても受講し単位が修得するよう周知する。

4）学生による授業評価

① FD 委員会において専任、兼任を問わず同評価を半期毎に実施し、学習効果の参考とし、改善を図る。

② 評価項目は、「あなた自身について」、「授業内容について」、「授業方法について」、「教員の対応について」及び「総合評価」を設け、選択式と記述式の２種類に記載させる。

③ 実施結果については数値化及びグラフ化して該当教員に配布する。また、図書館において実施した全教員の評価を学生・教員を問わず誰でもが閲覧できるようにする。

5）授業開講数と単位及び成績評価

１単位の授業科目は、45 時間を学修に必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

① 講義については、15 時間の授業をもって１単位とする。
② 演習については、30 時間の授業をもって１単位とする。ただし、授業の方法に応じ 15 時間の授業をもって１単位とすることができるものとする。
③ 実験・実習及び実技については、45 時間の授業をもって１単位とする。ただし、授業の方法に応じ 30 時間の授業をもって１単位とすることができるものとする。
④ 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前１号、２号及び３号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって１単位とすることができるとする。

成績評価は、原則として学期終了毎に実施し、試験の方法は記述試験、レポート提出、実技試験等により行う旨を予め「授業計画（シラバス）」に記載する。

6）他大学等における授業科目の履修

他大学における授業科目の履修、大学以外の教育施設等における学修及び入学前の既修得単位等の認定については、学則第 14 条から学則第 14 条の３の規定により、教育上有益と認めるときは、教授会の議に基づき本学における授業科目の履修により修得したものとみなす規定を適用することになるが、上述の指定規則の適用を受ける履修科目と抵触しない範囲内に限定して適用する。

7）履修登録の年間登録上限について

大学設置基準第 27 条の２及び学則第９条第３項の規程に基づき、学生の適切な学習量を確保すること及び単位制度の実質化を図るため、既存学部同様に１学期間に履修科目として登録できる単位数を 30 単位までとし、年間 50 単位を限度とする。

2．卒業要件及び学位

1）卒業要件単位

卒業に要する履修単位数は、124 単位とする。内訳は、次のとおりとする。

共通教育科目 26 単位（共通基礎科目１、教養教育科目 15、語学６、健康運動学２、情報処理２）専門教育科目 98 単位（学部基幹科目２、学科専門科目 96）とする。

2）卒業要件

① 本学に４年以上在学し、所定の 124 単位以上修得しなければならない。
② 卒業と認定された者に対し、卒業証書・学位記並びに学士の学位を授与する。

（学則第 15 条）

3）修業年限

修業年限は4年とする。在学期間は、休学期間を除き、８年を超えないものとする。

（学則第 4 条、27 条）

4）学位

学位は、健康福祉学部スポーツ健康福祉学科卒業生には学士（スポーツ健康福祉学）を付記して授与する。（学則第 15 条）

資料６－１：履修モデル（福祉スポーツ支援モデル）
資料６－２：履修モデル（健康スポーツ支援モデル）
資料６－３：履修モデル（スポーツ教育支援モデル）

ク　施設、設備等の整備計画

１．校地、運動場の整備計画

西九州大学にスポーツ健康福祉学科を設置しようとする神埼キャンパスは、吉野ヶ里遺跡に近い JR 神埼駅から 4 km の場所に位置し、校地面積は 106,328 ㎡、内運動場用地が 18,813 ㎡、及びその他竹林傾斜地が 46,281 ㎡であり、校舎敷地は 37,683 ㎡である。

西九州大学の神埼キャンパスには下記の学部が存在する。

西九州大学　神埼キャンパス（人）

学　部　等	入学定員	3 年次編入学	収容定員	備　考
健康栄養学部	120	0	1,040	学部の設置届出中
健康福祉学部	130	10	540	
社会福祉学科	80	10	340	
スポーツ健康福祉学科	50	0	200	学科の設置届出中
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部	80	0	320	
計	330	20	1,360	

神埼キャンパスの校地には、野球、サッカー、ラグビー、弓道、テニスなどに対応できる本格的な施設を有している。また、体育館その他、トレーニングセンター、シャワールーム、ロッカールーム、多目的利用の第２体育館を設置している。

目次６：校地校舎等の図面　参照

1）グラウンド

野球やサッカー、陸上競技などの屋外運動種目が共有して実施できるグラウンドを有し、平成 25 年度中にナイター照明施設を設置する予定である。それに合わせてグラウンドを囲むネットの改修や固定ベンチの増設を行い、安全面や利便性の強化を図る。また、付属施設として、用具管理倉庫、屋外トイレ、給水施設がある。

授業においては、共通教育科目「フィットネス・スポーツ」及び「ウェルネス・スポーツ」、専門科目の「運動方法学演習（屋外科目）」 等の実施場所として使用する。

2）第１体育館

球技種目を中心とした屋内種目が実施できる各種目のライン及びゴールが設置されており、バドミントンやバレーボールのネットが設置できるような設計である。体育館内には、一階に用具庫、２階に更衣室及びシャワーを設置している。

授業においては、共通教育科目「フィットネス・スポーツ」及び「ウェルネス・スポーツ」、専門科目の「運動方法学演習（屋内科目）」 等の実施場所として使用する。

3）第２体育館

バスケットゴールを設置しており、バスケットボール、卓球、フットサル等の球技系科目が可能である。また、新学科設置に伴い、体育館の半面を柔道用の畳が設置できるようにフロアを張り替える予定である。第一体育館同様、体育館内に用具庫、更衣室を設置しており、シャワーについても今後設置予定である。

授業においては、共通教育科目「フィットネス・スポーツ」及び「ウェルネス・スポーツ」、専門科目の「運動方法学演習７（柔道）」「運動方法学演習８（剣道）」 等の実施場所として使用する。

4）トレーニングセンター

各種トレーニングマシーンや自転車エルゴメーターを備えた建物で、ダンス等にも対応できるように音響設備や DVD プレイヤーやテレビモニターも設置している。また、体力測定も実施可能で、用具庫に各種体力測定装置や運動能力装置を備えている。

授業においては、共通教育科目「フィットネス・スポーツ」及び「ウェルネス・スポーツ」、専門科目の「運動方法学演習１（体つくり）」「高齢者の健康と運動」「測定評価」「健康運動総合演習Ｉ」等の実施場所として使用する。

5）テニスコート

現在ナイター照明付きのハードコート（２面、コンクリート）のテニスコートがある。今後コンクリート面を人工芝と砂を撒いたオムニコートに改修予定である。また、車いすテニスにも対応できるように新規にハードコート（１面、コンクリ―ト）を建設予定である。

授業においては、共通教育科目「フィットネス・スポーツ」及び「ウェルネス・スポーツ」等の実施場所として使用する。

6）多目的室

平成 26 年 4 月までに新規に多目的ルームを建築整備する予定である。この多目ルームには、音響設備やプロジェクターも設置予定であり、講義、演習、実習すべての形態の科目に対応可能である。今後運動負荷試験に関する機器も整備予定のため運動負荷試験も実施できる。

授業においては、専門科目の「運動負荷試験」「測定評価」「運動方法学演習９（ダンス）」

等の実施場所として使用する。

３．図書等の資料及び図書館の整備計画

１）蔵書冊数、蔵書構成及び収集方針

本学の図書館は、神埼キャンパスと神園キャンパスからなり、両キャンパスの図書館の総面積は、1,662 ㎡（神園キャンパス図書館 571 ㎡は短期大学部と共用）である。

平成 21 年度より、図書館蔵書管理システムを統合して両館所蔵資料の横断検索を可能とし、資料調査の効率を向上させている。

両キャンパスの図書館それぞれの蔵書数は以下のとおりである。

神埼・神園キャンパス図書館の蔵書数（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	神埼キャンパス図書館	神園キャンパス図書館	計
図書（冊）	93,728	52,903	146,631
学術雑誌（種）	275	306	581
視聴覚資料（点）	3,917	2,663	6,580
電子ジャーナル（種）	39	4	43
デジタルデータベース	4	0	4

両図書館の開館時間、閲覧席数、収納可能冊数、情報検索用端末、視聴覚機器数等は以下の通りである。情報検索用端末は、いつでも検索が可能な環境として利用者へ提供している。

図書館の開館時間、閲覧席数、収納可能冊数、情報検索用端末、視聴覚機器数等

キャンパス	延べ床面積	開館時間	閲覧席数	収納可能冊数	情報検索用端末数	視聴覚機器数
神埼図書館	815 ㎡	平　日：8:50～19:50 土曜日：9:30～16:30	116 席	約 10 万冊	2 台	4 台
神埼図書館 7 号館分室	276 ㎡	平　日：8:50～19:50	37 席	約 2 万冊	1 台	4 台
神園図書館	571 ㎡	平　日：8:50～19:50 土曜日：9:30～16:30	109 席	約 4 万冊	1 台	3 台

※土曜日開館は、第 2・第 4 土曜日に開館

資料７－１：整備予定国内学術雑誌一覧表
資料７－２：整備予定海外学術雑誌一覧表
資料７－３：主なデータベース一覧表
資料７－４：主な電子ジャーナル一覧表
資料７－５：主な整備予定図書類

2）データベースや電子ジャーナル等の整備

各種オンラインデータベースサービス（国立情報学研究所 GeNii，医中誌 Web，JDream Ⅲ、朝日新聞記事データベース：聞蔵、PsycINFO、メディカルオンラインなど）が学内ネットワークで利用可能となっており、今後も必要となるオンラインデータベースの充実を図る。

電子ジャーナルについては、ホームページを整備し、当館で閲覧できるものについては、ホームページ上で紹介している。また、Sciverse Science Direct（Elsevier 社）や EBSCO Host 等を導入し、これを介して、教育研究に役立つよう多くの電子ジャーナルを閲覧できる環境を整備している。その他、PsycARTICLES なども導入し、入手困難な学術雑誌を電子ジャーナルとして閲覧できる体制を採っている。今後、電子ジャーナルで閲覧できる学術雑誌の種類を増やしていく。

3）利用者サービス

神埼キャンパスおよび神園キャンパスの図書館では、専門の職員（司書）が中心となって利用者の要望に応えている。

授業時間帯である８時 50 分から 17 時 50 分にあわせて、開館時間は８時 50 分から 19 時 50 分、土曜日（第２・第４）は９時 30 分から 16 時 30 分まで、大学院学生への便宜を図るため開館時間の延長を逐次行う。また、現在すでに地域の方（学外の方）に対して大学図書館の開放を実施しており、地域コレクションの充実をめざした資料の計画的収集を行っている。

新着図書に関しては、新着図書コーナー（展示架）を設置して利用促進を図っている。また、学生の情報リテラシー（コンピュータリテラシー）の涵養を目指し、情報機器を利用した文献検索法などを指導するために学内ＬＡＮ端末を両キャンパス図書館に 31 台設置（内８台は短期大学部と共用）している。指導方法については、ゼミや研究室ごとにガイダンスを行っている。

また、館内資料の蔵書検索行うための OPAC 専用端末を４台設置（内１台は短期大学部と共用）するとともに、図書館のホームページを介して、Web 上から検索できるように WebOPAC を提供している。この検索法についても、新入生オリエンテーションや在学生ガイダンスで利用指導を行っている。図書館ホームページでは、文献検索はもとより、開館カレンダーや最新のトピックス、利用ガイドなどを掲載し、幅広く利用者へ情報提供を行っている。

両図書館に独自に所蔵する図書はお互いに共用利用することとし、両キャンパス間に図書シャトル便などを運行させ、学生の利便を配慮している。

4）他の大学図書館、公共図書館との協力体制の強化

九州地区大学図書館協議会、私立大学図書館協会、西地区部会九州地区協議会、福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）及び佐賀県大学図書館協議会へ加盟し、ともに研究会

・総会等を実施して情報交換を行っている。

また、他大学や公共図書館と連携し、相互に館内利用が出来る環境を整えている他、文献複写や図書貸借の相互協力も行っている。

ケ　入学者選抜の概要

１．入学者の受入れの基本方針

スポーツ健康福祉学科では、ユニバーサル社会の理解と社会福祉の専門的知識を持ち、すべての人に健康運動やスポーツ、レクリエーションを活用して総合的な健康を支援し、豊かな生活の構築に貢献できる人材を養成することを目的として、次のような意欲、能力、適性をもった学生を受け入れることを基本方針とします。

① スポーツやレクリエーション活動などの身体運動と福祉に興味や関心を持つ人
② 身体運動を通して人々の健康生活を支援することで社会に貢献したいという意欲がある人
③ 優しい人間観と健全な社会観をもっている人
④ 何ごとにも熱意と主体性をもって取り組もうとする人

以上のような基本方針に基づき、スポーツ健康福祉学科では、健康運動指導士、健康運動実践指導者、障害者スポーツ指導者、レクリエーション・インストラクター、公認スポーツ指導者、社会福祉士等、人々の健康生活を支援するための資格や、中学校および高等学校教諭一種免許（保健体育）を取得するための専門科目群を準備しています。したがって、コミュニケーションに必要とされる幅広い教養と、何ごとにも主体的に取組む姿勢を身に着けていること、すなわち高等学校における教科および課外活動などに積極的に取り組んでいることが期待されます。教科の中では特に、コミュニケーションの基本となる「国語」、人間社会の在り方を学ぶ「公民」、心と身体の健康づくりについて学ぶ「保健体育」、自然界のしくみを学ぶ「理科」などを学習していることが望まれます。

２．入学試験区分と受験資格

大きく分けて、１）一般入試、２）推薦入試、３）特別入試、４）ＡＯ入試の４区分を設定する。なお、開設２年目以降については大学入試センター試験利用入試を加えることを検討する（詳細は５）に記載）。

１）一般入試（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期入試）：定員 22 名

受験資格は、次の何れかに該当する者

① 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者、及び卒業見込みの者
② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、及び修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び入学年度の前年度３月末までにこれに該当する見込みの者

④ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

２）推薦入試（指定校、学校長推薦Ⅰ・Ⅱ期）：定員 25 名

【指定校推薦入試（専願）】

佐賀県内・外の高等学校を中心に指定校を選定する。

受験資格は、次の①から②までの条件を全て満たす者

① 学業・人物とも優秀であり、出身高等学校長（中等教育学校を含む）より推薦された前年度３月に卒業見込みの者及び前々年度３月に高等学校を卒業した者

② 高等学校の成績全体の評定平均値 3.3 以上の者

【学校長推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期】

受験資格は、次の①から②までの条件を全て満たす者

① 学業・人物とも優秀であり、出身高等学校長（中等教育学校を含む）より推薦された前年度３月に卒業見込みの者及び前々年度３月に高等学校を卒業した者

② 高等学校の成績全体の評定平均値は問わないが、学業成績・人物ともに優秀と認められた者

３）特別入試（社会人・外国人留学生・帰国子女）：定員若干名

【社会人入試】

受験資格は、入学前年度３月末日までに 23 歳以上の者で、次の何れかに該当する者

① 高等学校を卒業した者、または学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

② 本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【外国人留学生入試】

受験資格は、外国籍を有する者で次の何れかに該当する者

① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び入学の前年度までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、及び入学の前年度までに修了見込みの者

③ 文部科学大臣が指定した者

④ 大学入学検定試験合格者または高等学校卒業程度認定試験合格者及び入学の前年度までに合格見込みの者

【帰国子女入試】

受験資格は、日本国籍を有し、保護者の海外在留に伴い、外国において、外国の教育制度による教育を受けた者で、次の何れかに該当する者

① 高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 150 条に該当する者）

② 日本の高等学校に在学し、入学年度の前年度３月末日までに卒業見込みの者で、次の何れかに該当する者

・外国の高等学校に２年以上継続して教育を受けた者

・外国の中学校・高等学校を通じて２年以上継続して教育を受けた者

・通算 6 年以上または継続４年以上外国で教育を受けた者

ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けた者とみなさない。

③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格を有する者で、入学年度の前年度３月末日までに満 18 歳に達する者

④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、入学年度の前年度３月末日までに満 18 歳に達する者

⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレアの資格を有する者で、入学年度の前年度３月末日までに満 18 歳に達する者

４）ＡＯ入試（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期入試）：定員３名

受験資格は、本学よりＡＯ方式試験への出願許可を受け、合格した場合は必ず入学する意思のある者で、次の①から④までの何れかに該当する者

① 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者、及び入学年度の前年度 3 月卒業見込みの者

② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、及び入学年度の前年度 3 月修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び入学年度の前年度 3 月末までにこれに該当する見込みの者

④ 本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

5）開設２年目以降において大学入試センター利用入試を行う場合

受験資格は、次の①から④までの何れかに該当する者

① 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者、及び卒業見込みの者

② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、及び修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び入学年度の前年度末までにこれに該当する見込みのある者

④ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

３．入学試験科目等

１）推薦入試

① 指定校推薦入試：面接及び調査書

② 学校長推薦入試：小論文、面接及び調査書

２）一般入試

① Ⅰ期入試

必須：志望理由書

選択：国語（古文・漢文を除く）、英語Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、数学Ⅰ・Ａ、公民（現代社会）、世界史Ｂ、日本史Ｂより１科目選択

② Ⅱ期入試

必須：志望理由書

選択：国語（古文・漢文を除く）、英語Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、数学Ⅰ・Ａ、公民（現代社会）より１科目選択

③ Ⅲ期入試

小論文、面接

３）特別入試

小論文、面接

４）ＡＯ入試

① エントリーシート受付（エントリーシートと調査書を提出）

② 面接

③ 面接結果の通知（出願が許可された場合）

④ 出願手続き

5）合否判定

① 指定校推薦入試

面接において特異な状況がある場合は当該出身高等学校に問い合わせを行うが、原則として指定高等学校との信頼関係の上に立ち合格とする。

② 学校長推薦入試

小論文及び面接の結果を点数化したものと調査書内容を総合的に判断し、合否を判定する。

③ 一般入試（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期入試）

科目試験の成績上位者順に合格者を決定する。

④ ＡＯ入試

面接、課題、諸活動・資格を総合的に評価し出願許可者を決定する。

⑤ 特別入試

小論文および面接の結果を点数化したものを判断し、合否を判定する。

6）入試及び学生募集のための広報活動

佐賀県・長崎県・福岡県南部を中心に九州一円から広く人材を集めるため、高校訪問を中心にしながらも進学雑誌、進学説明会、オープンキャンパス（年４回開催）で、またＴＶ・新聞等のメディア、ホームページを使い積極的に広報活動を展開し、認知度を高めていく。

広報活動の具体的な事例については次の通り計画している。

① 佐賀県、長崎県東部地区、福岡県南部地区、大分県西部地区を中心にした高校訪問：入試広報委員を中心に九州一円の高校を訪問し、進路担当者へ詳細な説明を実施する。

② 大学案内・学園報・募集要項・オープンキャンパスポスター等の配布

毎年６月に岡山以西の高校及び要項請求者へこれらの資料を送付し、また、高校訪問時やオープンキャンパス参加者へこれらの資料を配布するなど認知度アップに努める。

③ 主要な駅（JR 佐賀駅、西鉄天神駅等）に看板を掲げたり、またテレビ、ラジオ放送を実施し、さらに地元佐賀新聞、西日本新聞を中心に年数回新聞広告を掲載する。

④ 九州各県で開催される業者主催の進路説明会に積極的に参加し、また近隣地区で実施される高校内ガイダンスには、全会場に参加して説明に当たる。

⑤ インターネット上で本学のホームページを、また業者の Web サイト上にも本学の情報を掲載する。

コ　資格取得を目的とする場合

スポーツ健康福祉学科では、

① 社会福祉士受験資格（国家資格：厚生労働省）

② 健康運動指導士（民間資格：健康・体力づくり事業財団）
③ 健康運動実践指導者（民間資格：健康・体力づくり事業財団）
④ 障害者スポーツ指導者（初級・中級）（民間資格：日本障害者スポーツ協会）
⑤ レクリエーション・インストラクター（民間資格：日本レクリエーション協会）
⑥ 中学校・高等学校教諭（保健体育）一種免許（国家資格：文部科学省）
⑦ 公認スポーツ指導者（民間資格：日本体育協会）

の資格が取得可能である。

さらに、社会福祉主事、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司、児童福祉司、児童指導員の任用資格の取得が可能となるようカリキュラム編成を行っている。

サ　実習の具体的計画

「社会福祉援助技術実習」は、社会福祉士資格に係る実習で福祉サービスや相談援助等の基礎的理解を基に福祉現場での援助技術の実習を目的に、３年次に行う。また、「健康産業施設等現場実習」は、健康・体力づくり事業財団資格の健康運動指導士に係る教科で、身体運動を通しての健康づくり役割や指導法および健康産業施設の状況の理解を深めることを目的に、３年次前期に１週間実施する。さらに、教職（中・高（保健体育））課程の「教育実習」は、教育現場の状況理解や学校体育の在り方、授業づくり、生徒指導など教員として備えるべき力について経験的に理解を深めることを目的とし、４年次５月から６月の３週間を実習時期とする。

１）実習先の確保の状況

①「社会福祉援助技術実習」の実習先として 11 施設を確保し、その実習受け入れの承諾をえている。

②「健康産業施設等現場実習」の実習先として３施設を確保し、その実習受け入れの承諾を得ている。

③「教育実習」の実習先として６校を確保し、その実習受け入れの承諾を得ている。

資料８－１：「社会福祉援助技術実習」承諾書
資料８－２：「健康産業施設等現場実習」承諾書
資料８－３：「教育実習」承諾書

２）実習先との契約内容

「健康産業施設等現場実習」の実習先と本学において、事前に実習要領や個人情報保護事故防止に関する内容の実習業務委託契約書を締結する。

資料９：「健康産業施設等現場実習」業務委託契約書（例）

3）実習水準の確保の方策

「社会福祉援助技術実習」の履修には、社会福祉士国家試験対策関連科目 18 科目の履修を義務付け、「事前体験学習（30 時間）」等の課題を課すことで実習に求められる知識を養うとともに、帰校日、巡回指導により密な実習指導を実施し実習水準の確保を図る。

「健康産業施設等現場実習」の履修には、「健康体力づくり論」「救急処置（学校安全を含む）」「測定評価」を修得することで実習水準の確保をするとともに、実習記録（日誌）や実習レポートを課すことで実習の取り組む態度や姿勢を深め、実習に対する意識を高める。

4）実習先との連携体制

西九州大学と実習施設の両担当者および連絡先を明確にし、常に情報交換し必要があれば実習先へ訪問できる体制を図る。また、実習巡回を実施し、実習施設との緊密な連携体制を整える。

5）実習前の準備状況

実習期間中の健康管理および感染予防対策について事前に指導し、必要があれば予防接種等を受けさせる。また、万が一のために傷害保険への加入を義務付ける。

6）事前・事後における指導計画

①「社会福祉援助技術実習」の教科では、事前指導を「社会福祉援助技術実習指導Ⅱ」、事後指導を「社会福祉援助技術実習指導Ⅲ」において行う。社会福祉援助技術実習指導Ⅱでは、実習施設・機関の基礎知識を確認し、実習目標の立案を指導する。また、実習前後の小グループ活動や報告書の作成、現場指導者の講義を通して、専門知識・技術の理解を深め、福祉専門職としての適性や進路に関する考察ができるよう指導する。また、社会福祉援助技術実習指導Ⅲにおいては、実習の学びを整理し、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。社会福祉専門職として求められる資質や倫理についての洞察を深め、自己に求められる課題把握ができるように個別・集団での指導を行う。

②「健康産業施設等現場実習」の教科では、実習前に実習に際しての心構え、実習生としての望ましい態度、行動の指導とともに施設利用者の個人情報の取り扱いおよび事故防止のための安全確認の指導を行う。また、実習生には施設の器物損害や他者への傷害への対応として学生保険に加入させ、施設に迷惑をかけないように充分注意するよう指導する。（２時間）事後指導では、実習記録（日誌）、実習施設からの実習報告、実習レポートによりグループ討議や個別指導を行う。

③「教育実習」においては、事前指導として３年次の５月上旬に教育実習ガイダンス（２時

間）、11 月に４年次生の教育実習報告会への参加（２時間）、12 月に本学卒業生現職教員による報告会参加（２時間）、４年次の教育実習事前事後指導」の教科で実習に際しての心構え、実習生としての望ましい態度、行動、授業観察、授業実習等の指導（４～５月８時間）、５月上旬に教育時修ガイダンス（２時間）、個別指導（適宜）を行う。事後指導では、グループ討議やレポート提出による教育実習の振り返りや教育実習報告会、現職教員による報告会の参加を義務付けている。

７）教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

全ての実習において、教科担当教員および学科教員で巡回指導を実施する。

８）実習施設における指導者の配置計画

「社会福祉援助技術実習」では、社会福祉士として３年以上の実務経験を持ち、なおかつ社会福祉士実習指導者講習会を修了している者が指導に当たる。

「健康産業施設等現場実習」では、健康運動指導士資格を有する者が指導に当たる。

９）成績評価体制及び単位認定方法

①「社会福祉援助技術実習」では、社会福祉援助技術実習においては、実習先から送られてくる評価資料を参考に、実習施設を訪問した際の実習生の状況や実習記録（日誌）、実習レポート等を勘案し、教科担当者において評価を行う。

②「健康産業施設等現場実習」においては、実習先から送られてくる評価資料をもとに、実習施設を訪問した際の実習生の状況や実習記録（日誌）、実習レポート等を勘案し、教科担当者において評価を行う。

③「教育実習」の成績評価は、実習校から送られてくる評価資料とともに巡回指導報告および教育実習記録（日誌）を勘案し、各学部教職課程委員会において行う。

シ　企業実習・海外語学研修

１．企業実習（インターンシップ）

本学は、平成 22 年度文部科学省 GP「大学生の就業力育成支援事業」採択を契機に、学内外での１週間程度の短期インターンシップを学習内容とする実践教養科目「あすなろう体験Ⅱ」（２年次通年１単位）を、全学共通教育の教養教育の中に配置し学生の就業力育成支援を行ってきた。これまでの実績として、平成 22 年度は 17 事業所に 27 名参加。平成 23 年度は 17 事業所に 23 名参加。平成 24 年度は 17 事業所に 44 人が参加している（資料 10 参照）。

スポーツ健康福祉学科では、この短期インターンシップを基礎に、実社会で求められる能力を体験的に把握し、以降の学習意欲の向上を図るとともに、労働を通じた社会貢献の価値や重要性

に気付き、正しい労働観や職業観を育成することを目的として「インターンシップ」（３年次前期４単位）を開講予定である。

実施先は、これまで短期インターンシップ受け入れ実績事業所に加え、地元である「佐賀県神埼市企業連絡協議会」に協力を依頼するが、場合によっては学生本人の希望先との調整も積極的に行う。実施期間は、３週間程度を目安とし、担当教員が実施先と定期的に連絡を取り合うことで実施状況を把握する。評価については、実施前後の学内における学習（出席、態度、企業研究などの各種レポート）に対する評価と、実施中の実施先による評価（定期的な連絡）をふまえて担当教員が総合的に評価し、単位を認定する。

資料 10：短期インターンシップ実績一覧（平成 22～24 年度）

２．海外語学研修

実施せず

ス　昼夜開講制

実施せず

セ　編入学定員

実施せず

ソ　２つ以上の校地において教育を行う場合

実施せず

タ　社会人を対象としたサテライトキャンパス

実施せず

チ　多様なメディアを高度に利用して教室以外の場所で履修させる場合

実施せず

ツ　通信教育を実施する場合

実施せず

テ　管理運営

スポーツ健康福祉学科の管理運営上の重要事項は、西九州大学学部教授会規則に基づいて開催される健康福祉学部教授会において審議され、決定される。この教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織される。学部教授会審議事項は以下の通りである。

① 学部長の選考に関する事項
② 教育課程及び履修方法に関する事項
③ 学生の入学・編入学・転入学・休学・転学・退学・転学部・転学科・除籍・復学・再入学及び卒業等に関する事項
④ 科目等履修生、特別聴講学生、研究生及び外国人留学生に関する事項
⑤ 学生の試験及び単位修得に関する事項
⑥ 学則又は大学諸規程のうち、当該学部に関する部分の制定、改廃案の作成に関する事項
⑦ 当該学部に関する諸規程の制定、改廃に関する事項
⑧ 学生の表彰、懲戒案の作成に関する事項
⑨ 学生生活・学生活動に関する事項
⑩ 学長又は学部長が諮問した事項
⑪ その他、教育・研究に関する重要な事項

さらに、学部教授会で審議された事項のうち、以下に示す重要事項については、大学の最高意思決定機関である大学協議会で審議決定される。この大学協議会は学長、副学長、学部長及び各学部から選出された教授各２人で組織される。

審議事項は以下の通りである。

① 学則及び大学諸規程の制定、改廃に関する事項
② 大学の将来構想、将来計画に関する事項
③ 教育研究の組織・体制に関する基本的事項
④ 教育研究環境の整備に関する基本的事項
⑤ 教員の人事に関する事項
⑥ 学生の表彰・懲戒に関する事項
⑦ 学部間の連絡調整に関する事項
⑧ 学長が諮問した事項
⑨ その他大学運営に関する重要な事項

西九州大学の事務局は、姉妹校である西九州大学短期大学部と統合された事務組織となってい

る。その事務分掌は西九州大学・短期大学部事務局事務分掌規程によって規定されており、西九州大学・短期大学部事務局に、総務課、教務課、入試広報課、学生支援課、及び図書課を置き、西九州大学及び西九州大学短期大学部の庶務、会計、教務、入試、募集広報、学生の厚生補導及び就職、図書館、生涯学習並びに学園広報等に関する事務処理を行っている。

目次８：教授会規程 参照

ト　自己点検・評価

１．実施体制及び実施方法

本学では、かなり早い時期から自己点検・評価のための体制を確立し、色々な形で審議、検討をしてきた。平成 13 年度には、それらの成果をまとめて自己点検・評価報告書「新世紀の大学像を求めて」を作成し、広く公表した。

一方で、平成 14 年度に学校教育法が改正され、平成 16 年４月以降、すべての大学は「認証評価機関」による外部評価を受けることが義務付けられた。本学は、このような第三者評価を受けることを前提として、平成 16 年度に、平成 21 年度までの６年間を計画期間とする「中期目標・中期計画」を策定し、その実現を目指して毎年、「年度アクションプログラム」を策定して、様々な改革・改善を進めてきた。その過程で、平成 17 年６月には、点検・評価報告書第２報「教育・研究と修学環境の充実を目指して」を発行した。この報告書と共に、事務部で作成した「大学基礎データ」に基づいて、平成 18 年度に大学基準協会の第三者評価を受けるための「点検・評価報告書」を作成した。

この「点検・評価報告書」は平成 18 年４月に大学基準協会に送付され、同年 10 月 23 日に大学基準協会の各専門分科会委員による実地視察を受けた。その結果、平成 19 年３月 13 日付けで、「適合」の認定を受け、大学基準協会の正会員大学として加盟・登録が承認された（認定期間：平成 19 年４月１日～平成 24 年３月 31 日までの５年間）。これに関連した資料、「点検・評価報告書」、「大学基礎データ」並びに「認証評価結果」は、まとめて広く世間に公表した。

「第１次中期目標・中期計画」が終了年度を迎える平成 21 年度には、平成 22 年度から平成 25 年度までの４年間を計画期間とする「第２次中期目標・中期計画」を策定し、「年度アクションプログラム」に基づいて、様々な改革・改善を進めてきた。

平成 23 年度には、「自己評価報告書」を作成し、これに基づいて㈶日本高等教育評価機構による第三者評価を受け、大学評価基準を満たしているとの認定を受けた。認定期間は平成 23 年４月１日から平成 30 年３月 31 日までの７年間である。

さらに、平成 25 年度中に平成 26 年度から平成 29 年度までの４年間を計画期間とする「第３次中期目標・中期計画」を策定することにしており、これに基づいて「年度アクションプログラム」を策定し改革・改善を進めていく予定である。

２．点検・評価項目

本学は、「西九州大学点検・評価に関する規程」を定め、点検及び評価を実施するに必要な事項を定めている。

点検・評価事項は、下記の項目である。

① 教育理念及び目標に関する事項
② 教育活動に関する事項
③ 研究活動に関する事項
④ 教員組織に関する事項
⑤ 事務機構に関する事項
⑥ 施設設備に関する事項
⑦ 社会との連携に関する事項
⑧ 管理運営及び財政に関する事項
⑨ 点検・評価の体制に関する事項
⑩ その他、運営委員会が必要と認めた事項

しかしながら、本学は平成 29 年度までに、大学評価認証機関による次の第三者評価を受けなければならないが、次回も（財）日本高等教育評価機構による第三者評価を受ける予定である。そのため、同評価機構が示している「大学機関別認証評価実施大綱」に基づいて、点検・評価基準を見直し、さらには本学独自の評価基準も設定して自己点検・評価を進めていく予定であり、これに基づいて、さらなる改革・改善を進めていく。

ナ　情報の公表

本学は、学園の沿革や財務状況に関する情報等、既往の情報提供に加え、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他ホームページなど、広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供している。

（掲載ホームページ URL：http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/）

１．公表項目

１）大学の教育研究上の目的に関すること

・学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育上の目的
（http://www.nisikyu-u.ac.jp/）

２）教育研究上の基本組織に関すること

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/education01.pdf）

３）教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/info_temp.html）
・職階別教員数（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/education02.pdf）

4）入学者に関する受入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在籍する学生の数、卒業（修了）した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

①教育方針（学位授与方針、教育課程方針、入学者選抜方針）
（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/uni04.pdf）

②学生に関する情報
・在籍者数状況等（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/students01.pdf）
・卒業者進路状況（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/students02.pdf）

5）授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

・学部シラバス、カリキュラム（http://www.nisikyu-u.ac.jp/daigaku-syllabus/）
・大学院シラバス、授業科目及び担当教員一覧
（http://www.nisikyu-u.ac.jp/daigakuin-syllabus/）

6）学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/info01.pdf）

7）校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/info02.pdf）

8）授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用に関すること

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/examination/expense/univ.html）
・入学金、学費（施設設備費、授業料、教育充実費）、委託徴収費

9）大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/support.pdf）

10）その他

① 財務情報
（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/finance04.pdf）
・財産目録
・貸借対照表
・収支計算書（資金収支計算書及び消費収支計算書）
・事業報告書
・監査報告書

② 管理運営の概要
（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/admin.pdf）

③ 教育力向上の取り組みの概要

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/effort01.pdf）

④ 国際交流の概要

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/effort02.pdf）

社会貢献・連携活動の概要

（http://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/pdf/effort03.pdf）

２．情報の公表についての実施方法

１）学生便覧（毎年１回、４月発行）

２）授業計画（毎年１回、４月発行）

３）就職のための大学案内（企業向けのもの、毎年１回、５月発行）

４）大学案内（一般向けのもの、毎年１回、６月発行）

５）過去３年間の入学試験問題（毎年１回、６月発行）

６）広報　永原学園（一般向けのもの、毎年１回、７月発行）

７）永原学園報（学園関係者向けのもの、毎年２回、７月・１月発行）

８）西九州大学健康福祉学部紀要（毎年１回、３月発行）

９）特別学術講演会活動報告書（毎年１回、３月発行）

10）各種委員会活動報告書（毎年１回、３月発行）

11）健康福祉実践センター活動報告書（毎年１回、３月発行）

12）インターネットによるホームページ（http:www.nisikyu-u.ac.jp）への掲載（随時入替え）

13）報道機関等への発表（随時）

14）自己点検・評価報告書（ほぼ４年毎に発行）

今後ホームページへの掲載事項を拡大するとともに、掲載内容の充実に努める。

３．情報提供項目

１）大学への入学や学習機会に関する情報

① 入学定員、入学試験科目、アドミッションポリシー及び学納金など入試に関する事項

②　各学科における試験区分ごとの志願者数、受験者数及び入学者数並びに過去の試験倍率

③ 一般入試の科目別の最高得点、平均点及び最低得点

④ 科目等履修生制度に関する事項

⑤ 取得できる免許・資格に関する事項

⑥ 公開講座及びバイキング講座に関する事項

２）教育・研究に関する情報

① 教員全員の担当授業科目及びシラバス

② 修士論文及び卒業論文の題目及び論文要旨

③ 教員の主要研究分野及び研究概要などに関する事項

④ 附属図書館の蔵書及び新着図書の案内

3）卒業生の進路状況に関する情報

① 卒業生の免許・資格の取得者数などのデータ

② 卒業生の就職状況及び具体的な就職先（企業名、官公庁名など）

③ 大学院への進学状況及び具体的な進学した大学名等

4）財務状況に関する情報

① 永原学園全体の資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表

② 永原学園が設置する学校の学生生徒、その保護者及び永原学園と雇用契約にある者については、閲覧請求書を提出することにより、永原学園全体及び永原学園が設置する学校等ごとの財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監事による監査報告を閲覧することができる。

ニ　授業内容方法の改善を図るための組織的な取組

本学では、FD 委員会主導のもと、上述のように「学生による授業評価」を実施するとともに、教員が相互に自身の授業を公開する「授業公開」も実施している。「授業公開」実施後には、研修会も開催し、授業内容方法等の改善を図っている。さらに教育の質改善を目的とした、新たな教育方法等についての研修会も計画中である。これらの情報は、「FD 活動報告」として、教育情報の中に組み込んで広く社会一般に公開する。

なお、これまでに実施され、また今後も継続して実施することとなっている活動には以下のようなものがある。

1．シラバスの改善

学生の学習の指針となるシラバスについて可能な限り良いものを作成すべく、教務委員会とも連携して検討し、そのフォーマットについて授業形態や授業内容を考慮しながらその改善を進め、成績評価の方法等も明記したものにし、全教員が、そのようなシラバスを作成するよう依頼し協力を得ている。

2．学生による授業評価

毎年、前学期と後学期の終了前に、ほとんどすべての講義科目について、専任教員のみならず非常勤講師の担当科目に至るまで、学生による授業評価アンケートを実施している。このアンケートはA 票と B 票から構成されており、A 票はマークシート方式で、その教科の全般的な事項についての評価を行ってもらい、B 票ではより具体的に学生がその教員にどのような授業をしてもらいたいか、学生から見た教員の教育方法の欠点等を率直に記述してもらうものとし

ている。回収したアンケートのうち、A 票は FD 委員会が回収し、各教員のデータを集計している。その集計結果は、各教員に個人票として配布するだけでなく、全教員の集計結果をまとめて、図書館に開架し、全教員のみならず全学生が閲覧できることにしている。一方、B 票は各教員が回収し、学生の評価・要望に即して、自身の教育方法の改善を行うことに役立てることにしている。しかし、このような方式が最善のものとは言えないとの意見も多く今後さらにどのようにすれば、教員の教育力向上に役立つのかさらに検討中である。

３．FD 研究会・講演会等の実施

これについても、アクションプログラムの中で検討し、これまでに、初年次教育・導入教育に関する講演会を、それらの分野の専門家および先進的な取り組みを行っている大学の担当者を講師として迎え、開催して来た。また、各教員の研究力の維持向上については、潤沢な研究資金があるわけではない状況から、いかに外部から競争的教育・研究費を導入して教育・研究を展開すべきかの研修会も開催してきた。

４．教員相互による「授業公開」の実施

本学では、FD 委員会主導のもと、「学生による授業評価」を実施するとともに、教員が相互に自身の授業を公開する「授業公開」も実施している。「授業公開」実施後には、授業公開についてのシェアリングを行い、より良い授業の在り方についての研修会も開催し、授業内容方法等の改善を図っている。

さらに教育の質改善を目的とした、新たな教育方法等についての研修会も計画中である。これらの情報は、「FD 活動報告」として、教育情報の中に組み込んで広く社会一般に公開する。

これらの活動は、全学的な取り組みとして行ってきたという経緯から、当然、現在計画中の新学科「スポーツ健康福祉学科」においても実施する。

ヌ　社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

本学は、建学の精神「高度な知識を授け、人間性の高揚を図り、専門知識と応用技術をもって社会に貢献し、世界文化の向上と人類福祉に寄与する人物の養成」と教育理念「実践的、体験的な教育、及び“あすなろう精神”に基づく人間教育」に基づき、建学以来、大学の機能別分化中の「幅広い職業人養成」ならびに「高度専門職業人養成」を人材育成の目標にしている。

当大学における教育上の目的に応じた社会的・職業的自立に関する指導等及び体制に関する取り組みについては、次に記載する通りである。

１．教育課程内の取り組みについて

教育課程を通して、社会的及び職業的自立を図るため、本学では、「あすなろう精神」に立ち返り、平成 21 年の子ども学部開設と同時に「あすなろう体験」を全学共通教育科目（教養

教育科目）として設定した。この科目は、教養教育課程として４年間を通して総合的社会的知性を養成する体験型プログラムであり、その内容は専門分野にとらわれないボランティア、地域活動、インターシップ等を通じて幅広い職業観を養うこと、グループワークによる課題解決型学習の実践などを設定した。

さらに、平成 23 年より、「あすなろう体験」をより就業力養成に向け強化し、全学部学生の職業人としての資質能力の向上を可能とする新しい教育プロセスを整備した。

整備内容として、必修科目として「あすなろう体験Ⅰ」、選択科目として「あすなろう体験Ⅱ、Ⅲ」の３科目を新設した。これによって、全学生に対して職業人としての最低限度の資質能力の担保が可能となり、また専門職を志望する学生であっても「あすなろう体験Ⅱ、Ⅲ」の履修を通して、さらなる資質能力の向上を可能とした。

資料 11-１：あすなろう体験Ⅰシラバス
資料 11-２：あすなろう体験Ⅱシラバス
資料 11-３：あすなろう体験Ⅲシラバス

２．教育課程外の取り組みについて

教育課程外の取り組みを通じて、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うために、本学では、あすなろう体験科目群の単位取得に必要な学習内容の一つに「地域でのボランティア活動」を設定した。ただし、ボランティアは自発性を一つの重要な理念としているため、ボランティアそのものを単位取得の条件にすることはできない。したがって、あすなろう体験科目群では、この活動を「体験活動」として位置づけた。学生は、正規授業時間外の時間を活用して、以下の流れで体験活動に取り組む。

１）体験活動の選択

体験活動は、西九州大学ポータルサイト（NSPS）上で募集され、選択する際は、所属学科に関連する体験活動に偏らないようにする。各体験活動には、応募者数が設定されており、定員に達し次第募集が締め切られる。

２）応募・確定

参加を希望する体験活動が決定したら、NSPS 上で応募し応募を受けたあすなろうセンターが保険加入等の参加条件を確認し、参加確定後センターから学生へ連絡をする。なお、学内外の各種体験活動時の事故への備えとして、対人・対物保証の付いた賠償責任保険への加入を学生には義務付けている。

３）体験活動

実際の体験活動に取り組む。

資料 12：参加者数の多かった活動例

４）報告書作成

活動終了後は、NSPS 上で提示される期日までに「報告書」を作成し、担当教員へ提出する。この手続きも NSPS 内で行う。

５）担当教員確認

提出された報告書は、担当教員によって確認される。

６）ポイント獲得

体験活動内容について担当教員からの報告を受け、あすなろうセンターで該当学生のポイントが登録される。獲得したポイント数は NSPS 上で確認できる。

体験活動はポイント（＝p）制とし、11ｐ以上獲得することを単位取得の最低条件とする。

３．適切な体制の整備について

平成 23 年度は、「あすなろう体験Ⅰ」の全学実施が実現した。平成 21 年度に新設した子ども学部においても、全学実施の体制を受けこれに準ずるかたちで「基礎演習あすなろう」科目に組み込まれ実施された。また、健康福祉学部と子ども学部は、旧来の「あすなろう体験」を継続実施している。これは、インターンシップ体験その他のプログラムが含まれており、平成 24 年度は「あすなろう体験Ⅱ」の計画実施に反映された。これらに加えて、教員の支援能力の向上を図る FD・SD 活動として、外部講師によるファシリテーションに関する研修等を複数回実施し、教育・支援の充実を図ってきた。

これらの計画・実施を円滑に行うため、就業力育成支援センターとして「あすなろうセンター」組織が整備された。年間を通したセンターとしての機能を示すに至り、科目内容の計画・運営、学生ポータルサイトの管理、ボランティア・インターンシップ等の学外先との交渉、FD・SD 活動や各種講座の運営、就業力向上のためのツールの開発など、取組みが充足することとなった。

資料 13：就業力向上を図る学内体制図

＜資　料＞

資料１：西九州大学の沿革（概要）

資料２：学校法人 永原学園の沿革（概要）

資料３：学生確保

資料３－１：志願者数の増減が大きい学科系統（平成 20～24 年）

資料３－２：複合分野の志願者増加ランキング（平成 20～24 年）

資料３－３：平成 24 年度体育・スポーツ系学部の入学志願者数の動向（全国）

資料３－４：平成 24 年度スポーツ系学科の入学志願者数等の動向（九州北部地域の大学）

資料３－５：「西九州大学の新学科設置計画に関するアンケート調査」報告書

資料３－６：本学スポーツ健康福祉学科の入学志願者数等の想定（平成 26～29 年度）

資料４：人材需要の見通し

資料４－１：「スポーツ健康福祉学科」で学んだ新卒採用意向

資料４－２：新学科設置に関するアンケート調査＜事業所対象＞調査結果報告書

資料４－３：スポーツ・運動指導者の雇用状況

資料４－４：主な業種別にみたスポーツ・運動指導資格所持者の雇用・業務委託状況

資料４－５：フィットネスクラブの売上高、会員数、事業所数、指導員数

資料４－６：日本障害者スポーツ協会公認スポーツ指導員登録者数

資料５：　教員組織の編成の考え方及び特色

資料５－１：学校法人永原学園就業規則（定年に関する規程）

資料５－２：教員の年齢構成

資料５－３：教員採用計画表

資料６：履修モデル

資料６－１：履修モデル（福祉スポーツ支援モデル）

資料６－２：履修モデル（健康スポーツ支援モデル）

資料６－３：履修モデル（スポーツ教育支援モデル）

資料７：図書等の資料及び図書館の整備計画

資料７－１：整備予定国内学術雑誌一覧表

資料７－２：整備予定海外学術雑誌一覧表

資料７－３：主なデータベース一覧表

資料７－４：主な電子ジャーナル一覧表

資料７－５：主な整備予定図書類

資料８：実習関係承諾書

資料８－１：「社会福祉援助技術実習」承諾書

資料８－２：「健康産業施設等現場実習」承諾書

資料８－３：「教育実習」承諾書

資料９：「健康産業施設等現場実習」業務委託契約書（例）

資料 10：短期インターンシップ実績一覧（平成 22～24 年度）

資料 11：あすなろう体験関連シラバス

資料 11-１：あすなろう体験Ⅰシラバス

資料 11-２：あすなろう体験Ⅱシラバス

資料 11-３：あすなろう体験Ⅲシラバス

資料 12：参加者数の多かった活動例

資料 13：就業力向上を図る学内体制図

資料　1

西九州大学の沿革（概要）

昭和２１年　９月	佐賀栄養専門学校創立
昭和２９年　２月	学校法人永原学園設立認可
昭和４３年　３月	佐賀家政大学家政学部家政学科設置認可（入学定員 100 名） 栄養士養成施設として指定を受ける
昭和４３年　４月	佐賀家政大学開学
昭和４４年　４月	家政学部家政学科を専攻分離し「家政学専攻 50 名・管理栄養士専攻 50 名」として届出 管理栄養士養成施設として指定を受ける
昭和４９年　１月	佐賀家政大学家政学部社会福祉学科設置認可（入学定員 30 名） 家政学部家政学科家政学専攻入学定員減（50 名→20 名）
昭和４９年　６月	佐賀家政大学を「西九州大学」に名称変更
昭和５０年１２月	西九州大学家政学部社会福祉学科入学定員増認可（30 名→50 名）
昭和５２年　４月	家政学部家政学科を家政学部食物栄養学科に名称変更し「家政学専攻」を「食物栄養学専攻」に改称
昭和５７年　１月	西九州大学家政学部社会福祉学科入学定員増認可（50 名→80 名）
昭和６１年１２月	西九州大学家政学部社会福祉学科臨時定員増認可（80 名→100 名）
平成　３年１２月	西九州大学家政学部社会福祉学科臨時定員増認可（100 名→120 名）
平成　９年１２月	西九州大学家政学部社会福祉学科 3 年次編入学定員 20 名に係る収容定員増認可
平成１０年１２月	西九州大学大学院設置認可「健康福祉学研究科健康福祉学専攻修士課程」（入学定員 8 名）
平成１１年　４月	西九州大学大学院開設
平成１１年１２月	西九州大学家政学部食物栄養学科入学定員増（70 名→90 名）並びに社会福祉学科入学定員増認可（120 名→140 名）、臨時的定員を恒常化
平成１２年１０月	西九州大学家政学部健康栄養学科設置認可及び入学定員増認可（90 名→130 名） 「家政学部食物栄養学科は平成 13 年度から募集停止」
平成１３年　４月	西九州大学「家政学部」を「健康福祉学部」に名称変更
平成１４年　３月	介護福祉士養成施設として指定を受ける
平成１５年　３月	西九州大学大学院健康福祉学研究科健康福祉学専攻臨床心理コース、臨床心理士受験資格（2 種）の指定を受ける（(財）日本臨床心理士資格認定協会）

平成１８年　４月	募集停止中の食物栄養学科廃止
平成１８年１１月	西九州大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（入学定員 40 名）及び作業療法学専攻（入学定員 40 名）設置認可
平成１８年１１月	平成 19 年 4 月 1 日付をもって理学療法士および作業療法士養成学校として指定を受ける
平成１９年　４月	西九州大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（入学定員 40 名）及び作業療法学専攻（入学定員 40 名）開設
平成２０年　４月	西九州大学大学院健康福祉学研究科健康福祉学専攻臨床心理コース、臨床心理士受験資格（1 種）の指定を受ける （指定期間：平成 21 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）
平成２０年１１月	西九州大学子ども学部子ども学科（入学定員 80 名、3 年次編入学定員 10 名）設置認可
平成２１年　４月	西九州大学子ども学部子ども学科開設
平成２１年　４月	保育士養成学校として指定を受ける
平成２１年　４月	西九州大学健康福祉学部社会福祉学科　定員減（140 名→120 名） 西九州大学大学院健康福祉学研究科健康福祉学専攻　定員増（8 名→12 名）

以上

資料　2

学校法人 永原学園の沿革（概要）

昭和２１年	９月	佐賀栄養専門学院設立
昭和２８年	４月	佐賀栄養専門学校創立 栄養士養成施設として厚生大臣指定
昭和２９年	２月	準学校法人　永原学園設立認可
昭和３３年	４月	佐賀保育専門学校開設
昭和３４年	４月	佐賀調理専修学校開設
昭和３８年	１月	学校法人　永原学園　認可
昭和３８年	４月	佐賀短期大学開設 食物栄養科設置（入学定員 80 名）
昭和３９年	４月	佐賀短期大学　被服科増設（入学定員 50 名）
昭和４０年	４月	佐賀短期大学　保育科増設（入学定員 100 名） 保母養成施設として厚生大臣指定
昭和４２年	４月	佐賀短期大学　専攻科被服専攻増設（入学定員 20 名） 佐賀短期大学附属三光幼稚園開園 佐賀製菓専修学校開設
昭和４３年	４月	佐賀家政大学開設　家政学部家政学科設置（入学定員 100 名）
昭和４４年	４月	佐賀家政大学　家政学部家政学科を「家政学専攻」と「管理栄養士専攻」に分離 管理栄養士養成施設として厚生大臣指定
昭和４９年	４月	佐賀家政大学家政学部　社会福祉学科増設（入学定員 30 名）
	６月	佐賀家政大学を「西九州大学」に名称変更
昭和５３年	４月	佐賀調理専修学校を「佐賀調理専門学校」に、 佐賀製菓専修学校を「佐賀製菓学校」に名称変更
昭和５６年	４月	佐賀短期大学被服科を「家政科」に、保育科を「幼児教育科」に名称変更
昭和６３年	４月	佐賀短期大学食物栄養科を「食物栄養学科」に、家政科を「生活福祉学科」に、 幼児教育科を「幼児教育学科」に名称変更 佐賀短期大学生活福祉学科　介護福祉士養成施設として厚生大臣指定
平成　元年	４月	佐賀短期大学専攻科　福祉専攻増設（入学定員 30 名） 介護福祉士養成施設として厚生大臣指定
平成　６年	３月	佐賀短期大学　健康福祉・生涯学習センター設置
	９月	西九州大学　健康福祉実践センター設置
平成　７年	２月	佐賀短期大学専攻科　食物栄養専攻　学位授与機構認定

４月　佐賀短期大学専攻科　食物栄養専攻増設（入学定員 30 名）
平成１０年　４月　西九州大学社会福祉学科編入学定員設定（3 年次編入学定員 20 名）
１２月　西九州大学大学院　健康福祉学研究科設置認可（入学定員 8 名）
平成１１年　４月　西九州大学福祉医療専門学校開設（福祉医療科入学定員 40 名）
（佐賀調理製菓専門学校開設　調理師科入学定員　昼間・夜間部 80・40 名
製菓衛生師科　〃　〃　40・40 名）
１２月　佐賀調理専門学校廃止
佐賀製菓学校廃止
平成１２年　４月　西九州大学家政学部食物栄養学科の「食物栄養専攻と管理栄養士専攻」を廃止し、
「食物栄養学科」とする（管理栄養士養成）（入学定員 90 名）
西九州大学家政学部社会福祉学科　入学定員増、臨時的定員を恒常化（入学定員 120 名→140 名）
平成１３年　４月　西九州大学家政学部「健康栄養学科」設置（入学定員 90 名→130 名）
食物栄養学科募集停止
平成１３年　４月　西九州大学「家政学部」を「健康福祉学部」に名称変更
平成１４年　４月　西九州大学健康福祉学部社会福祉学科介護福祉コース　介護福祉士養成施設として文部科学大臣、厚生労働大臣指定
平成１６年　４月　佐賀短期大学「くらし環境学科」設置（入学定員 50 名）
平成１８年　４月　佐賀短期大学「幼児教育学科」を「幼児保育学科」に名称変更
平成１８年　４月　西九州大学福祉医療専門学校福祉医療科募集停止
西九州大学募集停止中の食物栄養学科廃止
平成１９年　４月　佐賀短期大学附属三光保育園開園
平成１９年　４月　附属三光幼稚園及び附属三光保育園は、幼保連携型の認定こども園として佐賀県知事認定
平成１９年　４月　西九州大学リハビリテーション学部「リハビリテーション学科」設置（入学定員 80 名）
平成１９年　４月　リハビリテーション学科は理学療法士及び作業療法士養成学校として、文部科学大臣指定
平成２０年１１月　西九州大学子ども学部子ども学科（入学定員 80 名、3 年次編入学定員 10 名）設置認可
平成２１年　４月　西九州大学子ども学部「子ども学科」設置
「佐賀短期大学」を「西九州大学短期大学部」に名称変更
「佐賀短期大学附属三光幼稚園」を「西九州大学附属三光幼稚園」に名称変更
「佐賀調理製菓専門学校」を「西九州大学佐賀調理製菓専門学校」

に名称変更
「佐賀短期大学附属三光保育園」を「西九州大学附属三光保育園」
に名称変更
西九州大学佐賀調理製菓専門学校「製菓衛生師科」を「パティシエ科」
に名称変更
西九州大学健康福祉学部社会福祉学科定員変更（入学定員 140 名→
120 名）
西九州大学大学院健康福祉学研究科定員変更（入学定員 8→12 名）
西九州大学短期大学部食物栄養学科定員変更(入学定員80名→60名)
西九州大学短期大学部生活福祉学科定員変更(入学定員70名→40名)
西九州大学短期大学部幼児保育学科定員変更（入学定員 110 名→
90 名）
西九州大学短期大学部くらし環境学科募集停止

平成２１年　４月　保育士養成学校として指定を受ける

平成２２年　３月　西九州大学短期大学部くらし環境学科廃止
西九州大学短期大学部専攻科食物栄養専攻廃止

平成２３年　４月　西九州大学短期大学部専攻科「福祉専攻」を「保育福祉専攻」に
名称変更
「西九州大学短期大学部健康福祉・生涯学習センター」を「西九州大学・
西九州短期大学部健康福祉・生涯学習センター」に名称変更

以上

資料　3-1～4

資料3-1. 志願者数の増減が大きい学科系統（平成20～24年）

志願者数が**増加**した学科系統上位20位			志願者数が**減少**した学科系統上位20位		
順位	学科系統（小分類）名称	H20-24志願者増減（人）	順位	学科系統（小分類）名称	H20-24志願者増減（人）
1	看護学	37,532	1	商学	-44,910
2	教育学	26,006	2	経済学	-35,152
3	医学（専門課程）	22,079	3	法学	-34,862
4	医療技術学	13,827	4	経営学	-23,764
5	栄養・食物学	11,709	5	外国文学	-10,137
6	保健・児童学	11,367	6	政治・政策学	-7,717
7	生命科学	10,886	7	社会学	-7,518
8	心理学	10,766	8	国際関係学	-4,650
9	情報工学	7,021	9	デザイン	-4,643
10	語学（外国語）	6,814	10	美術	-3,776
11	応用科学	6,164	11	歯学（専門課程）	-3,116
12	歴史学	4,739	12	福祉学	-3,038
13	物理学	4,439	13	薬学	-2,916
14	スポーツ学	3,694	14	人間科学	-2,411
15	リハビリテーション学	2,897	15	応用物理学	-2,087

※リクルートカレッジマネジメント179号より抜粋

16	建築学	2,842	16	獣医・畜産学	-2,079
17	農学	2,646	17	文芸学	-1,802
18	機械工学	2,539	18	画像・音響学	-1,651
19	地理学	2,295	19	日本文学	-1,374
20	日本文化学	2,182	20	環境工学	-1,344

※リクルートカレッジマネジメント179号より抜粋

資料3-2. 複合分野の志願者増加ランキング（平成20～24年）

順位	A分野	B分野	C分野	D分野	増加（人）
1	スポーツ学	健康科学			11,156
2	社会学	コミュニケーション学	マスコミ学	メディア学	10,621
3	教育学	保育・児童学			7,479
4	建築学	環境工学			6,484
5	電気工学	電子工学	情報工学		5,799
6	電気工学	電子工学			5,011
7	社会学	国際関係学			4,548
8	数学	物理学			4,484
9	栄養・食物学	健康科学			3,753
10	経済学	経営学			3,468
11	社会学	情報学			3,461
12	日本文化学	日本文学			3,386
13	教育学	スポーツ学			3,384
14	人間科学	健康科学			3,285
15	化学	生命科学			3,108

※リクルートカレッジマネジメント179号より抜粋

資料3-3．平成24年度体育・スポーツ系学部の入学志願者数の動向（全国）

学　部	入学定員	入学志願者数	志願倍率
体育	4,712	16,025	3.40
体育専門学群	240	709	2.95
スポーツ健康政策	240	1,033	4.30
スポーツ健康（科）	1,495	9,460	6.33
スポーツ科	1,145	11,678	10.20
健康・スポーツ科	150	1,311	8.74
スポーツ	530	1,116	2.11
生涯スポーツ	160	290	1.81
	8,672	41,622	4.80

注）平成24年度学校基本調査による

資料3-4．平成24年度スポーツ系学科の入学志願者数等の動向（九州北部地域の大学）

大　学	学　部	学　科	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率
九州共立大学	スポーツ	スポーツ	215	452	449	401	2.10
福岡大学	スポーツ科	スポーツ科学	210	940	930	302	4.48
		健康運動科学	70	356	350	111	5.09
九州看護福祉	看護福祉	鍼灸スポーツ	40	84	83	63	2.10
熊本学園	社会福祉1部	ライフ・ウェルネス	75	141	140	113	1.88
		（計）	610	1,973	1,952	990	3.23

注）大学受験パスナビ（蛍雪時代＝旺文社）より抜粋

資料　3-5

「西九州大学の新学科設置計画に関するアンケート調査」

報　告　書

平成 24 年 12 月

一般財団法人　日本開発構想研究所

＜アンケート調査概要＞

１．実施アンケート

「西九州大学の新学科設置計画に関するアンケート調査」

２．調査対象

佐賀県内高等学校（高校 2 年生対象）（7 月実施）

福岡県・佐賀県・長崎県内高等学校（高校 2 年生対象）（9 月実施）

３．調査実施

平成 24 年 7 月

平成 24 年 9 月

４．調査方法

各高等学校に郵送による配布・回収

５．回収状況

有効回答票 6,984 票　回収率 90.2%（37 校回収／41 校実施）

※7 月依頼 12 校、9 月依頼 31 校。ただし、7 月にアンケートが実施されなかった高校 2 校に 9 月に再度依頼をしたため、アンケート依頼高校数は 41 校となる（P.15 回収表参照）。

＜アンケート調査集計結果＞

Ⅰ　概要

１　回答者の属性

（１）性別（問１）

回答者の性別内訳は、女性が 57.7%（4,030 人）、男性が 42.3%（2,954 人）であり、女性が過半数を占めている。

（２）現住所（問２）

回答者の都道府県別の住まいは、佐賀県が 62.6%（4,371 人）で最も多く、6 割強を占めている。その他では、福岡県 24.6%（1,721 人）、長崎県 12.6%（877 人）などとなっている。

２　高校卒業後の進路（問３）

「大学進学」を希望する回答者が 57.8%（4,039 人）で最も多く、次いで「就職」18.0%（1,260 人）、「専門学校進学」15.6%（1,090 人）、「短期大学進学」6.2%（433 人）となっている。

ちなみに、佐賀県の平成 23 年度大学志願率*は 44.6%であり、今回の調査結果の方が佐賀県全体の実績値よりも大学進学意向を持つ高校生の割合が高いと言える。

＊「大学志願率」･･･佐賀県内における 18 歳人口に占める大学志願者数の割合
佐賀県の平成 23 年度実績は、「18 歳人口」9,653 人、「大学志願者数」4,307 人、「大学志願率」44.6%

３　西九州大学新学科への関心度及び進学意向

（１）食文化栄養学科（問４、問５）

食文化栄養学科への関心度については、「興味を感じる」は 5.4%（377 人）、「少し興味を感じる」は 18.6%（1,298 人）であり、これらを合計すると回答者の 24.0%（1,675 人）が食文化栄養学科に関心を寄せていると考えられる。

進学意向については、「進学を希望する」は 0.3%（24 人）、「一応進学を考える」は 0.9%（64 人）、「受験先の候補の一つとして考える」は 5.1%（359 人）であり、これらを合計すると回答者の 6.4%（447 人）が食文化

栄養学科を受験する可能性があると考えられる。

積極的な進学希望者という意味では 24 人と言えるが、進学に関心を寄せる高校生は 88 人おり、さらに潜在的な進学ニーズという意味では 447 人の高校生が志願する可能性を示していると言えよう。

また、関心度という点では、「少し興味を感じる」まで含めると 1,675 人の回答者が食文化栄養学科を前向きに捉えていると考えられることから、今後の取組により、関心を持つ高校生を志願者レベルに繋げていくことが期待される。

食文化栄養学科への進学意向（実数）

問５　あなたは西九州大学「食文化栄養学科」への進学を希望しますか。１つ選んでください。	実数
１　進学を希望する	24 人
２　一応進学を考える	64 人
３　受験先の候補の一つとして考える	359 人
計	447 人

（２）健康スポーツ学科（問６、問７）

健康スポーツ学科への関心度については、「興味を感じる」は 7.1%（499 人）、「少し興味を感じる」は 20.5%（1,432 人）であり、これらを合計すると回答者の 27.6%（1,931 人）が健康スポーツ学科に関心を寄せていると考えられる。

進学意向については、「進学を希望する」は 0.4%（28 人）、「一応進学を考える」は 1.4%（100 人）、「受験先の候補の一つとして考える」は 6.2%（434 人）であり、これらを合計すると回答者の 8.0%（562 人）が健康スポーツ学科を受験する可能性があると考えられる。

積極的な進学希望者という意味では 28 人と言えるが、進学に関心を寄せる高校生は 128 人おり、さらに潜在的な進学ニーズという意味では 562 人の高校生が志願する可能性を示していると言えよう。

また、関心度という点では、「少し興味を感じる」まで含めると 1,931 人の回答者が健康スポーツ学科を前向きに捉えていると考えられることから、

今後の取組により、関心を持つ高校生を志願者レベルに繋げていくことが期待される。

健康スポーツ学科への進学意向（実数）

問７　あなたは西九州大学「健康スポーツ学科」への進学を希望しますか。１つ選んでください。	実数
１　進学を希望する	28 人
２　一応進学を考える	100 人
３　受験先の候補の一つとして考える	434 人
計	562 人

（３）心理カウンセリング学科（問８、問９）

心理カウンセリング学科への関心度については、「興味を感じる」は 10.2%（712 人)、「少し興味を感じる」は 25.1%（1,750 人）であり、これらを合計すると回答者の 35.3%（2,462 人）が心理カウンセリング学科に関心を寄せていると考えられる。

進学意向については、「進学を希望する」は 0.5%（36 人)、「一応進学を考える」は 2.0%（138 人)、「受験先の候補の一つとして考える」は 7.7%（538 人）であり、これらを合計すると回答者の 10.2%（712 人）が心理カウンセリング学科を受験する可能性があると考えられる。

積極的な進学希望者という意味では 36 人と言えるが、進学に関心を寄せる高校生は 174 人おり、さらに潜在的な進学ニーズという意味では 712 人の高校生が志願する可能性を示していると言えよう。

また、関心度という点では、「少し興味を感じる」まで含めると 2,462 人の回答者が心理カウンセリング学科を前向きに捉えていると考えられることから、今後の取組により、関心を持つ高校生を志願者レベルに繋げていくことが期待される。

心理カウンセリング学科への進学意向（実数）

問９　あなたは西九州大学「心理カウンセリング学科」への進学を希望しますか。１つ選んでください。	実数
１　進学を希望する	36 人
２　一応進学を考える	138 人
３　受験先の候補の一つとして考える	538 人
計	712 人

Ⅱ　新学科における学生確保の見通し

食文化栄養学科、健康スポーツ学科及び心理カウンセリング学科の入学定員（予定）と、今回の調査で各学科への進学について進学意向を示した回答者数は、次の表のとおりである。

表　新学科入学定員と進学希望者

	入学定員（予定）	①進学を希望する	①進学を希望する ＋ ②一応進学を考える	①進学を希望する ＋ ②一応進学を考える ＋ ③受験先の候補の一つとして考える
食文化栄養学科	40 人	24 人（60%）	88 人（220%）	447 人（1,118%）
健康スポーツ学科	50 人	28 人（56%）	128 人（256%）	562 人（1,124%）
心理カウンセリング学科	40 人	36 人（90%）	174 人（435%）	712 人（1,780%）

注（ ）は入学定員に対する回答者数の割合（%）

（１）食文化栄養学科について

積極的な進学意向（「進学を希望する」を回答）を示したのは 24 人であり、入学定員の 60%に相当する。この 24 人については、入学の見込みが比較的高いと考えられる。

アンケート回答時点では様子を見ている段階であり、進学先候補の一つとして位置づけていると考えられる回答者（「一応進学を考える」を回答）まで含めると、入学定員の 2 倍を超える回答者（88 人）がいることになる。今後、具体的な教育内容や卒業後の進路などを明確にし、特色や魅力となる点を示すことができれば、入学を志願する可能性は高まることが期待できる。

受験するかどうか分からないが、とりあえず受験する可能性を示唆している回答者（「受験先の候補の一つとして考える」を回答）まで含めると、入学定員の 10 倍を超える回答者（447 人）がいることになる。受験する可能性は否定していないことから、潜在的な志願者層として捉えることができよう。今後、学科の具体的な教育内容や卒業後の進路を示すことでさらに関心を高めることができれば、入学を志願する者が出てくる可能性は十分にあると考えられる。

以上のことから、現時点では、入学定員 40 人の確保については「安全」と言えるレベルにはないが、受験生にとって魅力的な教育内容や卒業後の進路を示すことができれば、入学を志願する者は増えると考えられる。したがって、入学定員 40 人の確保は十分可能な範囲にあると見込まれる。

（２）健康スポーツ学科について

積極的な進学意向（「進学を希望する」を回答）を示したのは 28 人であり、入学定員の 56%に相当する。この 28 人については、入学の見込みが比較的高いと考えられる。

アンケート回答時点では様子を見ている段階であり、進学先候補の一つとして位置づけていると考えられる回答者（「一応進学を考える」を回答）まで含めると、入学定員の 2 倍を超える回答者（128 人）がいることになる。今後、具体的な教育内容や卒業後の進路などを明確にし、特色や魅力となる点を示すことができれば、入学を志願する可能性は高まることが期待できる。

受験するかどうか分からないが、とりあえず受験する可能性を示唆している回答者（「受験先の候補の一つとして考える」を回答）まで含めると、入学定員の 10 倍を超える回答者（562 人）がいることになる。受験する可能性は否定していないことから、潜在的な志願者層として捉えることができよう。今後、学科の具体的な教育内容や卒業後の進路を示すことでさらに関心を高めることができれば、入学を志願する者が出てくる可能性は十分にあると考えられる。

以上のことから、現時点では、入学定員 50 人の確保については「安全」と言えるレベルにはないが、受験生にとって魅力的な教育内容や卒業後の進路を示すことができれば、入学を志願する者は増えると考えられる。したがって、入学定員 50 人の確保は十分可能な範囲にあると見込まれる。

（３）心理カウンセリング学科について

積極的な進学意向（「進学を希望する」を回答）を示したのは 36 人であり、入学定員の 90%に相当する。この 36 人については、入学の見込みが比較的高いと考えられる。

アンケート回答時点では様子を見ている段階と考えられ、進学先候補の一つとして位置づけていると考えられる回答者（「一応進学を考える」を回答）まで含めると、入学定員の 4 倍を超える回答者（174 人）がいることになる。今後、具体的な教育内容や卒業後の進路などを明確にし、特色や魅力となる点を示すことができれば、入学を志願する可能性は高まることが期待できる。

受験するかどうか分からないが、とりあえず受験する可能性を示唆している回答者（「受験先の候補の一つとして考える」を回答）まで含めると、入学定員の 17 倍を超える回答者（712 人）がいることになる。受験する可能性は否定していないことから、潜在的な志願者層として捉えることができよう。今後、学科の具体的な教育内容や卒業後の進路を示すことでさらに関心を高めることができれば、入学を志願する者が出てくる可能性は十分にあると考えられる。

以上のことから、現時点では、入学定員 40 人のうち 9 割程度は比較的高い確率で確保できると考えられ、さらに今後、受験生にとって魅力的な教育内容や卒業後の進路を示すことができれば、40 人を超える入学志願者が出てくるものと考えられる。したがって、入学定員 40 人の確保は十分可能と考えられる。

＜アンケート調査票＞

西九州大学の新学科設置計画に関するアンケート調査

西九州大学では、現在の学部・学科（管理栄養関係、社会福祉関係、リハビリテーション関係、子ども関係）に加えて、新たに次の３つの学科の設置計画をすすめています。

このアンケート調査は、皆さんの卒業後の進路などについてお聞きし、新学科設置のための基礎資料とするものです。結果は統計的に処理され、新学科設置申請資料としてのみ用いるものとし、個人にご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ご協力をお願いします。

なお、設置を計画している３つの学科の内容、定員、開設時期などについては変更される場合がありますことをご了承ください。

新設計画中の学科（平成 26 年 4 月設置予定）

①食文化栄養学科（定員 40 名、神埼（佐賀県神埼市）キャンパス）
機能性食品の開発力やビジネスマインドを兼ね備えた、食産業で実践的能力を発揮できる食の専門家を養成します（取得可能な資格：食品衛生監視員任用資格、食品衛生管理者任用資格、調理師など)。

②健康スポーツ学科（定員 50 名、神埼（佐賀県神埼市）キャンパス）
健康運動やスポーツ、レクリエーションを活用して生活の質の向上や豊かな生活の構築に貢献できる人材を養成します。(取得可能な資格：中学校教諭一種免許状（保健体育)、高等学校教諭一種免許状（保健体育)、健康運動指導士、障害者スポーツ指導者資格など)

③心理カウンセリング学科（定員 40 名、神園（佐賀県佐賀市）キャンパス）
自分とは？人間関係とは？こころとは？など、スクールカウンセラーや、新たに国家資格として検討されている心理師の受験資格取得も視野に入れた、心の専門家を養成します。(取得可能な資格：認定心理士、高等学校教諭一種免許状（公民)、特別支援学校教諭一種免許状など)

次の問１から問９までの設問について該当するものに○をつけてください。

問１　あなたの性別についておたずねします。

１　男性　　２　女性

問２　あなたの現住所についておたずねします。

１　佐賀県　　２　福岡県
３　長崎県　　４　その他（　　）

問３　あなたの進路についておたずねします。
あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。１つ選んでください。

１　大学進学　　２　短期大学進学　　３　専門学校進学
４　就職　　５　その他

裏面へ

【西九州大学「食文化栄養学科」についてうかがいます。】

問４　あなたは西九州大学「食文化栄養学科」に興味がありますか。1 つ選んでください。

１　興味を感じる　　２　少し興味を感じる
３　あまり興味を感じない　　４　わからない

問５　あなたは西九州大学「食文化栄養学科」への進学を希望しますか。1 つ選んでください。

１　進学を希望する　　２　一応進学を考える
３　受験先の候補の一つとして考える　　４　全く進学を希望しない
５　わからない　　６　その他

【西九州大学「健康スポーツ学科」についてうかがいます。】

問６　あなたは西九州大学「健康スポーツ学科」に興味がありますか。1 つ選んでください。

１　興味を感じる　　２　少し興味を感じる
３　あまり興味を感じない　　４　わからない

問７　あなたは西九州大学「健康スポーツ学科」への進学を希望しますか。1 つ選んでください。

１　進学を希望する　　２　一応進学を考える
３　受験先の候補の一つとして考える　　４　全く進学を希望しない
５　わからない　　６　その他

【西九州大学「心理カウンセリング学科」についてうかがいます。】

問８　あなたは西九州大学「心理カウンセリング学科」に興味がありますか。1 つ選んでください。

１　興味を感じる　　２　少し興味を感じる
３　あまり興味を感じない　　４　わからない

問９　あなたは西九州大学「心理カウンセリング学科」への進学を希望しますか。1 つ選んでください。

１　進学を希望する　　２　一応進学を考える
３　受験先の候補の一つとして考える　　４　全く進学を希望しない
５　わからない　　６　その他

ご協力ありがとうございました

＜アンケート集計表＞

「西九州大学の新学科設置計画に関するアンケート調査」回収表

No.	高校名	ナンバリング		回収数	備　考
1	神埼清明高等学校	1	150	150	7月実施
2	神埼高等学校	151	301	151	
3	三養基高等学校	302	498	197	
4	佐賀商業高等学校	499	719	221	
5	佐賀学園高等学校	720	993	274	
6	佐賀東高等学校				
7	佐賀清和高等学校	994	1242	249	
8	佐賀北高等学校	1243	1536	294	
9	小城高等学校	1537	1763	227	
10	多久高等学校				
11	武雄高等学校	1764	2030	267	
12	牛津高等学校	2031	2182	152	
			計	2,182	
13	三瀦高等学校	3418	3563	146	9月実施
14	大川樟風高等学校				
15	山門高等学校	3564	3734	171	
16	杉森高等学校				
17	ありあけ新世高等学校	1	227	227	
18	誠修高等学校	3735	3787	53	
19	八女学院高等学校	228	424	197	
20	福島高等学校	425	648	224	
21	祐誠高等学校	3788	4011	224	
22	久留米信愛女学院高等学校	649	709	61	
23	久留米筑水高等学校	710	907	198	
24	浮羽究真館高等学校	908	1090	183	
25	三井高等学校				
26	致遠館高等学校				
27	佐賀女子高等学校	4012	4271	260	
28	龍谷高等学校	1091	1286	196	
29	佐賀東高等学校	1287	1500	214	
30	鳥栖高等学校	1501	1732	232	
31	唐津西高等学校	4272	4464	193	
32	唐津東高等学校	1733	1954	222	
33	伊万里高等学校	4465	4690	226	
34	伊万里農林高等学校	4691	4802	112	
35	嬉野高等学校	1955	2059	105	
36	鹿島高等学校	2060	2255	196	
37	白石高等学校	2256	2408	153	
38	多久高等学校	2409	2557	149	
39	川棚高等学校	2558	2700	143	
40	佐世保東翔高等学校	2701	2845	145	
41	佐世保西高等学校	2846	3079	234	
42	清峰高等学校	3080	3262	183	
43	猶興館高等学校	3263	3417	155	
			計	4,802	
			総計	6,984	

※佐賀東高等学校、多久高等学校は9月に再度依頼により、アンケート依頼は41校となる。

「西九州大学の新学科設置計画に関するアンケート調査」集計表

〔有効回答票：6,984 票〕

問１　あなたの性別についておたずねします。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男　性	2954	42.3
2	女　性	4030	57.7
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問２　あなたの現住所についておたずねします。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	佐賀県	4371	62.6
2	福岡県	1721	24.6
3	長崎県	877	12.6
4	その他	13	0.2
	不明	2	0.0
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問３　あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	4039	57.8
2	短期大学進学	433	6.2
3	専門学校進学	1090	15.6
4	就　職	1260	18.0
5	その他	145	2.1
	不明	17	0.2
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問４　あなたは西九州大学「食文化栄養学科」に興味がありますか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味を感じる	377	5.4
2	少し興味を感じる	1298	18.6
3	あまり興味を感じない	3255	46.6
4	わからない	1962	28.1
	不明	92	1.3
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問５　あなたは西九州大学「食文化栄養学科」への進学希望を希望しますか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	進学を希望する	24	0.3
2	一応進学を考える	64	0.9
3	受験先の候補の一つとして考える	359	5.1
4	全く進学を希望しない	4799	68.7
5	わからない	1563	22.4
6	その他	81	1.2
	不明	94	1.3
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問６　あなたは西九州大学「健康スポーツ学科」に興味がありますか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味を感じる	499	7.1
2	少し興味を感じる	1432	20.5
3	あまり興味を感じない	3295	47.2
4	わからない	1660	23.8
	不明	98	1.4
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問７　あなたは西九州大学「健康スポーツ学科」への進学希望を希望しますか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	進学を希望する	28	0.4
2	一応進学を考える	100	1.4
3	受験先の候補の一つとして考える	434	6.2
4	全く進学を希望しない	4666	66.8
5	わからない	1591	22.8
6	その他	78	1.1
	不明	87	1.2
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問８　あなたは西九州大学「心理カウンセリング学科」に興味がありますか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	興味を感じる	712	10.2
2	少し興味を感じる	1750	25.1
3	あまり興味を感じない	2722	39.0
4	わからない	1714	24.5
	不明	86	1.2
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

問９　あなたは西九州大学「心理カウンセリング学科」への進学希望を希望しますか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	進学を希望する	36	0.5
2	一応進学を考える	138	2.0
3	受験先の候補の一つとして考える	538	7.7
4	全く進学を希望しない	4219	60.4
5	わからない	1866	26.7
6	その他	97	1.4
	不明	90	1.3
	N （%ﾍﾞｰｽ）	6984	100.0

〔男女別クロス集計表〕

問１　性別 × 実施高校

上段：人 下段：%	問１　性別			上段：人 下段：%	問１　性別		
	合計	男性	女性		合計	男性	女性
全体	6984 100.0	2954 42.3	4030 57.7				
神埼清明高等学校	150 100.0	59 39.3	91 60.7	久留米筑水高等学校	198 100.0	72 36.4	126 63.6
神埼高等学校	151 100.0	66 43.7	85 56.3	浮羽究真館高等学校	183 100.0	90 49.2	93 50.8
三養基高等学校	197 100.0	95 48.2	102 51.8	三井高等学校	－ －	－ －	－ －
佐賀商業高等学校	221 100.0	74 33.5	147 66.5	致遠館高等学校	－ －	－ －	－ －
佐賀学園高等学校	274 100.0	152 55.5	122 44.5	佐賀女子高等学校	260 100.0	－ －	260 100.0
佐賀東高等学校	－ －	－ －	－ －	龍谷高等学校	196 100.0	158 80.6	38 19.4
佐賀清和高等学校	249 100.0	54 21.7	195 78.3	佐賀東高等学校	214 100.0	113 52.8	101 47.2
佐賀北高等学校	294 100.0	111 37.8	183 62.2	鳥栖高等学校	232 100.0	113 48.7	119 51.3
小城高等学校	227 100.0	114 50.2	113 49.8	唐津西高等学校	193 100.0	93 48.2	100 51.8
多久高等学校	－ －	－ －	－ －	唐津東高等学校	222 100.0	96 43.2	126 56.8
武雄高等学校	267 100.0	127 47.6	140 52.4	伊万里高等学校	226 100.0	109 48.2	117 51.8
牛津高等学校	152 100.0	18 11.8	134 88.2	伊万里農林高等学校	112 100.0	61 54.5	51 45.5
三瀦高等学校	146 100.0	74 50.7	72 49.3	嬉野高等学校	105 100.0	25 23.8	80 76.2
大川樟風高等学校	－ －	－ －	－ －	鹿島高等学校	196 100.0	109 55.6	87 44.4
山門高等学校	171 100.0	86 50.3	85 49.7	白石高等学校	153 100.0	81 52.9	72 47.1
杉森高等学校	－ －	－ －	－ －	多久高等学校	149 100.0	86 57.7	63 42.3
ありあけ新世高等学校	227 100.0	55 24.2	172 75.8	川棚高等学校	143 100.0	52 36.4	91 63.6
誠修高等学校	53 100.0	2 3.8	51 96.2	佐世保東翔高等学校	145 100.0	27 18.6	118 81.4
八女学院高等学校	197 100.0	82 41.6	115 58.4	佐世保西高等学校	234 100.0	114 48.7	120 51.3
福島高等学校	224 100.0	105 46.9	119 53.1	清峰高等学校	183 100.0	71 38.8	112 61.2
祐誠高等学校	224 100.0	137 61.2	87 38.8	猶興館高等学校	155 100.0	73 47.1	82 52.9
久留米信愛女学院高等学校	61 100.0	－ －	61 100.0				

問２　現住所 × 問１　性別

		問２　現住所					
上段：人 下段：%		合計	佐賀県	福岡県	長崎県	その他	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	4371 62.6	1721 24.6	877 12.6	13 0.2	2 0.0
	男性	2954 100.0	1881 63.7	726 24.6	344 11.6	1 0.0	2 0.1
	女性	4030 100.0	2490 61.8	995 24.7	533 13.2	12 0.3	－ －

問３　高校卒業後の進路 × 問１　性別

		問３　高校卒業後の進路						
上段：人 下段：%		合計	大学進学	短期大学進学	専門学校進学	就　職	その他	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	4039 57.8	433 6.2	1090 15.6	1260 18.0	145 2.1	17 0.2
	男性	2954 100.0	2057 69.6	21 0.7	317 10.7	502 17.0	52 1.8	5 0.2
	女性	4030 100.0	1982 49.2	412 10.2	773 19.2	758 18.8	93 2.3	12 0.3

問４　西九州大学「食文化栄養学科」への興味 × 問１　性別

		問４　西九州大学「食文化栄養学科」への興味					
上段：人 下段：%		合計	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	わからない	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	377 5.4	1298 18.6	3255 46.6	1962 28.1	92 1.3
	男性	2954 100.0	100 3.4	365 12.4	1528 51.7	908 30.7	53 1.8
	女性	4030 100.0	277 6.9	933 23.2	1727 42.9	1054 26.2	39 1.0

問５　西九州大学「食文化栄養学科」への進学希望 × 問１　性別

		問５　西九州大学「食文化栄養学科」への進学希望							
上段：人 下段：%		合計	進学を希望する	一応進学を考える	受験先の候補の一つとして考える	全く進学を希望しない	わからない	その他	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	24 0.3	64 0.9	359 5.1	4799 68.7	1563 22.4	81 1.2	94 1.3
	男性	2954 100.0	10 0.3	23 0.8	114 3.9	2048 69.3	677 22.9	33 1.1	49 1.7
	女性	4030 100.0	14 0.3	41 1.0	245 6.1	2751 68.3	886 22.0	48 1.2	45 1.1

問６　西九州大学「健康スポーツ学科」への興味　×　問１　性別

		問６　西九州大学「健康スポーツ学科」への興味					
上段：人 下段：%		合計	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	わからない	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	499 7.1	1432 20.5	3295 47.2	1660 23.8	98 1.4
	男性	2954 100.0	289 9.8	728 24.6	1193 40.4	693 23.5	51 1.7
	女性	4030 100.0	210 5.2	704 17.5	2102 52.2	967 24.0	47 1.2

問７　西九州大学「健康スポーツ学科」への進学希望　×　問１　性別

		問７　西九州大学「健康スポーツ学科」への進学希望							
上段：人 下段：%		合計	進学を希望する	一応進学を考える	受験先の候補の一つとして考える	全く進学を希望しない	わからない	その他	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	28 0.4	100 1.4	434 6.2	4666 66.8	1591 22.8	78 1.1	87 1.2
	男性	2954 100.0	22 0.7	71 2.4	278 9.4	1711 57.9	795 26.9	29 1.0	48 1.6
	女性	4030 100.0	6 0.1	29 0.7	156 3.9	2955 73.3	796 19.8	49 1.2	39 1.0

問８　西九州大学「心理カウンセリング学科」への興味　×　問１　性別

		問８　西九州大学「心理カウンセリング学科」への興味					
上段：人 下段：%		合計	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	わからない	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	712 10.2	1750 25.1	2722 39.0	1714 24.5	86 1.2
	男性	2954 100.0	233 7.9	570 19.3	1280 43.3	822 27.8	49 1.7
	女性	4030 100.0	479 11.9	1180 29.3	1442 35.8	892 22.1	37 0.9

問９　西九州大学「心理カウンセリング学科」への進学希望　×　問１　性別

		問９　西九州大学「心理カウンセリング学科」への進学希望							
上段：人 下段：%		合計	進学を希望する	一応進学を考える	受験先の候補の一つとして考える	全く進学を希望しない	わからない	その他	不明
問１　性別	全体	6984 100.0	36 0.5	138 2.0	538 7.7	4219 60.4	1866 26.7	97 1.4	90 1.3
	男性	2954 100.0	20 0.7	50 1.7	208 7.0	1775 60.1	816 27.6	35 1.2	50 1.7
	女性	4030 100.0	16 0.4	88 2.2	330 8.2	2444 60.6	1050 26.1	62 1.5	40 1.0

資料　3-6

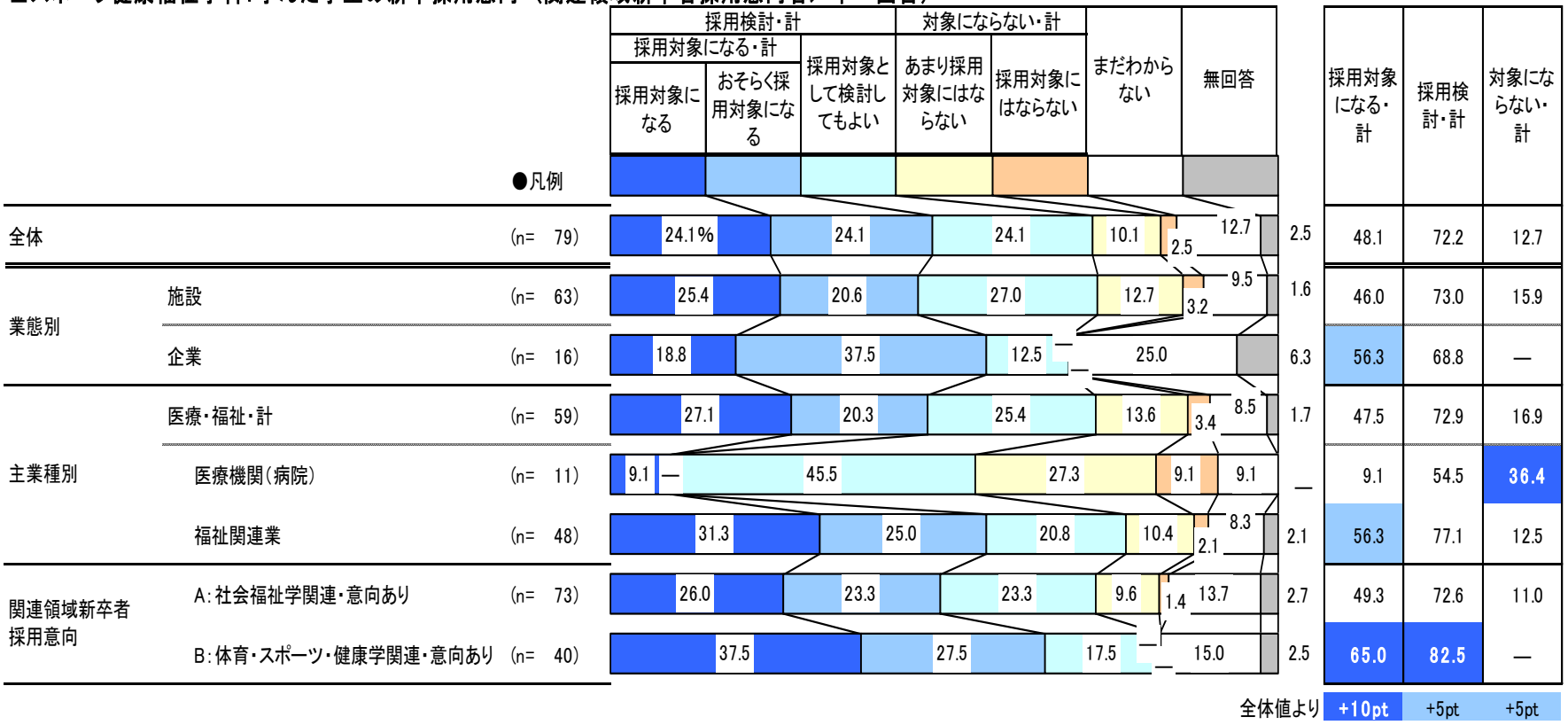
資料3-6. 本学スポーツ健康福祉学科の入学志願者数等の想定（平成26～29年度）

年度入試	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
平成26	50	70	68	65	50	1.40
平成27	50	80	78	67	50	1.60
平成28	50	90	88	73	50	1.80
平成29	50	100	97	73	50	2.00
（平均）	50	85	83	70	50	1.70

資料　4-1

資料４-１．「スポーツ健康福祉学科」で学んだ新卒採用意向

■スポーツ健康福祉学科：学んだ学生の新卒採用意向（関連領域新卒者採用意向者／単一回答）



Q04_01

注）「西九州大学新学科設置に関するアンケート調査＜事業所対象＞調査結果報告書」（廣告社株式会社）より抜粋

学校法人　永原学園
西九州大学　　御中

資料　4-2

西九州大学　新学科等の設置に関するアンケート調査＜事業所対象＞

調査結果報告書
（スポーツ健康福祉学科）

2013.7.12

KOKOKUSHA
廣告社株式会社

調査概要

▶調査目的

－ 西九州大学で設置を計画している新学科等について、事業所に興味関心度・卒業生の採用意向等を調査し、その受容性を確認する。

▶調査対象

－ 九州に事業所をもつ企業・施設

・【施設】： 病院・社会福祉施設など、施設

・【企業】： 上記施設を除いた、一般企業

▶調査方法

－ 郵送配布・回収によるアンケート調査

▶回収数

－ 107サンプル（配布：600サンプル　回収率　17.8%）

・【施設】回収　79サンプル　／　配布　357サンプル　（回収率　22.1%）

・【企業】回収　28サンプル　／　配布　243サンプル　（回収率　11.5%）

▶調査期間

－ 2013年6月18日発送　～　2013年7月2日回収分まで

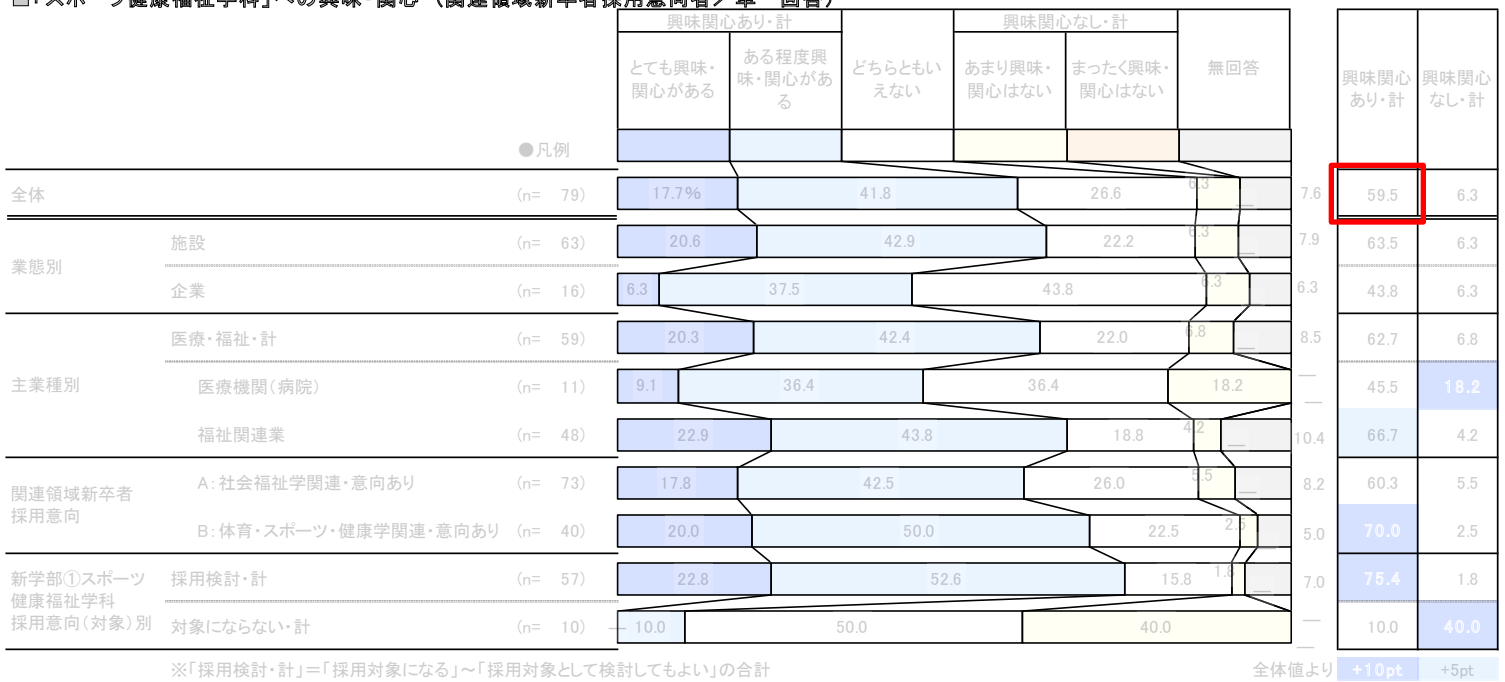
【調査結果】
設置計画案①　：　健康福祉学部　スポーツ健康福祉学科

「スポーツ健康福祉学科」への興味・関心

▶「スポーツ健康福祉学科」に**6割が「興味・関心がある」と回答**。（興味関心あり・計の値）

－ 事業所の業態別では「企業」に比べて「施設」の方が「興味関心あり・計」の割合が高い。

□「スポーツ健康福祉学科」への興味・関心 （関連領域新卒者採用意向者／単一回答）


興味関心あり・計
興味関心なし・計
とても興味・関心がある
ある程度興味・関心がある
どちらともいえない
あまり興味・関心はない
まったく興味・関心はない
無回答
興味関心あり・計
興味関心なし・計
●凡例
全体 (n= 79) 17.7% 41.8 26.6 7.6 59.5 6.3
業態別
施設 (n= 63) 20.6 42.9 22.2 7.9 63.5 6.3
企業 (n= 16) 6.3 37.5 43.8 6.3 43.8 6.3
主業種別
医療・福祉・計 (n= 59) 20.3 42.4 22.0 8.5 62.7 6.8
医療機関（病院） (n= 11) 9.1 36.4 36.4 18.2 45.5 18.2
福祉関連業 (n= 48) 22.9 43.8 18.8 10.4 66.7 4.2
関連領域新卒者採用意向
A：社会福祉学関連・意向あり (n= 73) 17.8 42.5 26.0 8.2 60.3 5.5
B：体育・スポーツ・健康学関連・意向あり (n= 40) 20.0 50.0 22.5 5.0 70.0 2.5
新学部①スポーツ健康福祉学科採用意向（対象）別
採用検討・計 (n= 57) 22.8 52.6 15.8 7.0 75.4 1.8
対象にならない・計 (n= 10) 10.0 50.0 40.0 10.0 40.0
全体値より +10pt +5pt

※「採用検討・計」＝「採用対象になる」～「採用対象として検討してもよい」の合計
※「対象にならない・計」＝「あまり採用対象にならない」・「採用対象にはならない」の合計

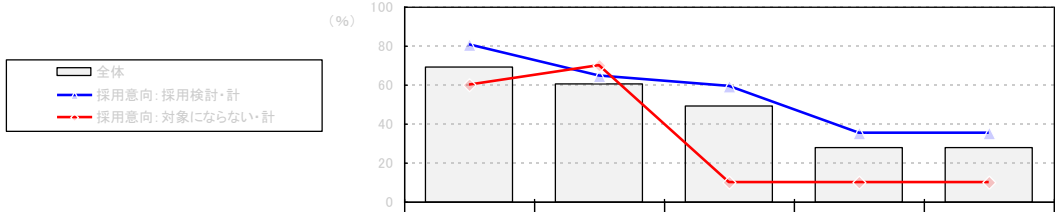
Q01_01

「魅力的」「他にはない」特徴

▶「魅力的な項目」では、**「社会福祉、栄養、リハビリテーション、子ども等、関連領域の他学科と連携した学びが可能」が7割で最も高く、次いで「社会福祉、ユニバーサルデザイン領域との連携・協働による予防医学へ貢献する人材の育成」が6割で高い。**

- 事業所の業態別では「企業」に比べて「施設」の方が「社会福祉、栄養、リハビリテーション、子ども等、関連領域の他学科と連携した学びが可能」、「社会福祉、ユニバーサルデザイン領域との連携・協働による予防医学へ貢献する人材の育成」の2項目のスコアが高い。

□スポーツ健康福祉学科：魅力的な項目 （関連領域新卒者採用意向者／複数回答）



		調査数	社会福祉、栄養、リハビリテーション、子ども等、関連領域の他学科と連携した学びが可能	社会福祉、ユニバーサルデザイン領域との連携・協働による予防医学へ貢献する人材の育成	体験学習や地域交流学習を取り入れた、実践的なカリキュラム	生涯スポーツ、地域スポーツ等を含む広範な研究対象においてスポーツ科学を探究する	教員免許を含む、多様な取得可能資格がある	平均回答個数
全体	全体	79	69.6	60.8	49.4	27.8	27.8	2.58
業態別	施設	63	77.8	69.8	47.6	27.0	30.2	2.74
	企業	16	37.5	25.0	56.3	31.3	18.8	1.93
主業種別	医療・福祉・計	59	79.7	71.2	45.8	25.4	28.8	2.74
	医療機関（病院）	11	72.7	72.7	18.2	36.4	18.2	2.67
	福祉関連業	48	81.3	70.8	52.1	22.9	31.3	2.76
関連領域新卒者採用意向	A：社会福祉学関連・意向あり	73	69.9	63.0	53.4	28.8	30.1	2.67
	B：体育・スポーツ・健康学関連・意向あり	40	67.5	52.5	67.5	37.5	37.5	2.76
新学部①スポーツ健康福祉学科採用意向（対象）別	採用検討・計	57	80.7	64.9	59.6	35.1	35.1	2.80
	対象にならない・計	10	60.0	70.0	10.0	10.0	10.0	2.29

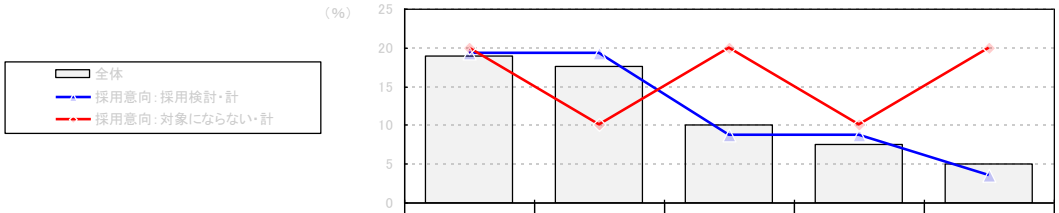
※「採用検討・計」＝「採用対象になる」～「採用対象として検討してもよい」の合計
※「対象にならない・計」＝「あまり採用対象にならない」・「採用対象にはならない」の合計
全体値より +10pt +5pt ※全体の値の降順ソート

Q02a_01

▶「他にない」特徴だと思う項目は**「生涯スポーツ、地域スポーツ等を含む広範な研究対象においてスポーツ科学を探求する」（19％）が最も高く、次いでスコアが高いのは「社会福祉、ユニバーサルデザイン領域との連携・協働による予防医学へ貢献する人材の育成」（18％）。**

- 事業所の業態別では「企業」に比べて「施設」の方が「社会福祉、ユニバーサルデザイン領域との連携・協働による予防医学へ貢献する人材の育成」のスコアが高い。

□スポーツ健康福祉学科：「他にはない」特徴だと思う項目 （関連領域新卒者採用意向者／複数回答）



		調査数	生涯スポーツ、地域スポーツ等を含む広範な研究対象においてスポーツ科学を探究する	社会福祉、ユニバーサルデザイン領域との連携・協働による予防医学へ貢献する人材の育成	体験学習や地域交流学習を取り入れた、実践的なカリキュラム	社会福祉、栄養、リハビリテーション、子ども等、関連領域の他学科と連携した学びが可能	教員免許を含む、多様な取得可能資格がある	平均回答個数
全体	全体	79	19.0	17.7	10.1	7.6	5.1	1.88
業態別	施設	63	19.0	19.0	9.5	9.5	6.3	2.00
	企業	16	18.8	12.5	12.5	—	—	1.40
主業種別	医療・福祉・計	59	18.6	18.6	10.2	10.2	6.8	2.00
	医療機関（病院）	11	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	2.25
	福祉関連業	48	18.8	18.8	8.3	8.3	6.3	1.93
関連領域新卒者採用意向	A：社会福祉学関連・意向あり	73	19.2	19.2	9.6	6.8	4.1	1.87
	B：体育・スポーツ・健康学関連・意向あり	40	30.0	22.5	12.5	7.5	5.0	2.07
新学部①スポーツ健康福祉学科採用意向（対象）別	採用検討・計	57	19.3	19.3	8.8	8.8	3.5	1.79
	対象にならない・計	10	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	2.67

※「採用検討・計」＝「採用対象になる」～「採用対象として検討してもよい」の合計
※「対象にならない・計」＝「あまり採用対象にならない」・「採用対象にはならない」の合計
全体値より +10pt +5pt ※全体の値の降順ソート

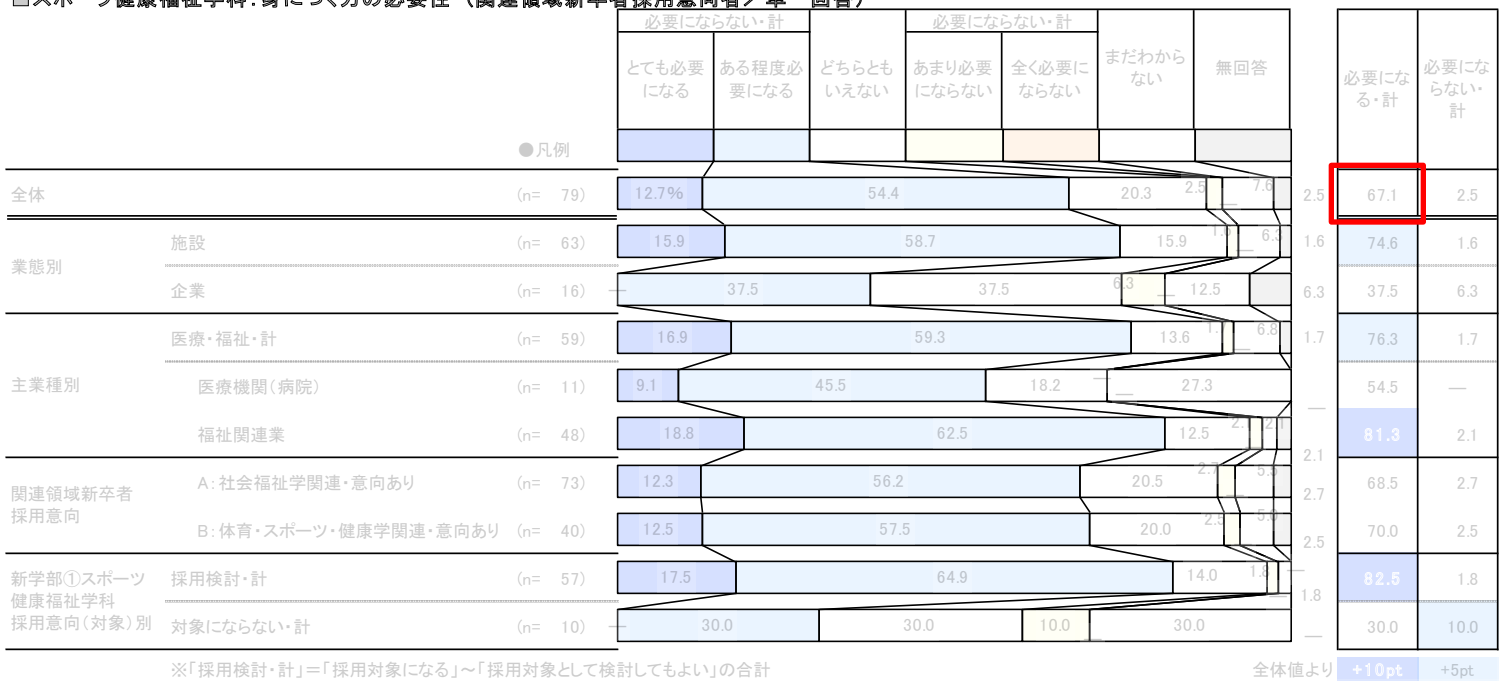
Q02b_01

身につく力の必要性

▶「スポーツ健康福祉学科」で身につく力について、**7割弱が「必要になる」と回答**。（必要になる・計の値）

－ 事業所の業態別では、「企業」よりも「施設」の方が「必要になる・計」のスコアが高い。

□スポーツ健康福祉学科：身につく力の必要性 （関連領域新卒者採用意向者／単一回答）


必要にならない・計
必要にならない・計
とても必要になる
ある程度必要になる
どちらともいえない
あまり必要にならない
全く必要にならない
まだわからない
無回答
必要になる・計
必要にならない・計
●凡例
全体 (n= 79) 12.7% 54.4 20.3 2.5 7.6 2.5 67.1 2.5
業態別
施設 (n= 63) 15.9 58.7 15.9 1.6 74.6 1.6
企業 (n= 16) 37.5 37.5 12.5 6.3 37.5 6.3
主業種別
医療・福祉・計 (n= 59) 16.9 59.3 13.6 1.7 76.3 1.7
医療機関（病院） (n= 11) 9.1 45.5 18.2 27.3 54.5 —
福祉関連業 (n= 48) 18.8 62.5 12.5 2.1 81.3 2.1
関連領域新卒者採用意向
A：社会福祉学関連・意向あり (n= 73) 12.3 56.2 20.5 2.7 68.5 2.7
B：体育・スポーツ・健康学関連・意向あり (n= 40) 12.5 57.5 20.0 2.5 70.0 2.5
新学部①スポーツ健康福祉学科採用意向（対象）別
採用検討・計 (n= 57) 17.5 64.9 14.0 1.8 82.5 1.8
対象にならない・計 (n= 10) 30.0 30.0 10.0 30.0 30.0 10.0
全体値より +10pt +5pt

※「採用検討・計」＝「採用対象になる」～「採用対象として検討してもよい」の合計
※「対象にならない・計」＝「あまり採用対象にならない」・「採用対象にはならない」の合計

Q03_01

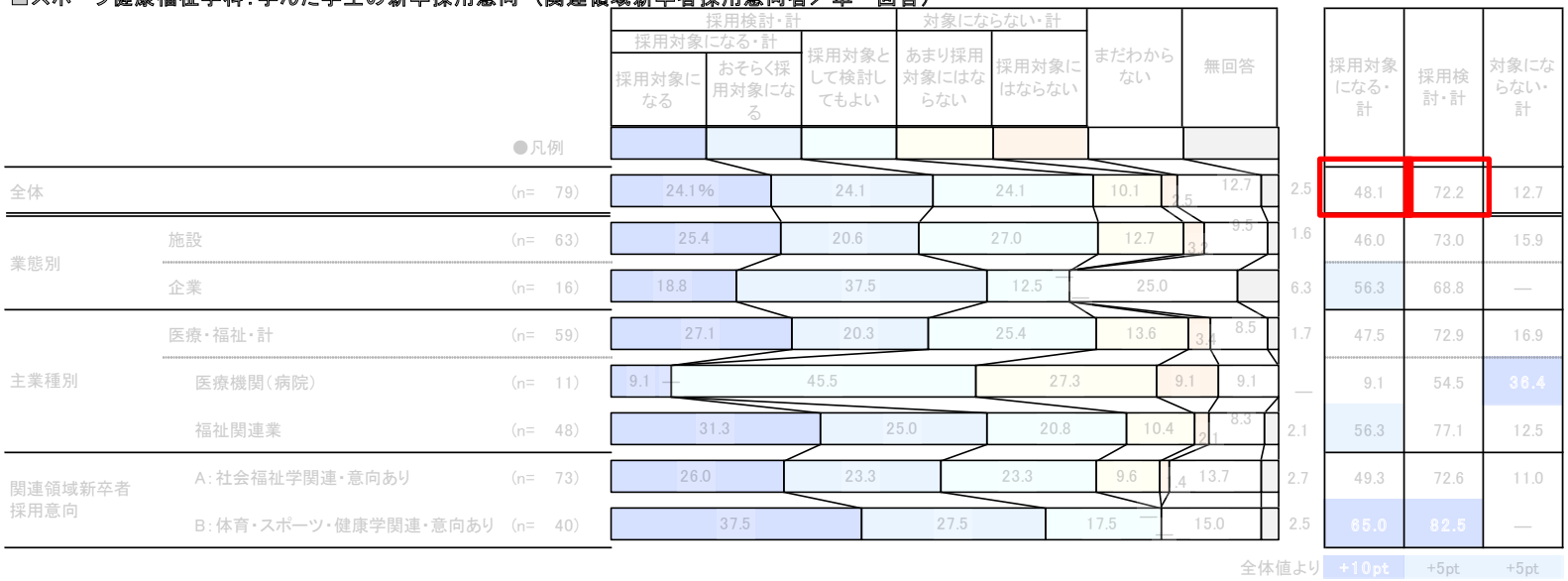
学んだ学生の新卒採用意向

▶「スポーツ健康福祉学科」で学んだ学生の新卒採用については**24％が「採用対象となる」と回答**。

－「おそらく採用対象になる」を含めると5割が「スポーツ健康福祉学科」新卒者の採用意向がある。（採用対象になる・計の値）

－ 事業所の業態別では、最も意向が高い「採用対象になる」の割合は「企業」（25%）よりも「施設」（19%）の方がスコアが高い。

□スポーツ健康福祉学科：学んだ学生の新卒採用意向 （関連領域新卒者採用意向者／単一回答）



【調査結果】
設置計画案①　：　健康福祉学部　スポーツ健康福祉学科

＜FA回答集＞

FA(自由回答)、主要意見等抜粋

「スポーツ健康福祉学科」で学んだ学生の新卒採用意向

※興味・関心:とても興味・関心がある…◎/ある程度興味・関心がある…○/どちらともいえない…△/あまり興味・関心はない…×/まったく興味・関心はない…××
※身につく力の必要性:とても必要になる…◎/ある程度必要になる…○/どちらともいえない…△/あまり必要にならない…×/全く必要にならない…××/?…まだわからない
※新卒者採用意向:採用対象になる…◎/おそらく採用対象になる…○/採用対象として検討してもよい…△/あまり採用対象にならない…×/採用対象にならない…××/?…まだわからない

業態別	主業種	「スポーツ健康福祉学科」への評価			Q4_SQ1:「スポーツ健康福祉学科」で学んだ学生の新卒採用意向　回答の理由
		興味関心	身につく力の必要性	新卒者採用意向	
施設	福祉関連業	○	○	◎	介護には体力が必要。スポーツ、レクリエーションを通して、人と人とのつながりを学んでこられた方々は必要な人材になる
施設	福祉関連業	◎	◎	◎	今後福祉業界は益々盛んになり、このような学科の知識のある学生さんは求められると思うので
施設	福祉関連業	○	○	◎	在宅福祉サービスのサービス向上の為にも介護予防の知識を持った人材が必要になると思います
施設	福祉関連業	◎	◎	◎	障害のある方の身体運動能力や機能といった面に長けた人材は社会福祉施設にとってなくてはならないものだと思います
施設	福祉関連業	○	○	◎	当施設で勤務されることと想定し考えるとご利用の日中活動の充実の為にレクリエーションや支援の提供が豊富であると思われます
施設	福祉関連業	◎	○	○	今後は予防対策が必要であり、デイサービスなどもレクリエーションインストラクターによる飽きない楽しい体力向上維持的サービスが求められる
施設	福祉関連業	○	○	○	佐賀県には学校が少ないので、専門的な分野を学んで、即戦力として期待したい
施設	医療機関(病院)	○	○	△	フィットネスセンター、およびリハビリセンターのスタッフとして採用検討
施設	福祉関連業	○	○	×	社会福祉士資格取得があれば採用対象として検討人材になる

「スポーツ健康福祉学科」に対するご意見・ご要望

※興味・関心:とても興味・関心がある…◎/ある程度興味・関心がある…○/どちらともいえない…△/あまり興味・関心はない…×/まったく興味・関心はない…××
※身につく力の必要性:とても必要になる…◎/ある程度必要になる…○/どちらともいえない…△/あまり必要にならない…×/全く必要にならない…××/?…まだわからない
※新卒者採用意向:採用対象になる…◎/おそらく採用対象になる…○/採用対象として検討してもよい…△/あまり採用対象にならない…×/採用対象にならない…××/?…まだわからない

業態別	主業種	「スポーツ健康福祉学科」への評価			Q5:「スポーツ健康福祉学科」に対するご意見・ご要望
		興味関心	身につく力の必要性	新卒者採用意向	
施設	福祉関連業	○	○	◎	高齢化社会になっているので、高齢者に関しての内容をより一層充実して頂きたいと思います
施設	福祉関連業	○	○	◎	知識と体力を備えたメンタルの強い生徒を育てて頂く事を期待します
企業	サービス業	○	△	△	人間力を高める指導も併せてお願いしたい
施設	医療機関(病院)	×	○	×	地域包括ケアにどれだけ貢献できるかが大切
施設	福祉関連業	△	○	?	生涯スポーツ、地域スポーツに対する国民の意欲が高くなることでニーズは拡大するものと思う

資料 ： 調査票 P4～5「スポーツ健康福祉学科」に関する説明文・設問

ここからは、西九州大学において現在設置計画している新学科・大学院専攻に関するものです。
それぞれの設置計画案をよくお読みいただき、続く質問にお答えください。

設置計画案①：健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科

（F7 で「A:社会福祉学」「B:体育・スポーツ・健康学」関連領域を学んだ学生について、『1:採用対象として考えられる』とお答えいただいた方がお答え下さい）

■教育目的・教育理念

ユニバーサル社会の理解と福祉の心を基盤に、年齢や性別、障がいの有無にとらわれない全ての人の身体運動やスポーツ・レクリエーション活動の支援を通して、総合的な健康と豊かな生活の構築に貢献できる人材を育成します。

■定員（卒業予定者）、設置キャンパス

入学定員：50名
神埼キャンパス（佐賀県神埼市）

■教育の特色（学びの特徴や身につく力など）

社会福祉の専門的知識を持ち、さらに健康運動やスポーツ、レクリエーションを活用して生活の質の向上や豊かな生活の構築に貢献できる専門的な知識・能力の修得が可能です。

■取得予定資格（取得可能資格など）

健康運動指導士受験資格、健康運動実践指導者受験資格、障害者スポーツ指導者（初級・中級）、レクリエーション・インストラクター、公認スポーツ指導者、社会福祉士国家試験受験資格
中学校教諭一種免許（保健体育）、高等学校教諭一種免許（保健体育）

■想定される卒後の進路

スポーツ・健康増進関連産業、医療機関（メディカル・フィットネス部門）、教育機関、
社会福祉施設・事業所、社会福祉協議会、官公庁（警察・消防・自治体など）、一般企業、他

Q1. 前ページの設置計画案にある「スポーツ健康福祉学科」に対してどの程度興味や関心をお持ちいただけますか。（ひとつに○）

1. とても興味・関心がある　2. ある程度興味・関心がある　3. どちらともいえない
4. あまり興味・関心はない　5. まったく興味・関心はない

Q2. 前ページの設置計画案をお読みいただき
（A）貴社が魅力的だと思う項目について、番号に○をつけてください。（いくつでも○）
（B）「他にはない」特徴だと思う項目について、番号に○をつけてください。
（いくつでも○）

		（A）魅力的	（B）他にはない
a	生涯スポーツ、地域スポーツ等を含む広範な研究対象においてスポーツ科学を探究する	1	1
b	社会福祉、ユニバーサルデザイン領域との連携・協働による予防医学へ貢献する人材の育成	2	2
c	体験学習や地域交流学習を取り入れた、実践的なカリキュラム	3	3
d	社会福祉、栄養、リハビリテーション、子ども等、関連領域の他学科と連携した学びが可能	4	4
e	教員免許を含む、多様な取得可能資格がある	5	5

Q3. 今後、「スポーツ健康福祉学科」で身につくような力はどの程度必要になるとお考えですか。貴社の考え方に最も近いものをお選びください。（ひとつに○）

1. とても必要になる　2. ある程度必要になる　3. どちらともいえない
4. あまり必要にならない　5. 全く必要にならない　6. まだわからない

Q4.「スポーツ健康福祉学科」で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えですか。貴社の考え方に最も近いものをお選びください。（ひとつに○）

1. 採用対象になる　2. おそらく採用対象になる　3. 採用対象として検討してもよい
4. あまり採用対象にはならない　5. 採用対象にはならない　6. まだわからない

SQ1. 上記のようにお考えの理由を教えて下さい。

Q5.「スポーツ健康福祉学科」に対するご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

次頁にお進み下さい

資料　4-3～6

資料４-３．スポーツ・運動指導者の雇用状況（%）

	全業種 総数	民間の ﾌｨｯﾄﾈｽｸﾗﾌﾞ	病院・ 診療所
総 数	100	100	100.0
1 していない	47.4	2.5	39.8
2 雇用・業務委託している	52.2	97.5	60.2
無解答 ・ 不 詳	0.4	―	―

注）平成 22 年度スポーツ・運動指導者に対するニーズ調査報告（財団法人健康体力づくり事業団）

資料４-４．主な業種別にみたスポーツ・運動指導資格所持者の雇用・業務委託状況（%）【一部抜粋】

	健康運動指導士	健康運動実践指導者	保健体育教員免許
民間のフィットネスクラブ	93.3	85.7	43.7
公共のスポーツ施設	89.3	71.4	57.1
健康行政機関	90.0	40.0	10.0
学校教育機関	90.9	72.7	54.5
病院・診療所	89.8	52.5	33.9
高齢者介護・保健福祉施設等	90.0	40.0	30.0
健康・医療・スポーツ関連団体	100.0	57.7	57.7
健康・医療・スポーツ関連企業	83.3	72.2	44.4
関連外企業・団体	81.8	36.4	36.4
健康保険組合	55.0	15.0	20.0

注）平成 22 年度スポーツ・運動指導者に対するニーズ調査報告（健康体力づくり事業団）

資料４-５．フィットネスクラブの売上高、会員数、事業所数、指導員数

年　度	売 上 高 （百万円）	会員数（人）	事業所数	指導員数（人）
平成 15 年度	224,619	2,413,104	825	22,655
平成 16 年度	237,757	2,476,895	844	24,162
平成 17 年度	258,984	2,702,659	906	29,693
平成 18 年度	287,872	2,760,282	941	31,563
平成 19 年度	289,888	2,749,098	980	30,392
平成 20 年度	294,594	2,776,580	1,028	30,658
平成 21 年度	291,777	2,843,270	1,010	31,641
平成 22 年度	295,946	2,892,914	1,021	31,940
平成 23 年度	292,635	2,873,695	1,017	30,668
平成 24 年度	292,505	2,923,010	1,030	30,777

注）特定サービス産業動態統計調査（経済産業省）

資料４-６．日本障害者スポーツ協会公認スポーツ指導員登録者数

順位	都道府県	人口比（%）	指導員数（人）
1 位	大分県	0.054	646
2 位	山口県	0.031	451
3 位	宮城県	0.028	644
4 位	三重県	0.027	499
4 位	高知県	0.027	204
4 位	鳥取県	0.027	157
7 位	福岡県	0.025	1,272
⋮	⋮	⋮	⋮
24 位	佐賀県	0.018	157

注）2011 年度障害者スポーツ指導者に関する調査　（スポーツ指導者協議会）

学校法人永原学園教職員就業規則

（省　略）

第３節　定年

（定年）

第３９条　教職員の定年は、次のとおりとする。

（１）教授　６８歳　　准教授　６５歳　　その他の教育職員　６０歳

（２）事務職員・技術職員・労務職員等　６０歳

２　前項の定年に達した教職員は、その定年に達した年度の末日をもって定年退職とする。

（定年延長）

第４０条　前条の定年に達した教職員のうち、理事長が特に必要と認める者及び５８歳を超えて採用された者については、定年を延長することができる。その場合は、１年間の雇用契約とし、更に必要を認めるときは１年ごとに更新することができる。

２　前項により定年を延長することのできる期間は、教育職員にあっては２年、その他の職員にあっては５年を限度とする。ただし、事務局長については別に定める。

（省　略）

附　則（平成１３年３月１７日）

１　この規則は、平成１３年４月１日から施行する。ただし、附則第２項及び附則第３項の規定は、平成１３年３月３１日から施行する。

２　第４０条第２項本文の規定中、当分の間、「教育職員にあっては２年」を「教育職員にあっては４年」、「その他の職員にあっては５年」を「その他の職員にあっては７年」と読み替えて適用することができるものとする。

３　前項の規定を適用するときは、あらかじめ理事会の承認を得なければならない。

附　則（平成１３年１２月１５日）

１　この規則は、平成１４年４月１日から施行する。ただし、附則第２項の規定は、平成１４年３月３１日から施行する。

２　附則（平成１３年３月１７日議決）第２項中「４年」を「５年」に改める。

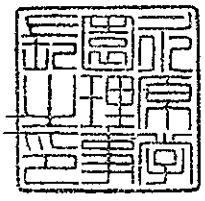
（省　略）

この就業規則は、原本と相違ないことを証明する。

平成２５年　７月１９日

学校法人　永原学園

理事長　福　元　裕



資料５－２

教員の年齢構成

健康福祉学部　スポーツ健康福祉学科

	発足時 （平成26年4月）		完成年度 （平成30年3月）		5年目 （平成30年4月以降）	
年齢分布	30代	1 人	30代	1 人	30代	2 人
	40代	1 人	40代	1 人	40代	2 人
	50代	3 人	50代	2 人	50代	2 人
	60代	3 人	60代	3 人	60代	3 人
	70代	1 人	70代	2 人	70代	0 人
平均年齢	30代	33 才	30代	37 才	30代	36 才
	40代	41 才	40代	45 才	40代	45 才
	50代	54 才	50代	56 才	50代	56 才
	60代	65 才	60代	66 才	60代	63 才
	70代	72 才	70代	73 才	70代	－ 才
	総平均	56 才	総平均	60 才	総平均	51 才

資料５－３

教員採用計画表

健康福祉学部　スポーツ健康福祉学科

	氏名	生年月日	発足時（平成26年4月）	完成年次（平成30年3月）	定年後対応	採用計画
1	フルカワ　タカヨシ 古川　孝順					・専攻領域 福祉運営管理 ・年齢　40歳代 ・職位　准教授 ・方法　公募
2	ヨネダ　イクオ 米田　郁夫					・専攻領域 ﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ ・年齢　60歳代 ・職位　教授 ・方法　公募
3	フクモト　トシオ 福本　敏雄					・専攻領域 保健体育科教育 ・年齢　60歳代 ・職位　教授 ・方法　公募
4	スガハラ　マサシ 管原　正志					・専攻領域 ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ ・年齢　30歳代 ・職位　助教、講師 ・方法　公募
5	ショウノ　ナオコ 庄野　菜穂子				―	―
6	イノウエ　トシタカ 井上　俊孝				―	―
7	コンドウ　ヨシアキ 近藤　芳昭				―	―
8	ヤマダ　リキヤ 山田　力也				―	―
9	ナカヤマ　マサノリ 中山　正教				―	―

資料　6-1

履修モデル（福祉スポーツ支援）

区分			1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修科目数	必修単位	推奨科目数	推奨単位	合計単位	要卒単位
共通教育科目	共通基礎科目		基礎演習あすなろう → 1								1	1			1	1
	教養教育科目	実践教養	あすなろう体験Ⅰ（基礎） → 1								1	1			1	1
					※あすなろう体験Ⅱ（実践） → 1		※あすなろう体験Ⅲ（応用実践） → 1									
		人間と文化	※生涯学習論 2		※異文化理解 2								8	14	14	14
		人間と社会	※くらしと経済 2	※少子高齢化社会と人間 2												
		人間と自然	※生命のしくみ 2		※統計学の基礎 2											
	語学	英語（必修）	英語表現Ⅰ 1	総合英語Ⅰ 1	英語表現Ⅱ 1	総合英語Ⅱ 1					4	4			4	4
		選択英語及び第二外国語	※英語会話Ⅰ 1	※英語会話Ⅱ 1									2	2	2	2
	健康運動学	講義		※健康・スポーツ科学 2							2	2	1	2	4	2
		実技	フィットネス・スポーツ 1		ウェルネス・スポーツ → 1											
	情報処理		情報処理基礎 → 2								1	2			2	2
共通教育科目合計			9科目 9	7科目 10	5科目 5	3科目 3	1科目 0	1科目 1	0科目 0	0科目 0	9	10	11	18	28	26
専門教育科目	学部基幹科目		健康福祉概論 2								1	2			2	84以上※そのうち、10単位までは他学部他学科の専門教育科目を修得することができる。
	学科専門科目	学科基幹科目	現代社会と福祉Ⅰ 2 スポーツ健康福祉学概論 2	生活支援学総論 2 ※現代社会と福祉Ⅱ 2							3	6	1	2	8	
		ゼミナール					スポーツ健康福祉学演習Ⅰ → 2		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究） → 4		2	6			6	
		社会福祉に関する科目 人・社会・生活	※人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 2 ※心理学Ⅰ 2	※人体の構造と機能及び疾病Ⅱ 2 ※心理学Ⅱ 2 ※生涯発達心理学 2 ※社会理論と社会システム 2			※社会調査の基礎 2									
		社会福祉に関する科目 地域福祉						※地域福祉の理論と方法Ⅰ 2 ※福祉サービスの組織と経営 2	※地域福祉の理論と方法Ⅱ 2 ※福祉行財政論 1 ※福祉計画論 1							
		社会福祉に関する科目 福祉サービスに関する知識			※社会保障論Ⅰ 2 ※高齢者福祉論 2 ※障害者福祉論 2 ※児童・家庭福祉論 2	※社会保障論Ⅱ 2 ※介護論 2 ※権利擁護と成年後見制度 2	※公的扶助論 2	※保健医療サービス 2	※就労支援サービス 1 ※更生保護制度 1				38	69	69	
		社会福祉に関する科目 相談援助の理論と方法	※相談援助の基盤と専門職Ⅰ 2	※相談援助の基盤と専門職Ⅱ 2	※相談援助の理論と方法Ⅰ 2	※相談援助の理論と方法Ⅱ 2	※相談援助の理論と方法Ⅲ 2	※相談援助の理論と方法Ⅳ 2								
		社会福祉に関する科目 相談援助の演習・実習	※相談援助演習Ⅰ 1		※相談援助演習Ⅱ 1 ※社会福祉援助技術実習指導Ⅰ → 2	※相談援助演習Ⅲ 1 → 2	※相談援助演習Ⅳ 1 ※社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 2 ※社会福祉援助技術実習 → 4	※相談援助演習Ⅴ 1 ※社会福祉援助技術実習指導Ⅲ 2								
		健康スポーツに関する科目 基礎科目	※生理学（運動生理学を含む） 2	※健康管理学 2	※スポーツ栄養学 2 ※衛生学（公衆衛生学を含む） 2 ※運動方法学演習4（水泳） 1	※救急処置（学校安全を含む） 2 ※スポーツ心理学 2	※スポーツ社会学 2	※運動方法学演習11（アダプテッド・スポーツ） 1					16	30	30	
		健康スポーツに関する科目 健康運動支援関連科目			※健康体力づくり論 2											
		健康スポーツに関する科目 生涯スポーツ支援関連科目			※レクリエーション支援論 2	※レクリエーション支援演習 2	※地域スポーツ実践演習 → 2 ※発育発達とスポーツ 2 ※リハビリテーション論 2 ※アダプテッド・スポーツ論 2									
		社会福祉及び健康スポーツ関連科目											0	0	0	
		教職に関する科目														
専門教育科目合計			8科目 15	8科目 16	12科目 20	9科目 17	12科目 17	10科目 20	6科目 6	1科目 4	6	14	55	101	115	84
総合計			17科目 24	15科目 26	17科目 25	12科目 20	13科目 17	11科目 21	6科目 6	1科目 4	15	24	66	119	143	124

備考　※印 は選択科目を示し、数字は単位数を示す。

資料　6-2

履修モデル（健康スポーツ支援）

区分			1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修科目数	必修単位	推奨科目数	推奨単位	合計単位	要卒単位
共通教育科目	共通基礎科目		基礎演習あすなろう → 1								1	1			1	1
	教養教育科目	実践教養	あすなろう体験Ⅰ（基礎） → 1								1	1			1	1
					※あすなろう体験Ⅱ（実践） → 1		※あすなろう体験Ⅲ（応用実践） → 1									
		人間と文化	※生涯学習論 2		※異文化理解 2								8	14	14	14
		人間と社会	※くらしと経済 2	※少子高齢化社会と人間 2												
		人間と自然	※生命のしくみ 2		※統計学の基礎 2											
	語学	英語（必修）	英語表現Ⅰ 1	総合英語Ⅰ 1	英語表現Ⅱ 1	総合英語Ⅱ 1					4	4			4	4
		選択英語及び第二外国語	※英語会話Ⅰ 1	※英語会話Ⅱ 1									2	2	2	2
	健康運動学	講義		※健康・スポーツ科学 2							2	2	1	2	4	2
		実技	フィットネス・スポーツ 1		ウェルネス・スポーツ → 1											
	情報処理		情報処理基礎 → 2								1	2			2	2
共通教育科目合計			9科目 9	7科目 10	5科目 5	3科目 3	1科目 0	1科目 1	0科目 0	0科目 0	9	10	11	18	28	26
専門教育科目	学部基幹科目		健康福祉概論 2								1	2			2	84 ※そのうち、10単位までは他学部他学科の専門教育科目を修得することができる。
	学科専門科目	学科基幹科目	現代社会と福祉Ⅰ 2 スポーツ健康福祉学概論 2	生活支援学総論 2							3	6			6	
		ゼミナール					スポーツ健康福祉学演習Ⅰ → 2		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究） → 4		2	6			6	
		社会福祉に関する科目 人・社会・生活	※人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 2 ※心理学Ⅰ 2	※人体の構造と機能及び疾病Ⅱ 2 ※心理学Ⅱ 2 ※生涯発達心理学 2 ※社会理論と社会システム 2			※社会調査の基礎 2									
		社会福祉に関する科目 地域福祉														
		社会福祉に関する科目 福祉サービスに関する知識			※社会保障論Ⅰ 2 ※高齢者福祉論 2 ※障害者福祉論 2	※社会保障論Ⅱ 2 ※介護論 2							12	24	24	
		社会福祉に関する科目 相談援助の理論と方法														
		社会福祉に関する科目 相談援助の演習・実習														
		健康スポーツに関する科目 基礎科目	※生理学（運動生理学を含む） 2	※生涯スポーツ論 2 ※健康管理学 2	※スポーツ栄養学 2 ※衛生学（公衆衛生学を含む） 2 ※運動方法学演習4（水泳） 1 ※運動方法学演習10（健康体力づくり） 1 ※運動方法学演習12（キャンプ） 1	※スポーツ心理学 2 ※スポーツ行政学 2 ※救急処置（学校安全を含む） 2 ※コーチング学 2	※バイオメカニクス 2 ※スポーツ社会学 2	※運動方法学演習11（アダプテッド・スポーツ） 1								
		健康スポーツに関する科目 健康運動支援関連科目			※健康体力づくり論 2	※測定評価 2	※運動負荷試験 2 ※健康産業施設等現場実習 2	※運動処方 2 ※健康運動総合演習Ⅰ 2	※健康運動総合演習Ⅱ 2				25	52	52	
		健康スポーツに関する科目 生涯スポーツ支援関連科目			※レクリエーション支援論 2	※レクリエーション支援演習 2	※地域スポーツ実践演習 → 2 ※発育発達とスポーツ 2 ※リハビリテーション論 2 ※アダプテッド・スポーツ論 2									
		社会福祉及び健康スポーツ関連		※ユニバーサルデザイン概論 2		※ユニバーサルデザイン各論 2		※健康生活と福祉技術 2					3	6	6	
		教職に関する科目														
専門教育科目合計			6科目 12	8科目 16	10科目 17	9科目 18	10科目 16	6科目 11	2科目 2	1科目 4	6	14	40	82	96	84
総合計			15科目 21	15科目 26	15科目 22	12科目 21	11科目 16	7科目 12	2科目 2	1科目 4	15	24	51	100	124	124

備考　※印 は選択科目を示し、数字は単位数を示す。

資料　6-3

履修モデル（スポーツ教育支援）

区分			1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修科目数	必修単位	推奨科目数	推奨単位	合計単位	要卒単位
共通教育科目	共通基礎科目		基礎演習あすなろう → 1								1	1			1	1
	教養教育科目	実践教養	あすなろう体験Ⅰ（基礎） → 1								1	1			1	1
		人間と文化	※生涯学習論 2		※異文化理解 2											
		人間と社会	※くらしと経済 2	※日本国憲法 2		※少子高齢化社会と人間 2							7	14	14	14
		人間と自然	※生命のしくみ 2		※統計学の基礎 2											
	語学	英語（全般）	英語表現Ⅰ 1	総合英語Ⅰ 1	英語表現Ⅱ 1	総合英語Ⅱ 1					4	4			4	4
		選択英語及び第二外国語	※英語会話Ⅰ 1	※英語会話Ⅱ 1									2	2	2	2
	健康運動学	講義		※健康・スポーツ科学 2							2	2	1	2	4	2
		実技	フィットネス・スポーツ 1		ウェルネス・スポーツ → 1											
	情報処理		情報処理基礎 → 2								1	2			2	2
共通教育科目合計			9科目 9	7科目 10	4科目 5	3科目 4	0	0	0	0	9	10	10	18	28	26
専門教育科目	学部基幹科目		健康福祉概論 2								1	2			2	84以上 ※そのうち、10単位までは他学部他学科の専門教育科目を修得することができる。
	学科専門科目	学科基幹科目	現代社会と福祉Ⅰ 2 スポーツ健康福祉学概論 2	生活支援学総論 2							3	6			6	
		ゼミナール					スポーツ健康福祉学演習Ⅰ → 2		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ（含卒業研究） → 4		2	6			6	
		社会福祉に関する科目 人・社会・生活	※人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 2 ※心理学Ⅰ 2	※人体の構造と機能及び疾病Ⅱ 2 ※心理学Ⅱ 2 ※生涯発達心理学 2 ※社会理論と社会システム 2			※社会調査の基礎 2									
		社会福祉に関する科目 地域福祉						※地域福祉の理論と方法Ⅰ 2								
		社会福祉に関する科目 福祉サービスに関する知識			※社会保障論Ⅰ 2 ※高齢者福祉論 2	※社会保障論Ⅱ 2 ※介護論 2							12	24	24	
		社会福祉に関する科目 相談援助の理論と方法														
		社会福祉に関する科目 相談援助の演習・実習														
		健康スポーツに関する科目 基礎科目	※生理学（運動生理学を含む） 2 ※運動方法学演習1（体つくり） 1	※運動方法学演習2（器械運動） 1 ※運動方法学演習5（バスケットボール） 1 ※運動方法学演習8（剣道） 1	※スポーツ栄養学 2 ※衛生学（公衆衛生学を含む） 2 ※運動方法学演習3（陸上） 1 ※運動方法学演習4（水泳） 1	※運動学（運動方法学を含む） 2 ※スポーツ心理学 2 ※学校保健 2 ※スポーツ行政学 2 ※救急処置（学校安全を含む） 2 ※運動方法学演習9（ダンス） 1	※スポーツ社会学 2 ※バイオメカニクス 2 ※精神保健学Ⅰ 2	※精神保健学Ⅱ 2					20	33	33	
		健康スポーツに関する科目 健康運動支援関連科目						※運動処方 2								
		健康スポーツに関する科目 生涯スポーツ支援関連科目														
		社会福祉及び健康スポーツ関連		※ユニバーサルデザイン概論 2		※ユニバーサルデザイン各論 2		※健康生活と福祉技術 2					3	6	6	
		教職に関する科目		※教育原論 2	※教職論 2 ※教育心理学 2 ※教育制度論 2 ※保健体育科教育法Ⅰ 2	※教育課程論 1 ※保健体育科教育法Ⅱ 2 ※道徳教育指導論 2	※教育方法論 2 ※教育相談 2 ※保健体育科教育法Ⅲ 2	※特別活動論 1 ※生徒指導論 2 ※進路指導論 1 ※保健体育科教育法Ⅳ 2	※教育実習事前事後指導 1 ※教育実習 → 4	※教職実践演習（中・高） 2			18	34	34	
専門教育科目合計			7科目 13	10科目 17	10科目 18	12科目 22	8科目 14	9科目 16	3科目 1	3科目 10	6	14	53	97	111	84
総合計			16科目 22	17科目 27	14科目 23	15科目 26	8科目 14	9科目 16	3科目 1	3科目 10	15	24	63	115	139	124

整備予定国内学術雑誌

	雑誌名	出版社	頻度	税込価格
1	からだの科学	日本評論社	2	7,602
2	みんなのスポ-ツ / 全国体育指導委員連合	日本体育社	10	10,401
3	Coaching & playing volleyball / バレ-ボ-ル・アンリミテッド [編]	バレ-ボ-ル・アンリミテッド	6	12,001
4	ジャパンフィットネス = Japan fitness	ジャパンフィットネス	12	12,001
5	子どもと発育発達 / 日本発育発達学会編	杏林書院 (発売)	4	14,280
6	陸上競技研究 = Research quarterly for athletics	日本学生陸上競技連合	4	16,201
7	テニスマガジン	ベースボールマガジン社	12	18,721
8	Swimming magazine	ベースボールマガジン社	12	19,200
9	ソフトテニス・マガジン	ベースボールマガジン社	12	19,200
10	バドミントンマガジン	ベースボールマガジン社	12	19,200
11	バイオメカニクス研究 : Japanese journal of biomechanics in sports & exercise : JJBSE / Japanese Society of biomechanics	日本バイオメカニクス学会	4	19,845
12	Baseball clinic = ベ-スボ-ル・クリニック / ベ-スボ-ル・マガジン社	ベースボールマガジン社	12	20,160
13	近代柔道	ベースボールマガジン社	12	20,160
14	相撲 / 大日本相撲協会	ベースボールマガジン社	12	21,600
15	ラグビ-マガジン	ベースボールマガジン社	12	22,081
16	陸上競技マガジン	ベースボールマガジン社	20	22,801
17	体力科学 / 日本体力医学会	日本体力医学学会	6	25,200
18	保健の科学 / 保健科学研究会	杏林書院	12	26,250
19	学校保健研究 / 日本学校保健学会	日本学校保健学会	6	26,999
20	日本生理学雑誌 / 日本生理学会	日本生理学会	8	35,903
21	切抜き速報. 健康りてらしい	ニホン・ミック	12	36,000
			合計	425,804

整備予定海外学術雑誌

	書　名	著 者	出版社	刊行年	本体価格
1	Sport and Exercise Psychology 2nd ed.	Moran, Aidan	Routledge	201202	13,633
2	Global Sports Policy	Palmer, Catherine	Sage Publications Ltd.	201211	15,731
3	Sport Policy in Britain Vol.18 Routledge Research in Sport, Culture and Society	Houlihan, Barrie/Lindsey, Iain	Routledge	201211	16,779
4	The Olympic Games and Cultural Policy Vol.12 Routledge Research in Sport, Culture and Society	Garcia, Beatriz	Routledge	201206	16,779
5	Olympic Ethics and Philosophy	McNamee, Mike/Parry, Jim	Routledge	201210	17,828
6	Sport: Race, Ethnicity and Identity Sport in the Global Society – Contemporary Perspectives	Adair, Daryl	Taylor & Francis Ltd.	201202	17,828
7	Exercise Immunology Review	Verein zur Foerderung der Sportmedizin	1077-5552	Print	16,170
8	ACSM's Health & Fitness Journal	Lippincott Williams & Wilkins	1091-5397	Print	30,660
9	JOPERD: Journal of Physical Education, Recreation and Dance	American Alliance for Health, Physical Education, Recreation, and Dance	0730-3084	Print	38,115
					183,523

主なデータベース一覧表

	雑誌名
1	GeNii：学術ｺﾝﾃﾝﾂﾎﾟｰﾀﾙ
2	JDreamⅢ
3	医中誌Web
4	PsycINFO

主な電子ｼﾞｬｰﾅﾙ

	雑 誌 名
1	SciVerse ScienceDirect
2	Academic Search Elite
3	PsycARTICLES
4	聞蔵Ⅱテキスト
5	ﾒﾃﾞｨｶﾙｵﾝﾗｲﾝ
6	Critique : studies in contemporary fiction
7	PMLA
8	Arctic anthropology
9	Chest
10	Human nature
11	Boneand joint journal (前誌：Journal of bone and joint surgery(British))
12	Journal of occupational science
13	Scandinavian journal of occupational therapy
14	Respiratory care
15	Clinical rehabilitation
16	Neurorehabilitation and neural arepair
17	Disability and rehabilitation
18	Reseach on social work practice
19	Canadian journal of occupational therapy
20	American journal of respiratory and critical care medic
21	American journal of sports medicine
22	Journal of gerontological social work
23	American journal of clinical nutrition
24	Proceedings of national academy of sciences
25	Women's history review
26	Oxford review of education
27	History of education
28	Social policy and administration
29	American anthropologist
30	Australian occupational thrapy journal
31	Evolutionary anthropology
32	Muscle & nerve
33	social work in health care
34	Proceedings of the American thoracic society
35	Journal of early childhood research
36	Journal of food science
37	Journal of the science of food & agriculture
38	Anthropology of work review
39	History of education quarterly

主な整備予定図書類

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
1	図解スポーツトレーニングの基礎理論　新版	横浜市スポーツ医科学センター	西東社	2013.01	1,500	978-4-7916-2025-8
2	準指・指導員検定模擬問題集　2013年度対応改訂版		スキージャーナル	2013.01	1,800	978-4-7899-1215-0
3	基礎から学ぶスポーツリテラシー	高橋健夫	大修館書店	2012.12	2,000	978-4-469-26741-9
4	正しく効果的に鍛えるための筋トレの正解	石井直方	成美堂出版	2012.12	950	978-4-415-31323-8
5	すぐに試合で役に立つ!バスケットボールのルール・審判の基本	橋本信雄	実業之日本社	2012.12	1,200	978-4-408-45417-7
6	バスケットボールの"コートセンス"	ジョン・ジアニーニ	大修館書店	2012.12	2,100	978-4-469-26742-6
7	サッカー オフ・ザ・ボールの動き・戦術・トレーニング	林雅人	ナツメ社	2012.12	1,500	978-4-8163-5332-1
8	試合で大活躍できる!サッカーディフェンダー上達のコツ50	中西永輔	メイツ出版	2012.12	1,300	978-4-7804-1234-5
9	必勝のサービス ポイント50	神谷勝則	メイツ出版	2012.12	1,400	978-4-7804-1232-1
10	テニス解体新書	ポール・ローテルト	スタジオタッククリエイティブ	2012.12	2,100	978-4-88393-568-0
11	選手の力を引き出す言葉力	高島規郎	卓球王国	2012.12	1,300	978-4-901638-37-1
12	勝利はすべて、ミッションから始まる。	村上恭和	WAVE出版	2012.12	1,400	978-4-87290-595-3
13	山岳読図シミュレーションBOOK		枻出版社	2012.12	1,200	978-4-7779-2545-2
14	ジュニア格闘技・武道「安心安全」強化書	二重作拓也	東邦出版	2012.12	1,429	978-4-8094-1077-2
15	夢をつなぐ	松本薫	アスペクト	2012.12	1,400	978-4-7572-2110-9
16	合気問答	塩坂洋一	BABジャパン	2012.12	1,600	978-4-86220-726-5
17	五輪書	宮本武蔵	致知出版社	2012.12	1,400	978-4-88474-982-8
18	スポーツの組織文化と産業	横山勝彦	晃洋書房	2012.11	2,300	978-4-7710-2400-7
19	スポーツ精神生理学	山崎勝男	西村書店	2012.11	3,500	978-4-89013-429-8
20	カウンターアタック	永井洋一	大修館書店	2012.11	1,500	978-4-469-26738-9
21	速く、長く、美しく走るための体幹スイッチランニング　改訂版	青山剛	マイナビ	2012.11	1,500	978-4-8399-4469-8
22	マラソンはゆっくり走れば3時間を切れる!	田中猛雄	ソフトバンククリエイティブ	2012.11	730	978-4-7973-7117-8
23	箱根駅伝新ブランド校の時代	生島淳	幻冬舎	2012.11	760	978-4-344-98285-7
24	バレーボール監督・コーチ入門	小川良樹	池田書店	2012.11	1,200	978-4-262-16130-3
25	やさしいアメリカンフットボール入門 2012年版	後藤完夫	タッチダウン	2012.11	1,000	978-4-924342-77-4
26	世界で勝たなければ意味がない	岩渕健輔	NHK出版	2012.11	740	978-4-14-088392-1
27	テニスはキャッチボールでうまくなる!	神谷勝則	池田書店	2012.11	850	978-4-262-16128-0
28	「野球医学」の教科書	馬見塚尚孝	ベースボール・マガジン社	2012.11	1,500	978-4-583-10501-7
29	野球あるあるメンタル練習法	高畑好秀	マイナビ	2012.11	1,500	978-4-8399-4482-7
30	野球規則を正しく理解するための野球審判員マニュアル	日本アマチュア野球規則委員会	ベースボール・マガジン社	2012.11	1,500	978-4-583-10499-7
31	監督・選手が変わってもなぜ強い?	藤井純一	光文社	2012.11	740	978-4-334-03714-7
32	豪打伝道の達人	松井浩	ベースボール・マガジン社	2012.11	1,500	978-4-583-10509-3
33	SIA公式メソッド	日本職業スキー教師協会	芸文社	2012.11	3,200	978-4-86396-239-2
34	女子のための柔道の教科書	木村昌彦	滋慶出版/土屋書店	2012.11	1,500	978-4-8069-1282-8
35	日本の空手家も知らなかった三戦(サンチン)の「なぜ?」	クリス・ワイルダー	BABジャパン	2012.11	1,600	978-4-86220-713-5
36	超分解32式太極拳	大畑裕史	愛隆堂	2012.11	1,900	978-4-7502-0329-4
37	末野栄二の剣道秘訣	末野栄二	体育とスポーツ出版社	2012.11	2,500	978-4-88458-248-7
38	真伝神道夢想流杖道	塩川寶祥	気天舎	2012.11	14,000	978-4-434-13446-3
39	早稲田ラグビー黄金時代2001-2009主将列伝	林健太郎	講談社	2012.11	838	978-4-06-281497-3
40	スポーツビジネス最強の教科書	平田竹男	東洋経済新報社	2012.10	3,600	978-4-492-52201-1
41	メディアスポーツへの招待	黒田勇	ミネルヴァ書房	2012.10	2,500	978-4-623-05941-6
42	ソーシャルサポートを活用したスポーツカウンセリング	土屋裕睦	風間書房	2012.10	5,500	978-4-7599-1946-2
43	これでわかる!スポーツ損傷超音波診断	杉本勝正	全日本病院出版会	2012.10	4,600	978-4-88117-068-7

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
44	スポーツ鍼灸ハンドブック　第2版	向野義人	文光堂	2012.10	4,000	978-4-8306-5179-3
45	姿勢と動きの「なぜ」がわかる本	土屋真人	秀和システム	2012.10	1,800	978-4-7980-3516-1
46	スポーツの歴史と文化	新井博	道和書院	2012.10	2,200	978-4-8105-2121-4
47	古代ギリシアとスポーツ文化	渡部憲一	高菅出版	2012.10	5,500	978-4-901793-57-5
48	スポーツ指導者のための法学15話	久保健助	北樹出版	2012.10	1,900	978-4-7793-0349-4
49	陸上運動・競技の指導を考える基礎的研究	岡野進	創文企画	2012.10	3,400	978-4-86413-028-8
50	ベアフットランニングステップバイステップ	ベアフット・ケン・ボブ・サクストン	スタジオタッククリエイティブ	2012.10	2,400	978-4-88393-569-7
51	世界のマラソンベスト50	ヒュー・ジョーンズ	エクスナレッジ	2012.10	1,800	978-4-7678-1429-2
52	バスケ脳力	ブライアン・マコーミック	スタジオタッククリエイティブ	2012.10	1,600	978-4-88393-562-8
53	バスケットボールIQ練習法	鈴木良和	マイナビ	2012.10	1,400	978-4-8399-4407-0
54	やってはいけないプレー100	下田哲朗	東邦出版	2012.10	1,300	978-4-8094-1072-7
55	サッカーワンポイントレッスン500	鈴木正治	学研パブリッシング	2012.10	1,500	978-4-05-405483-7
56	テニス丸ごと一冊戦略と戦術 1 戦術を考えるために必要な基礎知	堀内昌一	ベースボール・マガジン社	2012.10	1,700	978-4-583-10507-9
57	知るだけで強くなる野球守備フォーメーション入門	仁志敏久	池田書店	2012.10	1,200	978-4-262-16376-5
58	教育本部オフィシャル・ブック 2013年度1	全日本スキー連盟	スキージャーナル	2012.10	1,300	978-4-7899-1210-5
59	教育本部オフィシャル・ブック 2013年度	全日本スキー連盟	スキージャーナル	2012.10	2,600	978-4-7899-1213-6
60	SAJ教育本部スキー指導と検定 2013年度	全日本スキー連盟教育本部	スキージャーナル	2012.10	2,300	978-4-7899-1214-3
61	日本シンクロ栄光の軌跡　改訂新版	金子正子	出版芸術社	2012.10	1,400	978-4-88293-434-9
62	女相撲民俗誌	亀井好恵	慶友社	2012.10	4,800	978-4-87449-142-3
63	役に立つ少年柔道指導法	向井幹博	日本武道館	2012.10	2,400	978-4-583-10515-4
64	教本二十四歩/安南硬/四方公相君/十九/活法/山田式10分整体	山田治義	山田派糸東流修交会義心舘	2012.10	1,500	978-4-89514-394-3
65	教本平安立ち方/初段/二段/三段/四段/五段	山田治義	山田派糸東流修交会義心舘	2012.10	1,500	978-4-89514-393-6
66	高め合う剣道	佐藤成明	日本武道館	2012.10	2,400	978-4-583-10502-4
67	武道居合學〈綱要〉	田熊叢雪	現代社	2012.10	2,300	978-4-87474-151-1
68	決定版五輪書現代語訳	宮本武蔵	草思社	2012.10	680	978-4-7942-1927-5
69	健康運動実践指導者試験筆記対策分野別＆模擬問題集　改訂版	NESTA JAPAN	日本能率協会マネジメントセンター	2012.10	2,000	978-4-8207-4802-1
70	ようこそ、障害者スポーツへ	伊藤数子	廣済堂出版	2012.09	1,300	978-4-331-51658-4
71	発想スポーツ科学への招待	金子公宥	杏林書院	2012.09	1,900	978-4-7644-1136-4
72	スポーツ社会学研究 第20巻第2号（2012）	日本スポーツ社会学会	日本スポーツ社会学会	2012.09	1,800	978-4-86413-026-4
73	足部スポーツ障害治療の科学的基礎	福林徹	ナップ	2012.09	3,000	978-4-905168-19-5
74	子どもをアスリートの体にするための本	谷川聡	メイツ出版	2012.09	1,300	978-4-7804-1188-1
75	症状別みんなのストレッチ	宮地元彦	小学館	2012.09	1,100	978-4-09-310805-8
76	ランナーのための痛み解消クリニック	南出正順	枻出版社	2012.09	1,000	978-4-7779-2482-0
77	中長距離・駅伝	両角速	ベースボール・マガジン社	2012.09	1,500	978-4-583-10376-1
78	ハンドボール練習メニュー200	酒巻清治	池田書店	2012.09	1,500	978-4-262-16129-7
79	世界一わかりやすい!フットサルの授業	ミゲル・ロドリゴ	カンゼン	2012.09	1,500	978-4-86255-136-8
80	風間塾	風間八宏	フロムワン	2012.09	1,429	978-4-02-190228-4
81	エディー・ジョーンズの監督学	大友信彦	東邦出版	2012.09	1,429	978-4-8094-1066-6
82	プロ直伝!!野球ひじ・野球肩の治し方と予防法	鈴木平	日東書院本社	2012.09	1,300	978-4-528-01183-0
83	もっとスゴい野球体操	須田和人	ベースボール・マガジン社	2012.09	1,800	978-4-583-10498-0
84	生かされ活きる新しいスイミングクラブ	佐野豪	不昧堂出版	2012.09	1,400	978-4-8293-0495-2
85	自転車競技のためのフィロソフィー	柿木克之	ベースボール・マガジン社	2012.09	1,500	978-4-583-10504-8
86	「達人」の秘訣は「呼吸力」にあり	塩田泰久	講談社	2012.09	1,600	978-4-06-217886-0
87	合気の道	保江邦夫	海鳴社	2012.09	1,800	978-4-87525-292-4
88	弓聖阿波研造	池沢幹彦	東北大学出版会	2012.09	2,500	978-4-86163-198-6

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
89	護身術 浅山一伝流体術伝書	岩城英男	島津書房	2012.09	3,200	978-4-88218-150-7
90	体操競技六ケ国語用語辞典	本多英男	三恵社	2012.09	5,048	978-4-86487-015-3
91	スポーツの経済学	マイケル・A.リーズ	中央経済社	2012.08	3,000	978-4-502-69630-5
92	身体運動と呼吸・循環機能	宮村実晴	真興交易(株)医書出版部	2012.08	7,500	978-4-88003-868-1
93	もっとその気にさせるコーチング術	高畑好秀	体育とスポーツ出版社	2012.08	1,600	978-4-88458-261-6
94	身体の使い方、鍛え方	谷本道哉	マイナビ	2012.08	1,600	978-4-8399-4341-7
95	スポーツ子育て論	遠山健太	アスキー・メディアワークス	2012.08	743	978-4-04-886764-1
96	サッカーレフェリーズ 2012/2013	浅見俊雄	アドスリー	2012.08	1,000	978-4-904419-39-7
97	日本のメッシの育て方	上野山信行	経済界	2012.08	1,400	978-4-7667-8529-6
98	日本でいちばんプロサッカー選手を育てた男	秋元大輔	ぱる出版	2012.08	1,300	978-4-8272-0735-4
99	傭兵の告白	ジョン・ダニエル	論創社	2012.08	2,200	978-4-8460-1170-3
100	指導者のための卓球 1 体育授業としての卓球 新訂	倉木常夫	不昧堂出版	2012.08	1,800	978-4-8293-0494-5
101	インパクトから考える新しいバッティング論	広澤克実	ベースボール・マガジン社	2012.08	1,500	978-4-583-10458-4
102	ゴルフ場の事業再生	富永浩明	商事法務	2012.08	4,700	978-4-7857-2000-1
103	最先端泳法『フラットスイム』でクロールがきれいに速く泳げる!	高橋雄介	東邦出版	2012.08	1,600	978-4-8094-1056-7
104	イラスト・クライミング　増補改訂新版	阿部亮樹	東京新聞	2012.08	2,200	978-4-8083-0963-3
105	ドキュメント単独行遭難	羽根田治	山と溪谷社	2012.08	1,600	978-4-635-14019-5
106	大相撲行司の軍配房と土俵	根間弘海	専修大学出版局	2012.08	3,200	978-4-88125-271-0
107	障害者スポーツの臨界点	渡正	新評論	2012.07	3,200	978-4-7948-0909-4
108	オリンピックに勝つ物理学	望月修	講談社	2012.07	800	978-4-06-257780-9
109	テーピングバイブル	野田哲由	高橋書店	2012.07	1,200	978-4-471-14392-3
110	スポーツの「名医」		朝日新聞出版	2012.07	1,238	978-4-02-274581-1
111	小学生の新しいスポーツ食事メニュー321	こばたてるみ	西東社	2012.07	1,400	978-4-7916-1920-7
112	心の聖地	共同通信社	岩波書店	2012.07	1,800	978-4-00-022920-3
113	数学でわかるオリンピック100の謎	ジョン・D.バロウ	青土社	2012.07	2,200	978-4-7917-6660-4
114	ポーラ・ラドクリフのランニング・バイブル	ポーラ・ラドクリフ	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2012.07	2,200	978-4-7993-1186-8
115	やってはいけないランニング	鈴木清和	青春出版社	2012.07	800	978-4-413-04365-6
116	走る哲学	為末大	扶桑社	2012.07	780	978-4-594-06644-4
117	世界で戦える強い「個」を育てる	杉澤幹生	日本実業出版社	2012.07	1,500	978-4-534-04973-5
118	高校サッカー90年史	全国高等学校体育連盟サッカー専門部	講談社	2012.07	2,948	978-4-06-217780-1
119	卓球戦術ノート 続	高島規郎	卓球王国	2012.07	1,500	978-4-901638-36-4
120	野球選手の栄養と食事	川端理香	大泉書店	2012.07	1,300	978-4-278-04916-9
121	すぐに試合で役に立つ!野球のルール・審判の基本	アンパイアディベロプメントコーポレーション	実業之日本社	2012.07	1,200	978-4-408-45384-2
122	突破論	平井伯昌	日経BP社	2012.07	1,400	978-4-8222-3063-0
123	子どもが地球を愛するために　改訂版	マリナ・ラチェッキ	人文書院	2012.07	2,200	978-4-409-23052-7
124	大相撲のマネジメント	武藤泰明	東洋経済新報社	2012.07	3,200	978-4-492-50237-2
125	合気の創始者武田惣角	池月映	本の森	2012.07	1,600	978-4-904184-47-9
126	楊式太極拳のしくみ	陳孺性	愛隆堂	2012.07	1,500	978-4-7502-0326-3
127	オリンピック雑学150連発	満薗文博	文藝春秋	2012.07	533	978-4-16-783802-7
128	昭和十七年の夏 幻の甲子園	早坂隆	文藝春秋	2012.07	667	978-4-16-783803-4
129	スポーツビジネスの法と文化	グレン M.ウォン	成文堂	2012.06	3,500	978-4-7923-8070-0
130	オタクの行動経済学者、スポーツの裏側を読み解く	トビアス・J.モスコウィッツ	ダイヤモンド社	2012.06	2,000	978-4-478-01544-5
131	スポーツ医学研修ハンドブック 応用科目　第2版	日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会	文光堂	2012.06	4,500	978-4-8306-5159-5
132	運動科学の基礎	G.カーメン	西村書店	2012.06	4,500	978-4-89013-424-3
133	あの負けがあってこそ	大元よしき	ウェッジ	2012.06	1,400	978-4-86310-099-2

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
134	倫敦から来た近代スポーツの伝道師	高橋孝蔵	小学館	2012.06	720	978-4-09-825136-0
135	オリンピックと平和	内海和雄	不昧堂出版	2012.06	7,900	978-4-8293-0493-8
136	オリンピックと商業主義	小川勝	集英社	2012.06	740	978-4-08-720645-6
137	絆	伊藤智也	清流出版	2012.06	1,400	978-4-86029-384-0
138	超える力	室伏広治	文藝春秋	2012.06	1,300	978-4-16-375360-7
139	バスケットボールの戦術＆トレーニング	ドナルド・ベック	新星出版社	2012.06	1,300	978-4-405-08665-4
140	サッカー選手として知っておきたい身体（からだ）のしくみ・動作・ト	長谷川裕	ナツメ社	2012.06	1,600	978-4-8163-5242-3
141	小学生の8人制サッカー最強の戦術	松原直哉	メイツ出版	2012.06	1,300	978-4-7804-1158-4
142	サッカーの戦術＆トレーニング	神川明彦	新星出版社	2012.06	1,300	978-4-405-08664-7
143	ダブルスで勝てる!テニス最強のポイント50	岩渕聡	メイツ出版	2012.06	1,300	978-4-7804-1162-1
144	卓球コーチング教本	日本卓球協会	大修館書店	2012.06	2,800	978-4-469-26731-0
145	緒方耕一勝利に導くスチール＆ラン!	緒方耕一	ベースボール・マガジン社	2012.06	1,200	978-4-583-10457-7
146	メジャーリーグの英語	烏賀陽正弘	PHP研究所	2012.06	1,400	978-4-569-80589-4
147	藤川球児のピッチング・バイブル	藤川球児	日本文芸社	2012.06	1,400	978-4-537-20980-8
148	水泳指導教本　改訂第2版	日本水泳連盟	大修館書店	2012.06	2,400	978-4-469-26734-1
149	浮いて待て!命を守る着衣泳	斎藤秀俊	新潟日報事業社	2012.06	2,000	978-4-86132-503-8
150	15歳の選択	寺野典子	河出書房新社	2012.06	660	978-4-309-41154-5
151	スポーツ指導・実務ハンドブック　第2版	日本スポーツ学会	道和書院	2012.06	3,619	978-4-8105-2118-4
152	人種とスポーツ	川島浩平	中央公論新社	2012.05	840	978-4-12-102163-2
153	防ごう!治そう!スポーツのケガ	山本利春	河出書房新社	2012.05	1,300	978-4-309-27321-1
154	積極的保存療法	村上成道	文光堂	2012.05	3,800	978-4-8306-5166-3
155	実践グローバルスポーツマッサージ	内藤純子	緑書房	2012.05	1,600	978-4-89531-851-8
156	DVDスポーツマッサージ　新版	吉本完明	西東社	2012.05	1,200	978-4-7916-1979-5
157	多関節運動学入門　第2版	山下謙智	ナップ	2012.05	2,800	978-4-905168-17-1
158	スポーツの世界地図	Alan Tomlinson	丸善出版	2012.05	2,900	978-4-621-08546-2
159	バスケットボール五十嵐圭のドリブル＆パスバイブル	五十嵐圭	ベースボール・マガジン社	2012.05	1,600	978-4-583-10463-8
160	なぜ全日本女子バレーは世界と互角に戦えるのか	渡辺啓太	東邦出版	2012.05	1,429	978-4-8094-1037-6
161	確実に上達するソフトバレーボール	日本ソフトバレーボール連盟	実業之日本社	2012.05	1,300	978-4-408-45393-4
162	2番打者論	赤坂英一	PHP研究所	2012.05	1,400	978-4-569-80357-9
163	準備力	遠藤友彦	エイチエス	2012.05	1,429	978-4-86408-932-6
164	バッティング戦略論	手塚一志	PHP研究所	2012.05	1,400	978-4-569-79829-5
165	わかりやすいソフトボールのルール 2012年版	丸山克俊	成美堂出版	2012.05	750	978-4-415-31295-8
166	近代キャディ事典　2012年規則改訂版	牛丸成生	産労総合研究所出版部経営書院	2012.05	1,200	978-4-86326-124-2
167	水中運動処方 2	須藤明治	文化書房博文社	2012.05	2,400	978-4-8301-1224-9
168	角界モラル考	西村秀樹	不昧堂出版	2012.05	3,900	978-4-8293-0492-1
169	柔の恩人	小倉孝保	小学館	2012.05	1,600	978-4-09-389741-9
170	宗家20世・陳沛山老師の太極拳『超』入門	陳沛山	BABジャパン	2012.05	2,000	978-4-86220-681-7
171	太極拳のチカラ	青木嘉教	愛隆堂	2012.05	1,900	978-4-7502-0325-6
172	剣道練習メニュー200	香田郡秀	池田書店	2012.05	1,500	978-4-262-16373-4
173	強くなる実戦的剣道学習法	蒔田実	体育とスポーツ出版社	2012.05	1,800	978-4-88458-246-3
174	剣道昇段審査合格術　増補版	吉山満	スキージャーナル	2012.05	1,400	978-4-7899-2135-0
175	現代スポーツ評論 26 特集スポーツ立国論のゆくえ	友添秀則	創文企画	2012.05	1,600	978-4-86413-025-7
176	スポーツ・マネジメントとメガイベント	高橋由明	文眞堂	2012.04	2,600	978-4-8309-4749-0
177	「スポーツビジネス論」講義	広瀬一郎	創文企画	2012.04	1,800	978-4-86413-021-9
178	スポーツのマネジメント	マリオ宮川	東邦出版	2012.04	1,500	978-4-8094-1027-7

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
179	スポーツ人間学　復刻改変	ポール・マルタン	てらぺいあ	2012.04	800	978-4-88699-303-8
180	スポーツ倫理	近藤良享	不昧堂出版	2012.04	1,600	978-4-8293-0491-4
181	〈知的〉スポーツのすすめ	深代千之	東京大学出版会	2012.04	2,400	978-4-13-053700-1
182	基礎から学ぶスポーツ心理学　新版	蓑内豊	中西出版	2012.04	1,800	978-4-89115-263-5
183	スポーツ測定評価学　改訂版	角田直也	文化書房博文社	2012.04	2,500	978-4-8301-1220-1
184	健康とスポーツを科学する　第2版	長尾光城	中央法規出版	2012.04	2,500	978-4-8058-3615-6
185	わかる!スポーツ傷害	福林徹	南江堂	2012.04	3,000	978-4-524-26487-2
186	股関節と骨盤のスポーツ傷害	Peter H.Seidenberg	三輪書店	2012.04	4,200	978-4-89590-400-1
187	健康スポーツセラピスト知識検定公式テキスト	水嶋昭彦	BABジャパン	2012.04	1,800	978-4-86220-617-6
188	親・指導者の「常識」がつくり出す子どものスポーツ障害	高瀬元勝	現代書林	2012.04	1,500	978-4-7745-1350-8
189	フローチャートで学ぶ運動生理学実習	大槻伸吾	建帛社	2012.04	2,500	978-4-7679-0469-6
190	1から学ぶスポーツ生理学	中里浩一	ナップ	2012.04	2,200	978-4-905168-16-4
191	最新スポーツルール百科 2012	大修館書店編集部	大修館書店	2012.04	1,600	978-4-469-26729-7
192	障害者スポーツ指導教本 初級・中級　改訂版	日本障害者スポーツ協会	ぎょうせい	2012.04	2,381	978-4-324-09414-3
193	ベンチプレスフォームと補助種目	東坂康司	体育とスポーツ出版社	2012.04	1,800	978-4-88458-282-1
194	絆づくりの遊びの百科	西村誠	昭和堂	2012.04	1,900	978-4-8122-1214-1
195	ハードル	谷川聡	ベースボール・マガジン社	2012.04	1,500	978-4-583-10375-4
196	スポーツに活きる!正しい走り方講座	杉本龍勇	スタジオタッククリエイティブ	2012.04	1,500	978-4-88393-499-7
197	DVDでわかる!バスケットボール必勝のコツ50	東英樹	メイツ出版	2012.04	1,500	978-4-7804-1129-4
198	バスケットボール監督・コーチ入門	田渡優	池田書店	2012.04	1,200	978-4-262-16372-7
199	インテレラショナード・トレーニング	徳永尊信	ベースボール・マガジン社	2012.04	1,300	978-4-583-10471-3
200	なぜ流通経済大学サッカー部はプロ選手を輩出し続けるのか?	秋元大輔	東邦出版	2012.04	1,300	978-4-8094-1022-2
201	オシムのトレーニング	千田善	池田書店	2012.04	1,500	978-4-262-16370-3
202	なでしこ力 次へ	佐々木則夫	講談社	2012.04	1,200	978-4-06-378716-0
203	ゼロから始めるラクロス	大久保宜浩	実業之日本社	2012.04	1,500	978-4-408-45383-5
204	公認野球規則 2012	日本プロフェッショナル野球組織	ベースボール・マガジン社	2012.04	1,000	978-4-583-10445-4
205	野球ステップアップシリーズ 走塁編	関口勝己	ベースボール・マガジン社	2012.04	1,500	978-4-583-10443-0
206	わかりやすい野球のルール 2012年版	粟村哲志	成美堂出版	2012.04	700	978-4-415-31305-4
207	参謀	森繁和	講談社	2012.04	1,400	978-4-06-217598-2
208	プロ野球復興史	山室寛之	中央公論新社	2012.04	800	978-4-12-102160-1
209	わかりやすい軟式野球のルール 2012年版	UDC	成美堂出版	2012.04	700	978-4-415-31304-7
210	PGA最優秀ティーチングプロが考案した「クォーター理論」ゴルフ	桑田泉	成美堂出版	2012.04	1,200	978-4-415-31284-2
211	バテない体をつくる登山エクササイズ	大森義彦	誠文堂新光社	2012.04	1,800	978-4-416-81225-9
212	大山倍達の遺言	小島一志	新潮社	2012.04	2,200	978-4-10-301452-2
213	健康太極拳標準教程	楊進	ベースボール・マガジン社	2012.04	2,600	978-4-583-10456-0
214	これからはじめる人のための楽しい乗馬ビジュアルテキスト	ジョー・バード	緑書房	2012.04	2,800	978-4-89531-129-8
215	スポーツ六法 2012	小笠原正	信山社	2012.04	2,500	978-4-7972-5613-0
216	Q＆Aスポーツの法律問題　第3版	スポーツ問題研究会	民事法研究会	2012.03	2,350	978-4-89628-755-4
217	スポーツビジネス概論	黒田次郎	叢文社	2012.03	2,000	978-4-7947-0689-8
218	健康・スポーツ教育論	日本大学文理学部体育学研究室	八千代出版	2012.03	1,700	978-4-8429-1562-3
219	大学生の健康・スポーツ科学　第4版	大学生の健康・スポーツ科学研究会	道和書院	2012.03	2,600	978-4-8105-2119-1
220	スポーツ社会学研究 第20巻第1号(2012)	日本スポーツ社会学会	日本スポーツ社会学会	2012.03	1,800	978-4-86413-022-6
221	よくわかるスポーツ心理学	中込四郎	ミネルヴァ書房	2012.03	2,400	978-4-623-06179-2
222	スポーツ・運動栄養学　第2版	加藤秀夫	講談社	2012.03	2,600	978-4-06-155372-9
223	整形外科・スポーツ傷害診察ハンドブック	Chad Starkey	ナップ	2012.03	4,000	978-4-905168-13-3

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
224	子どものスポーツライフ・データ 2012		笹川スポーツ財団	2012.03	2,000	978-4-915944-50-5
225	青少年のスポーツライフ・データ 2012		笹川スポーツ財団	2012.03	2,000	978-4-915944-49-9
226	現代社会のスポーツ総合学 1 スポーツとともに生きるエキスパート	小山啓太	成文堂	2012.03	800	978-4-7923-9226-0
227	帝国日本とスポーツ	高嶋航	塙書房	2012.03	3,800	978-4-8273-1253-9
228	体幹を劇的に鍛える「回転」トレーニング	仲田健	実業之日本社	2012.03	1,300	978-4-408-45349-1
229	走る前に読む!ランニングの取扱説明書(トリセツ)	青山剛	マイナビ	2012.03	1,500	978-4-8399-4189-5
230	陸上競技審判ハンドブック 2012年度版		日本陸上競技連盟	2012.03	1,619	978-4-583-10451-5
231	陸上競技ルールブック 2012年度版		日本陸上競技連盟	2012.03	1,714	978-4-583-10450-8
232	日本一監督が教えるフットサル超速効マニュアル120	須賀雄大	白夜書房	2012.03	1,600	978-4-86191-880-3
233	サッカービジネスの基礎知識	広瀬一郎	東邦出版	2012.03	1,500	978-4-8094-1017-8
234	守護神育成トレーニング	澤村公康	スタジオタッククリエイティブ	2012.03	1,900	978-4-88393-485-0
235	心の壁をとりのぞくサッカーアイスブレイク集	江藤高志	ベースボール・マガジン社	2012.03	1,500	978-4-583-10454-6
236	人を束ねる	久米一正	幻冬舎	2012.03	800	978-4-344-98256-7
237	勝つためのソフトテニス基本の強化書	小林幸司	学研パブリッシング	2012.03	1,200	978-4-05-405272-7
238	わかりやすいテニスのルール 2012	成美堂出版編集部	成美堂出版	2012.03	700	978-4-415-31307-8
239	試合に勝つテニス鈴木貴男のスライス系ショット完全レッスン	鈴木貴男	実業之日本社	2012.03	1,300	978-4-408-45382-8
240	野球殿堂 2012 177名の足跡	野球体育博物館	ベースボール・マガジン社	2012.03	2,381	978-4-583-10452-2
241	高校野球って何だろう	渡辺元智	報知新聞社	2012.03	1,300	978-4-8319-0143-9
242	プロ野球のセオリー	鳥越規央	ベストセラーズ	2012.03	857	978-4-584-12367-6
243	セイバーメトリクス・リポート 1	岡田友輔	DELTA	2012.03	2,200	978-4-88065-286-3
244	捕手目線のリーダー論	矢野燿大	講談社	2012.03	1,400	978-4-06-216918-9
245	野球ステップアップシリーズ 守備編2 捕手/外野手	清水隆一	ベースボール・マガジン社	2012.03	1,500	978-4-583-10447-8
246	日本野球連盟の公式記録完全マニュアル	日本野球連盟	ベースボール・マガジン社	2012.03	1,200	978-4-583-10446-1
247	野球肩・ひじ・腰の鍛え方・治し方	間瀬泰克	日本文芸社	2012.03	1,300	978-4-537-20975-4
248	岡本綾子	岡本綾子	日本図書センター	2012.03	1,800	978-4-284-70069-6
249	2ギア理論	湊谷秀文	東邦出版	2012.03	1,800	978-4-8094-1024-6
250	女子柔道の歴史と課題	山口香	日本武道館	2012.03	2,400	978-4-583-10459-1
251	平法	大竹利典	日本武道館	2012.03	2,400	978-4-583-10462-1
252	弓道三昧 補完 からだが心を拓く	松枝利明	創栄出版	2012.03	1,800	978-4-434-16545-0
253	ドレッサージュのヒント	P.ヘルツェル	恒星社厚生閣	2012.03	6,900	978-4-7699-1272-9
254	スポーツビジネス特論	岸川善光	学文社	2012.02	3,100	978-4-7620-2080-3
255	スポーツ哲学の入門	シェリル・ベルクマン・ドゥルー	ナカニシヤ出版	2012.02	2,600	978-4-7795-0571-3
256	生成する身体の社会学	亀山佳明	世界思想社	2012.02	2,800	978-4-7907-1518-4
257	エクササイズ科学	田中喜代次	文光堂	2012.02	4,500	978-4-8306-5177-9
258	ファシリテート・ストレッチング　DVD付改訂版	Robert E.McAtee	医道の日本社	2012.02	4,500	978-4-7529-3096-9
259	体育・スポーツ史の世界	楠戸一彦先生退職記念論集刊行会	溪水社	2012.02	8,000	978-4-86327-179-1
260	魂の相克	大島裕史	講談社	2012.02	1,800	978-4-06-217489-3
261	やってはいけない筋トレ	坂詰真二	青春出版社	2012.02	771	978-4-413-04350-2
262	良いトレーニング、無駄なトレーニング	アレックス・ハッチンソン	草思社	2012.02	1,800	978-4-7942-1886-5
263	ダニエルズのランニング・フォーミュラ	ジャック・ダニエルズ	ベースボール・マガジン社	2012.02	2,000	978-4-583-10449-2
264	バスケットボール戦術の基本と実戦での生かし方	日高哲朗	マイナビ	2012.02	1,400	978-4-8399-4137-6
265	サッカー選手の栄養と食事	川端理香	大泉書店	2012.02	1,300	978-4-278-04915-2
266	サッカー・神技フリーキック・シュート＆パスが蹴れるようになる本	浅井武	マイナビ	2012.02	1,500	978-4-8399-4188-8
267	スペイン流サッカーライセンス講座	ランデル・エルナンデス・シマル	ベースボール・マガジン社	2012.02	1,400	978-4-583-10453-9
268	テニスは頭脳が9割	田中信弥	東邦出版	2012.02	1,300	978-4-8094-1002-4

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
269	プロ野球血風録	坂井保之	新潮社	2012.02	1,300	978-4-10-332051-7
270	野球ステップアップシリーズ 守備編1 内野手	清水隆一	ベースボール・マガジン社	2012.02	1,500	978-4-583-10442-3
271	ゴルファーなら知っておきたい「からだ」のこと	浜田節夫	大修館書店	2012.02	1,700	978-4-469-26727-3
272	若造たちをたまにやっつける飛ばしの授業	八木一正	ゴルフダイジェスト社	2012.02	857	978-4-7728-4142-9
273	すぐれたゴルフの意思決定	印南一路	東洋経済新報社	2012.02	1,900	978-4-492-04455-1
274	八卦掌精華	高継武	BABジャパン	2012.02	1,800	978-4-86220-655-8
275	警察官のための剣道	田村徹	立花書房	2012.02	1,239	978-4-8037-0140-1
276	護身武術の科学	國清仙風	不昧堂出版	2012.02	2,800	978-4-8293-0480-8
277	トレーニングをする前に読む本	石井直方	講談社	2012.02	695	978-4-06-281461-4
278	よくわかるスポーツ文化論	井上俊	ミネルヴァ書房	2012.01	2,500	978-4-623-06118-1
279	スポーツのできる子どもは勉強もできる	深代千之	幻冬舎	2012.01	780	978-4-344-98249-9
280	肩のスポーツ傷害	ジェローム・ヴィンセント・シウロ	三輪書店	2012.01	5,800	978-4-89590-392-9
281	教育・体育・スポーツに生きる	金崎良三	西日本新聞社	2012.01	1,300	978-4-8167-0843-5
282	サムライアスリート魂	北影雄幸	勉誠出版	2012.01	1,000	978-4-585-21512-7
283	ランニング1年生	アディダス	成美堂出版	2012.01	950	978-4-415-31195-1
284	基本から戦術までよくわかる女子バレーボール	秋津修	実業之日本社	2012.01	1,300	978-4-408-45374-3
285	観察眼	遠藤保仁	角川書店	2012.01	724	978-4-04-110110-0
286	日本vs韓国	吉崎エイジーニョ	ぱる出版	2012.01	1,400	978-4-8272-0684-5
287	前田幸長史上最速のスーパークイック	前田幸長	ベースボール・マガジン社	2012.01	1,200	978-4-583-10441-6
288	マーク・カヴェンディッシュ	マーク・カヴェンディッシュ	未知谷	2012.01	2,500	978-4-89642-339-6
289	身体に託された記憶	渡邉昌史	明和出版	2012.01	2,200	978-4-901933-32-2
290	確実に上達する合気道入門	塩田泰久	実業之日本社	2012.01	1,300	978-4-408-45373-6
291	準指・指導員検定模擬問題集　2012年度対応改訂版		スキージャーナル	2012.01	1,800	978-4-7899-1209-9
292	水泳プールの安全管理マニュアル　改訂第5版	水泳プール部会技術委員会	日本体育施設協会水泳プール部会	2012	1,000	
293	テキスト保健体育　改訂版	出村慎一	大修館書店	2011.12	1,800	978-4-469-26726-6
294	詳解スポーツ基本法	日本スポーツ法学会	成文堂	2011.12	3,200	978-4-7923-8068-7
295	世界記録はどこまで伸びるのか	ジョン・ブレンカス	河出書房新社	2011.12	1,800	978-4-309-25259-9
296	ACL再建術前後のリハビリテーションの科学的基礎	福林徹	ナップ	2011.12	3,600	978-4-905168-12-6
297	勝負を決する!スポーツ心理の法則	高畑好秀	体育とスポーツ出版社	2011.12	1,600	978-4-88458-260-9
298	乳酸を使いこなすランニング	八田秀雄	大修館書店	2011.12	1,500	978-4-469-26725-9
299	箱根駅伝に賭けた夢	佐山和夫	講談社	2011.12	1,400	978-4-06-217389-6
300	SWAC式マラソンステップアップトレーニング	川越学	実業之日本社	2011.12	1,300	978-4-408-45366-8
301	eA式マラソン〈新常識〉トレーニング	鈴木彰	ナツメ社	2011.12	1,400	978-4-8163-5148-8
302	なぜ人は走るのか	トル・ゴタス	筑摩書房	2011.12	2,700	978-4-480-85798-9
303	じゃぁ、そろそろ運動しませんか?	新見正則	新興医学出版社	2011.12	1,400	978-4-88002-831-6
304	松本幸雄と『籠球研究』	及川佑介	叢文社	2011.12	2,000	978-4-7947-0682-9
305	バスケットボール折茂武彦のシュートバイブル	折茂武彦	ベースボール・マガジン社	2011.12	1,600	978-4-583-10434-8
306	クーバー・コーチングサッカー365日使える!小・中学生のチーム練習	アルフレッド・ガルスティアン	カンゼン	2011.12	2,300	978-4-86255-116-0
307	サッカーコーチングレポート	小野剛	カンゼン	2011.12	1,600	978-4-86255-111-5
308	継がれゆく原野球のDNA	武田薫	ベースボール・マガジン社	2011.12	1,400	978-4-583-10437-9
309	打撃投手	澤宮優	講談社	2011.12	1,400	978-4-06-217355-1
310	浅田真央はメイクを変え、キム・ヨナは電卓をたたく	生島淳	朝日新聞出版	2011.12	760	978-4-02-273429-7
311	大相撲力士名鑑 平成24年版	京須利敏	共同通信社	2011.12	2,700	978-4-7641-0640-6
312	DVDでよくわかる柔道上達の極意	山内直人	実業之日本社	2011.12	1,500	978-4-408-45359-0
313	沖縄空手道の歴史	新垣清	原書房	2011.12	4,800	978-4-562-04716-1

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
314	スポーツ政策論	菊幸一	成文堂	2011.11	3,500	978-4-7923-8067-0
315	トップアスリートの動きは何が違うのか	山田憲政	化学同人	2011.11	1,700	978-4-7598-1343-2
316	スポーツ技術のバイオメカニクス	James G.Hay	ブックハウス・エイチディ	2011.11	7,000	978-4-938335-69-4
317	EBMスポーツ医学	ドンホール・マッコーリー	西村書店	2011.11	5,400	978-4-89013-417-5
318	現代スポーツ論の射程	金井淳二	文理閣	2011.11	3,500	978-4-89259-657-5
319	トレーニング科学	北川薫	文光堂	2011.11	3,000	978-4-8306-5164-9
320	ダイナミックストレッチング	Mark Kovacs	ナップ	2011.11	1,600	978-4-905168-10-2
321	箱根駅伝	生島淳	幻冬舎	2011.11	760	978-4-344-98236-9
322	駅伝流	渡辺康幸	文藝春秋	2011.11	680	978-4-16-660833-1
323	跳躍	吉田孝久	ベースボール・マガジン社	2011.11	1,500	978-4-583-10374-7
324	吉田健司のバスケットボール イチから始めるチーム作り オフェンス	吉田健司	ベースボール・マガジン社	2011.11	1,500	978-4-583-10414-0
325	U170cmのためのバスケットボール	青木康平	スタジオタッククリエイティブ	2011.11	1,900	978-4-88393-479-9
326	バレーボール攻撃戦術＆練習メニュー80	米山一朋	池田書店	2011.11	1,350	978-4-262-16365-9
327	よくわかるアメリカンフットボール	大橋誠	実業之日本社	2011.11	1,400	978-4-408-45358-3
328	ソフトテニス後衛バイブル	金治義昭	ベースボール・マガジン社	2011.11	1,600	978-4-583-10436-2
329	ソフトテニス前衛バイブル	金治義昭	ベースボール・マガジン社	2011.11	1,600	978-4-583-10435-5
330	テクニカル・テニス	ロッド・クロス	丸善プラネット	2011.11	2,000	978-4-86345-096-7
331	野球ステップアップシリーズ バッティング編	齋藤正直	ベースボール・マガジン社	2011.11	1,500	978-4-583-10427-0
332	語りかける山	飯田年穂	駿河台出版社	2011.11	2,300	978-4-411-04013-8
333	大相撲行司の世界	根間弘海	吉川弘文館	2011.11	1,700	978-4-642-05732-5
334	格闘技の科学	吉福康郎	ソフトバンククリエイティブ	2011.11	952	978-4-7973-5874-2
335	唐手から空手へ	金城裕	日本武道館	2011.11	2,400	978-4-583-10429-4
336	生涯の空手道	盧山初雄	気天舎	2011.11	2,700	978-4-434-15523-9
337	図説・宮本武蔵と剣豪たちの剣法	田中普門	講談社	2011.11	3,000	978-4-06-217357-5
338	スポーツと腰痛	山下敏彦	金原出版	2011.10	4,500	978-4-307-25152-5
339	写真図解Jr.スポーツマッサージ	小倉玲司	日東書院本社	2011.10	1,200	978-4-528-01698-9
340	19世紀のオリンピア競技祭	真田久	明和出版	2011.10	2,200	978-4-901933-31-5
341	ランニング・スタート・バイブル	渡辺康幸	日本文芸社	2011.10	1,200	978-4-537-20931-0
342	マラソンの教科書	川越学	池田書店	2011.10	1,400	978-4-262-16363-5
343	短距離・リレー	土江寛裕	ベースボール・マガジン社	2011.10	1,500	978-4-583-10373-0
344	詳解バスケットボールのルールと審判法 2011	阿部哲也	大修館書店	2011.10	1,500	978-4-469-26723-5
345	吉田健司のバスケットボール イチから始めるチーム作り ディフェン	吉田健司	ベースボール・マガジン社	2011.10	1,400	978-4-583-10413-3
346	わかりやすいバレーボールのルール 2011	森田淳悟	成美堂出版	2011.10	700	978-4-415-31224-8
347	チームのスイッチを入れる。	眞鍋政義	朝日新聞出版	2011.10	1,300	978-4-02-250912-3
348	アイ・コンタクト	中村和彦	岩波書店	2011.10	1,800	978-4-00-022068-2
349	なでしこの告白	週刊サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	2011.10	1,300	978-4-583-10411-9
350	いちばん勝てる!卓球シングルス戦略＆練習メニュー	佐藤真二	日東書院本社	2011.10	1,200	978-4-528-01177-9
351	野球ステップアップシリーズ ピッチング編	藤田康夫	ベースボール・マガジン社	2011.10	1,500	978-4-583-10426-3
352	SAJ教育本部スキー指導と検定 2012年度	全日本スキー連盟教育本部	スキージャーナル	2011.10	2,300	978-4-7899-1208-2
353	教育本部オフィシャルブック 2012年度1	全日本スキー連盟	スキージャーナル	2011.10	1,300	978-4-7899-1204-4
354	教育本部オフィシャルブック 2012年度1-2	全日本スキー連盟	スキージャーナル	2011.10	2,600	
355	バケる人に育てる	平井伯昌	朝日新聞出版	2011.10	1,400	978-4-02-330956-2
356	剣道昇段審査合格の秘密	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	2011.10	2,200	978-4-88458-245-6
357	健康・スポーツ科学講義　第2版	出村慎一	杏林書院	2011.09	2,500	978-4-7644-1125-8
358	スポーツ社会学研究 第19巻第2号(2011)	日本スポーツ社会学会	日本スポーツ社会学会	2011.09	1,800	978-4-86413-016-5

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
359	ここが聞きたい!スポーツ診療Q＆A	桜庭景植	全日本病院出版会	2011.09	5,500	978-4-88117-058-8
360	下肢スポーツ外傷のリハビリテーションとリコンディショニング	小柳磨毅	文光堂	2011.09	4,000	978-4-8306-5167-0
361	筋力向上のための一週間献立集	吉谷佳代	文光堂	2011.09	2,000	978-4-8306-6058-0
362	スポーツ・エネルギー学序説	金子公宥	杏林書院	2011.09	2,600	978-4-7644-1121-0
363	脂肪組織のエクササイズバイオロジー	井澤鉄也	ナップ	2011.09	2,800	978-4-905168-09-6
364	白木式コアトレベーシックメソッド	白木仁	学研パブリッシング	2011.09	1,200	978-4-05-405100-3
365	ベンチプレス基礎から実践	東坂康司	体育とスポーツ出版社	2011.09	2,600	978-4-88458-281-4
366	体幹で走る!ランニングブック	齊藤太郎	学研パブリッシング	2011.09	1,200	978-4-05-405111-9
367	走らないランニング・トレーニング	青山剛	毎日コミュニケーションズ	2011.09	1,500	978-4-8399-4019-5
368	バスケットボールのルールとスコアのつけ方　第2版	平原勇次	毎日コミュニケーションズ	2011.09	980	978-4-8399-4044-7
369	DVDでよくわかるバレーボール上達テクニック	荻野正二	実業之日本社	2011.09	1,500	978-4-408-45355-2
370	サッカー自主練革命	山本晃永	イースリー	2011.09	1,500	978-4-309-90931-8
371	日本人を強くする	岡田武史	講談社	2011.09	1,700	978-4-06-295072-5
372	高校サッカー 2		ベースボール・マガジン社	2011.09	1,143	978-4-583-61798-5
373	なでしこジャパンはなぜ世界一になれたのか?	平田竹男	ポプラ社	2011.09	1,300	978-4-591-12627-1
374	野球勝つための戦術・戦略	アメリカ野球指導者協会	大修館書店	2011.09	2,600	978-4-469-26719-8
375	グラウンドで学ぶ人生の知恵	丸山克俊	学文社	2011.09	1,900	978-4-7620-2218-0
376	ローイングの健康スポーツ科学	樋口満	市村出版	2011.09	2,500	978-4-902109-27-6
377	バイシクルトレーニングブック	竹谷賢二	ベースボール・マガジン社	2011.09	1,800	978-4-583-10377-8
378	いちばんわかりやすい!柔道の教科書	木村昌彦	土屋書店	2011.09	1,500	978-4-8069-1205-7
379	沖縄武道空手の極意 その4 日本心身思想の究極・ナイファンチの	新垣清	福昌堂	2011.09	1,500	978-4-89224-079-9
380	棒術ナブートの民族誌	瀬戸邦弘	明和出版	2011.09	1,900	978-4-901933-30-8
381	総合馬術競技	パトリック・ガルウ	恒星社厚生閣	2011.09	8,000	978-4-7699-1257-6
382	新スポーツトレーナーマニュアル	武藤芳照	南江堂	2011.08	4,700	978-4-524-25361-6
383	スポーツ医学研修ハンドブック 基礎科目　第2版	日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会	文光堂	2011.08	3,800	978-4-8306-5158-8
384	ストレッチまるわかり大事典	長畑芳仁	ベースボール・マガジン社	2011.08	1,800	978-4-583-10405-8
385	ランニングリテラシー	ランニング学会	大修館書店	2011.08	1,600	978-4-469-26721-1
386	アベベ・ビキラ	ティム・ジューダ	草思社	2011.08	1,800	978-4-7942-1848-3
387	筋トレで能力が劇的に変わる!バスケ筋FINAL 最強のカラダづくり編	梅原淳	スタジオタッククリエイティブ	2011.08	1,600	978-4-88393-477-5
388	FIVB COACHES MANUAL 2011	国際バレーボール連盟	バレーボール・アンリミテッド	2011.08	4,000	978-4-434-15953-4
389	サッカーレフェリーズ 2011/2012	浅見俊雄	アドスリー	2011.08	1,000	978-4-904419-26-7
390	サカテク	北健一郎	東邦出版	2011.08	952	978-4-8094-0961-5
391	ジュニアサッカー監督・コーチ入門	島田信幸	池田書店	2011.08	1,200	978-4-262-16127-3
392	日本にFCバルセロナが生まれる日	清水秀雄	ポプラ社	2011.08	1,300	978-4-591-12587-8
393	野球道	桑田真澄	筑摩書房	2011.08	720	978-4-480-06615-2
394	ゴルフがうまくなるためのQ＆A 2		ベースボール・マガジン社	2011.08	1,429	978-4-583-61796-1
395	誰にも聞けない太極拳の「なぜ?」	真北斐図	BABジャパン	2011.08	1,500	978-4-86220-616-9
396	剣道の法則　改訂新版	堀籠敬蔵	体育とスポーツ出版社	2011.08	2,500	978-4-88458-244-9
397	勝負は試合の前についている!	鈴木友也	日経BP社	2011.07	1,600	978-4-8222-4862-8
398	スポーツマーケティング入門	久保田正義	秀和システム	2011.07	1,500	978-4-7980-2986-3
399	運動処方の指針	American College of Sports Medicine	南江堂	2011.07	3,500	978-4-524-26216-8
400	写真記録〈体育とスポーツ〉の世界史	写真記録刊行会	日本ブックエース	2011.07	18,000	978-4-284-80173-7
401	図説世界体育史	東京教育大学体育学部体育史研究室	日本図書センター	2011.07	28,000	978-4-284-30577-8
402	スポーツファシリティマネジメント	原田宗彦	大修館書店	2011.07	2,000	978-4-469-26720-4
403	スポーツ選手のためのケガに打ち克つメンタルトレーニング	高橋浩一	ベースボール・マガジン社	2011.07	1,600	978-4-583-10386-0

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
404	こころとからだをいやすケアストレッチ	かつもとあき	中央法規出版	2011.07	1,600	978-4-8058-3500-5
405	ランニングのかがく	桜井智野風	秀和システム	2011.07	1,400	978-4-7980-3007-4
406	バスケットボール困ったときの処方箋	倉石平	ベースボール・マガジン社	2011.07	1,600	978-4-583-10394-5
407	バスケットボール最強スコアラースキルBest.55	SOMECITY	スタジオタッククリエイティブ	2011.07	1,900	978-4-88393-447-8
408	共汗・共涙・共生	工藤憲	バレーボール・アンリミテッド	2011.07	1,200	978-4-434-15798-1
409	コーチとプレーヤーのためのサッカー医学テキスト	日本サッカー協会スポーツ医学委員会	金原出版	2011.07	3,800	978-4-307-25151-8
410	テニスダブルスに勝つコツ傾向と対策82	橋爪宏幸	実業之日本社	2011.07	1,300	978-4-408-45346-0
411	ソフトテニス練習メニュー200	神崎公宏	池田書店	2011.07	1,500	978-4-262-16125-9
412	バドミントン練習メニュー200	舛田圭太	池田書店	2011.07	1,500	978-4-262-16126-6
413	池田信太郎のいちばんやさしいバドミントンの基本レッスン	池田信太郎	新星出版社	2011.07	1,200	978-4-405-08661-6
414	野球とニューヨーク	佐山和夫	中央公論新社	2011.07	1,500	978-4-12-004262-1
415	富士山に千回登りました	實川欣伸	日本経済新聞出版社	2011.07	850	978-4-532-26131-3
416	拳法極意 発勁と基本拳	松田隆智	BABジャパン	2011.07	1,600	978-4-86220-611-4
417	合気道三年教本 第2巻 二年次中級編	合気道星辰館道場	海鳴社	2011.07	1,800	978-4-87525-280-1
418	もっとうまくなる!合気道	植芝守央	ナツメ社	2011.07	1,300	978-4-8163-5099-3
419	健康太極拳稽古要諦	楊進	ベースボール・マガジン社	2011.07	1,800	978-4-583-10382-2
420	スポーツ用語辞典　改訂版	小倉伸一	三修社	2011.07	2,200	978-4-384-04444-7
421	プロスポーツ年鑑 2011	日本プロスポーツ協会	日本プロスポーツ協会	2011.07	3,800	978-4-9905744-0-6
422	実用登山用語データブック	山と溪谷社	山と溪谷社	2011.07	1,980	978-4-635-14013-3
423	筋肉メカニクスとトレーニング技術	アーバーグ	西村書店	2011.06	2,800	978-4-89013-391-8
424	レジスタンストレーニングの基礎の基礎	岩本紗由美	慧文社	2011.06	2,800	978-4-86330-049-1
425	スポーツコミュニケーション	東海林祐子	ブックハウス・エイチディ	2011.06	2,000	978-4-938335-66-3
426	みんなで楽しい!レクリエーションゲーム集	日本レクリエーション協会	西東社	2011.06	1,000	978-4-7916-1912-2
427	誰でも速く走れる骨ストレッチ	松村卓	講談社	2011.06	1,500	978-4-06-217051-2
428	バスケットボール1人でもできるトレーニングブック	鈴木良和	ベースボール・マガジン社	2011.06	1,143	978-4-583-61787-9
429	AFBアメリカンフットボールの基礎技術	森清之	タッチダウン	2011.06	1,400	978-4-924342-58-3
430	フットボールサミット 第3回 3・11以降のJリーグを問う	『フットボールサミット』議会	カンゼン	2011.06	1,300	978-4-86255-095-8
431	サッカーゴールを奪う攻撃戦術	林雅人	ナツメ社	2011.06	1,500	978-4-8163-5083-2
432	日比野弘の日本ラグビー全史	日比野弘	ベースボール・マガジン社	2011.06	15,000	978-4-583-10366-2
433	卓球スパイラル打法	平岡義博	ベースボール・マガジン社	2011.06	1,500	978-4-583-10383-9
434	カラー図解でわかる科学的アプローチ＆パットの極意	大槻義彦	ソフトバンククリエイティブ	2011.06	952	978-4-7973-6331-9
435	誰でも1km泳げる!がんばらないクロール	高橋雄介	ソフトバンククリエイティブ	2011.06	730	978-4-7973-6411-8
436	フォーム・スピードワンランクアップのクロール上達BOOK	加藤健志	成美堂出版	2011.06	1,400	978-4-415-30996-5
437	サイクリング解剖学	シャノン・ソヴンダル	ベースボール・マガジン社	2011.06	2,200	978-4-583-10370-9
438	古武道現代用語事典	鬼子毅彦	柏艪舎	2011.06	1,500	978-4-434-15571-0
439	武道から武術へ	甲野善紀	学研パブリッシング	2011.06	1,700	978-4-05-404886-7
440	柔道レベルアップ教本 寝技編 固め技の達人がポイントを徹底指導	柏崎克彦	ベースボール・マガジン社	2011.06	1,143	978-4-583-61786-2
441	規範合気道 応用編　改訂新版	植芝守央	合気会	2011.06	2,600	978-4-88293-408-0
442	百回稽古	小川忠太郎	体育とスポーツ出版社	2011.06	3,800	978-4-88458-243-2
443	スポーツの経済と政策	伊多波良雄	晃洋書房	2011.05	3,000	978-4-7710-2265-2
444	スポーツ経済学	里麻克彦	北海道大学出版会	2011.05	2,800	978-4-8329-6754-0
445	プロスポーツ経営の実務	大坪正則	創文企画	2011.05	1,800	978-4-86413-012-7
446	現代スポーツの社会学	J.コークリー	南窓社	2011.05	3,600	978-4-8165-0398-6
447	ひざのスポーツ障害を自分で治す本	立花龍司	マキノ出版	2011.05	1,400	978-4-8376-7156-5
448	錯覚のスポーツ身体学	木寺英史	東京堂出版	2011.05	2,200	978-4-490-20735-4

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
449	体育・スポーツの近現代	阿部生雄	不昧堂出版	2011.05	7,800	978-4-8293-0479-2
450	筋力トレーニング・メソッド	石井直方	高橋書店	2011.05	1,300	978-4-471-14109-7
451	パラグライダーにチャレンジ 2011-2012		イカロス出版	2011.05	1,286	978-4-86320-437-9
452	バスケットボール物語	水谷豊	大修館書店	2011.05	1,700	978-4-469-26709-9
453	スキルアップ!バレーボール	増山光洋	ブックハウス・エイチディ	2011.05	1,500	978-4-938335-55-7
454	サッカー戦術とは何か?が誰でも簡単に分かるようになる本	西部謙司	毎日コミュニケーションズ	2011.05	1,400	978-4-8399-3889-5
455	わかりやすいサッカーのルール 2011年	岡田正義	成美堂出版	2011.05	700	978-4-415-31101-2
456	個性を伸ばすフィジカルトレーニング	乾眞寛	ベースボール・マガジン社	2011.05	1,500	978-4-583-10367-9
457	テニス練習メニュー200	神谷勝則	池田書店	2011.05	1,500	978-4-262-16349-9
458	バドミントン6歳児からのコーチングQ&A	日本バドミントン協会	ベースボール・マガジン社	2011.05	1,000	978-4-583-10339-6
459	勝つための卓球ラリー＆多球練習法	宮崎義仁	毎日コミュニケーションズ	2011.05	1,300	978-4-8399-3886-4
460	頭で投げる。	石川雅規	ベースボール・マガジン社	2011.05	857	978-4-583-10369-3
461	わかりやすい野球のルール 2011年	粟村哲志	成美堂出版	2011.05	700	978-4-415-31073-2
462	わかりやすい軟式野球のルール 2011年	UDC	成美堂出版	2011.05	700	978-4-415-31074-9
463	わかりやすいソフトボールのルール 2011年	丸山克俊	成美堂出版	2011.05	700	978-4-415-31075-6
464	フィギュアスケート美のテクニック	樋口豊	新書館	2011.05	1,800	978-4-403-32034-7
465	嘉納治五郎	生誕150周年記念出版委員会	筑波大学出版会	2011.05	2,800	978-4-904074-19-0
466	合気道養神館精解技法体系	塩田泰久	BABジャパン	2011.05	1,800	978-4-86220-596-4
467	合気道三年教本 第1巻 初年次初級編	合気道星辰館道場	海鳴社	2011.05	1,800	978-4-87525-279-5
468	健康太極拳規範教程　新版	楊進	ベースボール・マガジン社	2011.05	2,500	978-4-583-10381-5
469	杖道入門　改訂新版	松井健二	体育とスポーツ出版社	2011.05	3,333	978-4-88458-242-5
470	古流へのいざないとしての杖道打太刀入門	松井健二	体育とスポーツ出版社	2011.05	2,500	978-4-88458-241-8
471	現代スポーツ評論 24 特集ジュニアスポーツの諸問題	友添秀則	創文企画	2011.05	1,600	978-4-86413-013-4
472	スポーツ産業論　第5版	原田宗彦	杏林書院	2011.04	2,500	978-4-7644-1579-9
473	スポーツ法への招待	道垣内正人	ミネルヴァ書房	2011.04	3,500	978-4-623-05980-5
474	体育・スポーツ科学概論	福永哲夫	大修館書店	2011.04	2,300	978-4-469-26714-3
475	教養としてのスポーツ・身体文化　改訂第2版	國學院大學人間開発学部健康体育学科	大修館書店	2011.04	2,300	978-4-469-26712-9
476	スポーツ指導者のためのスポーツと法	三村寛一	嵯峨野書院	2011.04	2,100	978-4-7823-0514-0
477	教養としてのスポーツ科学　改訂版	早稲田大学スポーツ科学学術院	大修館書店	2011.04	2,200	978-4-469-26715-0
478	スポーツ統計学概論　新版	青柳領	九州大学出版会	2011.04	3,800	978-4-7985-0051-5
479	体育哲学原論	大橋道雄	不昧堂出版	2011.04	2,000	978-4-8293-0486-0
480	スポーツは誰のためのものか	杉山茂	慶應義塾大学出版会	2011.04	1,800	978-4-7664-1829-3
481	復帰をめざすスポーツ整形外科	宗田大	メジカルビュー社	2011.04	9,500	978-4-7583-1040-6
482	伸びるテープと伸びないテープを使った最新スポーツテーピング	ニチバン株式会社	毎日コミュニケーションズ	2011.04	1,400	978-4-8399-3848-2
483	テーピングテクニック	ローズ・マクドナルド	ガイアブックス	2011.04	1,600	978-4-88282-787-0
484	スポーツ生理学からみたスポーツトレーニング	ジェイ・ホフマン	大修館書店	2011.04	3,200	978-4-469-26713-6
485	運動生理学　第2版	岸恭一	講談社	2011.04	2,600	978-4-06-155369-9
486	最新スポーツルール百科 2011	大修館書店編集部	大修館書店	2011.04	1,600	978-4-469-26718-1
487	トレーニング指導者テキスト 実技編	日本トレーニング指導者協会	大修館書店	2011.04	2,800	978-4-469-26711-2
488	ランニングの世界 11 特集ランナー的生活を考える	山西哲郎	創文企画	2011.04	1,600	978-4-86413-011-0
489	ビートランニング	棟方拓也	毎日コミュニケーションズ	2011.04	1,400	978-4-8399-3847-5
490	バスケットボール個人技術練習メニュー180	日高哲朗	池田書店	2011.04	1,500	978-4-262-16348-2
491	賢者は強者に優る	ピート・キャリル	晃洋書房	2011.04	2,300	978-4-7710-2269-0
492	HOOPERSバスケットボール1on1 A to Z	バスケットボール・リーグ フーパーズ	トランスワールドジャパン	2011.04	1,500	978-4-86256-077-3
493	フットサル戦術パーフェクトバイブル	ミゲル・ロドリゴ	カンゼン	2011.04	1,600	978-4-86255-086-6

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
494	サッカー検定 2011-2012		TBSサービス	2011.04	1,500	978-4-904345-19-1
495	7人制ラグビー上達クリニック	村田亙	実業之日本社	2011.04	1,400	978-4-408-45320-0
496	谷澤英彦のテニス勝つための練習法	谷澤英彦	毎日コミュニケーションズ	2011.04	1,500	978-4-8399-3823-9
497	公認野球規則 2011	日本プロフェッショナル野球組織	ベースボール・マガジン社	2011.04	1,000	978-4-583-10345-7
498	Multi Visionバッティング	高橋善正	成美堂出版	2011.04	1,200	978-4-415-30752-7
499	Multi Visionピッチング	高橋善正	成美堂出版	2011.04	1,200	978-4-415-30751-0
500	うまくなる!グラウンド・ゴルフ技術	朝井正教	ベースボール・マガジン社	2011.04	1,500	978-4-583-10348-8
501	DVD完全レッスン!水泳4泳法	奥野景介	日本文芸社	2011.04	1,500	978-4-537-20886-3
502	平泳ぎ	杉田光一	ベースボール・マガジン社	2011.04	1,800	978-4-583-10302-0
503	柔道の國際化	村田直樹	日本武道館	2011.04	2,400	978-4-583-10358-7
504	DVDでよくわかる剣道上達の極意	甲斐修二	実業之日本社	2011.04	1,500	978-4-408-45332-3
505	スポーツ六法 2011	小笠原正	信山社	2011.04	2,500	978-4-7972-5612-3
506	体育・スポーツと経営	大野貴司	ふくろう出版	2011.03	2,200	978-4-86186-458-2
507	健康・スポーツ科学のためのやさしい統計学	出村慎一	杏林書院	2011.03	2,500	978-4-7644-1118-0
508	創造とスポーツ科学	東海体育学会	杏林書院	2011.03	2,000	978-4-7644-1580-5
509	スポーツ社会学研究 第19巻第1号(2011)	日本スポーツ社会学会	日本スポーツ社会学会	2011.03	1,800	978-4-86413-010-3
510	概説健康・スポーツ科学	高井茂	八千代出版	2011.03	2,500	978-4-8429-1538-8
511	トップアスリートに学ぶ「勝負食!」	石川三知	講談社	2011.03	1,300	978-4-06-216855-7
512	スポーツ・運動生理学概説	山地啓司	明和出版	2011.03	2,800	978-4-901933-24-7
513	発達運動論	臼井永男	放送大学教育振興会	2011.03	2,800	978-4-595-13955-0
514	長嶋的、野村的	青島健太	PHP研究所	2011.03	720	978-4-569-79652-9
515	効く筋トレ・効かない筋トレ	荒川裕志	PHP研究所	2011.03	1,300	978-4-569-79505-8
516	高地トレーニングの実践ガイドライン	青木純一郎	市村出版	2011.03	2,400	978-4-902109-25-2
517	絶対変わる!ウォーキング＆ランニング	金哲彦	PHP研究所	2011.03	900	978-4-569-79603-1
518	足の速い子の育て方	長澤宗太郎	中経出版	2011.03	1,300	978-4-8061-3994-2
519	コーチKのバスケットボール勝利哲学	マイク・シャシェフスキー	イースト・プレス	2011.03	2,200	978-4-7816-0532-6
520	ベスト・オブ・コーチング＆プレイング・バレーボール vol.2 オフェンス		バレーボール・アンリミテッド	2011.03	1,500	978-4-434-15454-6
521	バレーボール ジャンパー膝の予防・治療ガイドライン	埼玉県バレーボール協会医科学委員会	冬至書房	2011.03	476	978-4-88582-180-6
522	アメリカンフットボールのルールとスコアのつけ方	笹田英次	毎日コミュニケーションズ	2011.03	980	978-4-8399-3822-2
523	8人制ジュニアサッカーバイブル	小野剛	学研パブリッシング	2011.03	1,500	978-4-05-404899-7
524	DVDでわかる!ソフトテニス勝てるダブルス!!ポイント50	小林幸司	メイツ出版	2011.03	1,500	978-4-7804-0906-2
525	世界最強中国卓球の秘密	偉関晴光	卓球王国	2011.03	1,500	978-4-901638-34-0
526	わかりやすい卓球のルール 2011	白川誠之	成美堂出版	2011.03	600	978-4-415-30992-7
527	パ・リーグがプロ野球を変える	大坪正則	朝日新聞出版	2011.03	740	978-4-02-273388-7
528	プロ野球経営が破綻するこれだけの理由	江本孟紀	産経新聞出版	2011.03	1,100	978-4-8191-1126-3
529	立正の風が吹いた!	岩瀬孝文	成文堂	2011.03	800	978-4-7923-9212-3
530	ソフトボール練習メニュー200	宇津木妙子	池田書店	2011.03	1,500	978-4-262-16347-5
531	水泳指導教本　改訂版	日本水泳連盟	大修館書店	2011.03	2,400	978-4-469-26708-2
532	背泳ぎ	鈴木陽二	ベースボール・マガジン社	2011.03	1,800	978-4-583-10301-3
533	武道	日本武道館	日本武道館	2011.03	5,000	978-4-9901694-5-9
534	物理学で合気に迫る身体「崩し」の構造	保江邦夫	BABジャパン	2011.03	1,600	978-4-86220-584-1
535	合気道絶対に崩せる「無力化」の手順	井上強一	東邦出版	2011.03	2,300	978-4-8094-0934-9
536	合気之術の科学	吉丸慶雪	ベースボール・マガジン社	2011.03	1,800	978-4-583-10346-4
537	ベースボールの詩学	平出隆	講談社	2011.03	920	978-4-06-292042-1
538	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック運動器	日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会	文光堂	2011.03	2,200	978-4-8306-5170-0

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
539	スポーツ白書		笹川スポーツ財団	2011.02	3,500	978-4-915944-45-1
540	入門スポーツ科学	杉浦雄策	ナップ	2011.02	2,000	978-4-905168-03-4
541	テーピングの教科書	石山修盟	日本文芸社	2011.02	1,200	978-4-537-20872-6
542	スポーツ現場に生かす運動生理・生化学	樋口満	市村出版	2011.02	2,600	978-4-902109-24-5
543	ジムに通う前に知っておきたい最新トレーニング科学	石井直方	洋泉社	2011.02	1,200	978-4-86248-675-2
544	柔軟力UP集中トレーニング	五十嵐悠哉	ナツメ社	2011.02	1,600	978-4-8163-5013-9
545	グアルディオラのサッカー哲学	フアン・カルロス・クベイロ	実業之日本社	2011.02	1,500	978-4-408-45324-8
546	サッカートレーニング・メニュー解体新書	林雅人	ベースボール・マガジン社	2011.02	1,500	978-4-583-10333-4
547	信じる力	大畑大介	ベストセラーズ	2011.02	1,600	978-4-584-13291-3
548	中学野球 3 強豪校＆名指導者の㊙練習法、教えます!		ベースボール・マガジン社	2011.02	1,143	978-4-583-61760-2
549	図解筑波大学博士が考えたゴルフ超理論	安藤秀	池田書店	2011.02	1,200	978-4-262-16345-1
550	よくわかるフィギュアスケート	ワールド・フィギュアスケート	新書館	2011.02	1,600	978-4-403-32029-3
551	バタフライ	太田伸	ベースボール・マガジン社	2011.02	1,800	978-4-583-10303-7
552	完本日本武芸小伝	綿谷雪	国書刊行会	2011.02	5,600	978-4-336-05345-9
553	柔道固技教本	小室宏二	晋遊舎	2011.02	2,200	978-4-86391-005-8
554	琉球秘伝武術手(ティ)を使う!	城間啓史郎	BABジャパン	2011.02	1,600	978-4-86220-574-2
555	達人空手家30人に見る空手「技」の歴史	野沢靖尚	東邦出版	2011.02	1,800	978-4-8094-0919-6
556	スポーツにおける肘関節疾患のメカニズムとリハビリテーション	福林徹	ナップ	2011.01	3,000	978-4-905168-02-7
557	スポーツ科学でわかる身体(カラダ)のしくみとトレーニング	小河繁彦	丸善	2011.01	1,900	978-4-621-08315-4
558	伸ばす筋肉がよくわかる!スポーツ・ストレッチ	秦ワタル	西東社	2011.01	1,300	978-4-7916-1769-2
559	マラソン完走マニュアル 2011Spring	ランニングマガジンcourir	ベースボール・マガジン社	2011.01	1,429	978-4-583-61758-9
560	サッカーセットプレー戦術120	清水英斗	池田書店	2011.01	1,500	978-4-262-16344-4
561	審判目線	松崎康弘	講談社	2011.01	1,300	978-4-06-216767-3
562	ザイニチ魂!	鄭大世	NHK出版	2011.01	740	978-4-14-088337-2
563	ザッケローニの哲学	アルベルト・ザッケローニ	PHP研究所	2011.01	1,000	978-4-569-79476-1
564	楕円の流儀	藤島大	論創社	2011.01	1,800	978-4-8460-1025-6
565	DVDレベルアップする!卓球	松下浩二	西東社	2011.01	1,300	978-4-7916-1692-3
566	スポーツ応援文化の社会学	高橋豪仁	世界思想社	2011.01	2,300	978-4-7907-1507-8
567	ベースボール基本の「き」　決定版	清水隆一	ベースボール・マガジン社	2011.01	1,800	978-4-583-10327-3
568	ジュニア野球監督・コーチ入門	江藤省三	池田書店	2011.01	1,200	978-4-262-16346-8
569	野球体操	須田和人	ベースボール・マガジン社	2011.01	1,400	978-4-583-10325-9
570	原辰徳と落合博満の監督力	張本勲	青志社	2011.01	1,300	978-4-905042-10-5
571	イチローの哲学	奥村幸治	PHP研究所	2011.01	1,300	978-4-569-79236-1
572	イチローのバットがなくなる日	長谷川晶一	主婦の友社	2011.01	762	978-4-07-274298-3
573	レルヒ知られざる生涯	新井博	道和書院	2011.01	1,800	978-4-8105-2116-0
574	アイススケーティングの基礎　改訂	大学スケート研究会	アイオーエム	2011.01	2,000	978-4-900442-53-5
575	綱の力	九重貢	ベースボール・マガジン社	2011.01	1,300	978-4-583-10276-4
576	相撲大事典　第3版	金指基	現代書館	2011.01	5,300	978-4-7684-7053-4
577	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック予防と	日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会	文光堂	2011.01	2,000	978-4-8306-5173-1
578	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック検査・	日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会	文光堂	2011.01	2,000	978-4-8306-5172-4
579	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブックスポー	日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会	文光堂	2011.01	2,400	978-4-8306-5176-2
580	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック救急処	日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会	文光堂	2011.01	1,800	978-4-8306-5175-5
581	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブックアスレ	日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会	文光堂	2011.01	2,400	978-4-8306-5174-8
582	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック健康管	日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会	文光堂	2011.01	2,200	978-4-8306-5171-7
583	プール運営・監視法の安全ガイドライン	水泳プール部会技術委員会	日本体育施設協会水泳プール部会	2011	1,000	978-4-924833-52-4

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
584	身体障がい者スポーツ完全ガイド	土田和歌子	東邦出版	2010.6	1,800	978-4-8094-0871-7
585	サッカー王国ブラジル流正しいマリーシア	下田哲朗	東邦出版	2010.6	1,500	978-4-8094-0873-1
586	バドミントン初心者クリニック	町田文彦	ベースボール・マガジン社	2010.6	1,200	978-4-583-10259-7
587	スポーツ医学テキスト	前田如矢	金芳堂	2010.5	3,000	978-4-7653-1429-9
588	栄養と運動医科学	ネスレ栄養科学会議	建帛社	2010.5	2,500	978-4-7679-6149-1
589	体つくり運動	東京女子体育大学体操研究室	不昧堂出版	2010.5	900	978-4-8293-0478-5
590	楽しいキッズの陸上競技	日本陸上競技連盟	大修館書店	2010.5	1,800	978-4-469-26702-0
591	もっとうまくなる!陸上競技	大村邦英	ナツメ社	2010.5	1,300	978-4-8163-4864-8
592	コーチのためのジュニアサッカー指導法と練習メニュー	島田信幸	池田書店	2010.5	1,300	978-4-262-16335-2
593	Footballイングリッシュ	フットメディア	ジャパンタイムズ	2010.5	1,800	978-4-7890-1391-8
594	サッカーの見方は1日で変えられる	木崎伸也	東洋経済新報社	2010.5	1,500	978-4-492-04375-2
595	日本サッカーを救う「超戦術」	風間八宏	ベースボール・マガジン社	2010.5	800	978-4-583-10257-3
596	マイ・トレッキングノート	日本トレッキング協会	ぎょうせい	2010.5	1,524	978-4-324-09002-2
597	イチローに糸井重里が聞く	イチロー	朝日新聞出版	2010.5	560	978-4-02-261667-8
598	健康・フィットネスと生涯スポーツ	東海大学一般体育研究室	大修館書店	2010.4	2,000	978-4-469-26696-2
599	体育のおさらい	針谷順子	自由国民社	2010.4	1,200	978-4-426-10791-8
600	「尊重」と「覚悟」を育むスポーツマンシップ立国論	広瀬一郎	小学館	2010.4	1,500	978-4-09-388117-3
601	スポーツ動作の科学	深代千之	東京大学出版会	2010.4	2,400	978-4-13-052705-7
602	地域スポーツの社会学	山下雅彦	ふくろう出版	2010.4	2,000	978-4-86186-417-9
603	わかりやすいスポーツ心理学	佐藤雅幸	文化書房博文社	2010.4	2,000	978-4-8301-1186-0
604	健康・スポーツ科学入門　改訂版	出村慎一	大修館書店	2010.4	2,000	978-4-469-26700-6
605	基本のスポーツテーピング	ニチバン株式会社	主婦の友社	2010.4	1,600	978-4-07-271288-7
606	子どものスポーツ障害とリハビリテーション	小山郁	ラピュータ	2010.4	1,600	978-4-947752-94-9
607	運動生理学　第2版	山本順一郎	化学同人	2010.4	2,800	978-4-7598-1228-2
608	最新スポーツルール百科 2010	大修館書店編集部	大修館書店	2010.4	1,600	978-4-469-26699-3
609	ランニングの世界 9 特集夏のマラソンを考える	山西哲郎	創文企画	2010.4	1,600	978-4-921164-97-3
610	チャンピオンスポーツの人間学	上谷聡子	晃洋書房	2010.4	2,200	978-4-7710-2147-1
611	DVD小・中学生のための走り方バイブル 2 1時間で速くなる!快足ト	伊東浩司	カンゼン	2010.4	1,600	978-4-86255-057-6
612	勝利を求めず勝利する	ラインハルト・K.スプレンガー	英治出版	2010.4	1,600	978-4-86276-065-4
613	オシム勝つ日本	オシム	文藝春秋	2010.4	1,333	978-4-16-372360-0
614	テニス世界最先端の練習法	坂井利彰	東邦出版	2010.4	1,500	978-4-8094-0860-1
615	公認野球規則 2010	日本プロフェッショナル野球組織	ベースボール・マガジン社	2010.4	1,000	978-4-583-10248-1
616	イチローvs松井秀喜	古内義明	小学館	2010.4	720	978-4-09-825078-3
617	SURF IS WHERE YOU FIND IT	ジェリー・ロペス	美術出版社	2010.4	3,500	978-4-568-22134-3
618	剣道は基本だ!	角正武	スキージャーナル	2010.4	2,400	978-4-7899-7545-2
619	障害馬術	アンソニー・パールマン	ベースボール・マガジン社	2010.4	9,800	978-4-583-10255-9
620	SHINZANSHAスポーツ六法 2010	小笠原正	信山社	2010.4	2,500	978-4-7972-5610-9
621	生涯スポーツの理論と実際　改訂版	日下裕弘	大修館書店	2010.3	2,300	978-4-469-26698-6
622	概説スポーツ　新版	岡野進	創文企画	2010.3	2,000	978-4-921164-95-9
623	体育・スポーツの哲学的見方	久保正秋	東海大学出版会	2010.3	2,100	978-4-486-01869-8
624	大学生の健康・スポーツ科学　3訂版	大学生の健康・スポーツ科学研究会	道和書院	2010.3	2,600	978-4-8105-2112-2
625	スポーツ社会学研究 第18巻第1号(2010)	日本スポーツ社会学会	日本スポーツ社会学会	2010.3	1,800	978-4-921164-96-6
626	これからの健康とスポーツの科学　第3版	安部孝	講談社	2010.3	2,400	978-4-06-280655-8
627	JPNドーピング・データベース　第2版	日本体育協会	じほう	2010.3	2,500	978-4-8407-4074-6
628	健康とスポーツ	玉川大学教育学部	玉川大学出版部	2010.3	1,700	978-4-472-40407-8

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
629	スポーツの栄養学	藤井久雄	アイ・ケイコーポレーション	2010.3	2,000	978-4-87492-281-1
630	小・中学生のスポーツ栄養ガイド	樋口満	女子栄養大学出版部	2010.3	2,300	978-4-7895-5131-1
631	七人のトップアスリートと骨盤力	手塚一志	キネマ旬報社	2010.3	1,800	978-4-87376-322-4
632	すぐに使える即効テーピング	倉持梨恵子	池田書店	2010.3	1,000	978-4-262-16333-8
633	健康科学としての運動生理学	中原凱文	文化書房博文社	2010.3	2,000	978-4-8301-1173-0
634	北方圏における生涯スポーツ社会の構築	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター	響文社	2010.3	2,800	978-4-87799-074-9
635	健康フィットネス・マネジメント	山崎利夫	サイエンティスト社	2010.3	2,800	978-4-86079-043-1
636	マトヴェーエフ理論に基づくトップアスリートの育て方	魚住廣信	ナップ	2010.3	2,000	978-4-931411-93-7
637	体育の教科書	長澤宗太郎	データハウス	2010.3	1,800	978-4-7817-0015-1
638	草花あそび	熊谷清司	文化書房博文社	2010.3	1,400	978-4-8301-1172-3
639	マラソン実戦力アップマニュアル	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	2010.3	1,200	978-4-583-10249-8
640	かけっこの科学	高野進	学研教育出版	2010.3	1,900	978-4-05-403439-6
641	USAバスケットボールコーチングクリニック Vol.2	Agnus Berenato	社会評論社	2010.3	10,000	978-4-7845-0657-6
642	USAバスケットボールコーチングクリニック Vol.1	Murray Bartow	社会評論社	2010.3	10,000	978-4-7845-0656-9
643	バスケットボールのルールとスコアのつけ方	平原勇次	毎日コミュニケーションズ	2010.3	980	978-4-8399-3512-2
644	「ジャパン」はなぜ負けるのか	サイモン・クーパー	日本放送出版協会	2010.3	2,000	978-4-14-081417-8
645	マンチェスター・ユナイテッドクロニクル	ジム・ホワイト	カンゼン	2010.3	2,800	978-4-86255-041-5
646	ゼロからのステップアップ確かなサッカー技術の習得と指導のため	麓信義	杏林書院	2010.3	2,400	978-4-7644-1578-2
647	サッカーとフットサルのルール	松崎康弘	毎日コミュニケーションズ	2010.3	980	978-4-8399-3466-8
648	バンクーバー朝日物語	後藤紀夫	岩波書店	2010.3	2,100	978-4-00-024455-8
649	信念を貫く	松井秀喜	新潮社	2010.3	680	978-4-10-610355-1
650	メジャーリーグビジネスの裏側	丹羽政善	キネマ旬報社	2010.3	1,800	978-4-87376-328-6
651	金メダリストに学ぶソフトボール	ソフトボールマガジン編集部	ベースボール・マガジン社	2010.3	1,200	978-4-583-10252-8
652	使える武術	長野峻也	筑摩書房	2010.3	720	978-4-480-06537-7
653	わかりやすい剣道段級審査	香田郡秀	成美堂出版	2010.3	740	978-4-415-30811-1
654	身体の近代化	松浪稔	叢文社	2010.2	2,000	978-4-7947-0641-6
655	スポーツ観戦学	橋本純一	世界思想社	2010.2	2,300	978-4-7907-1454-5
656	筋・筋膜性腰痛のメカニズムとリハビリテーション	福林徹	ナップ	2010.2	3,000	978-4-931411-92-0
657	運動生理・栄養学　第3版	高松薫	建帛社	2010.2	2,200	978-4-7679-0407-8
658	スポーツマネジメント研究 第2巻第1号	日本スポーツマネジメント学会	日本スポーツマネジメント学会	2010.2	1,600	978-4-921164-94-2
659	クロリティーの研究	石川幸生	唯学書房	2010.2	2,200	978-4-902225-54-9
660	BORN TO RUN走るために生まれた	クリストファー・マクドゥーガル	日本放送出版協会	2010.2	2,000	978-4-14-081414-7
661	パワーリフティング入門 続	吉田進	体育とスポーツ出版社	2010.2	1,900	978-4-88458-217-3
662	バスケットボールオフェンス	ジェリー・クラウス	社会評論社	2010.2	10,000	978-4-7845-0642-2
663	バスケットボールディフェンス	ジェリー・クラウス	社会評論社	2010.2	10,000	978-4-7845-0643-9
664	このフォームで上達!バレーボール「最先端」スタイル	佐伯美香	東邦出版	2010.2	1,905	978-4-8094-0844-1
665	阿部勇樹のサッカーレベルアップマスター	阿部勇樹	新星出版社	2010.2	1,500	978-4-405-08652-4
666	サッカー日本代表システム進化論	西部謙司	学研パブリッシング	2010.2	740	978-4-05-404417-3
667	サッカースカウティングレポート	小野剛	カンゼン	2010.2	1,600	978-4-86255-037-8
668	ピッチングメカニズムブック 改善編 ドリル＆トレーニング	前田健	ベースボール・マガジン社	2010.2	1,800	978-4-583-10240-5
669	ピッチングメカニズムブック 理論編 ピッチングの仕組み	前田健	ベースボール・マガジン社	2010.2	1,800	978-4-583-10215-3
670	ディンギーヨットの基礎訓練　増補3訂版	笹岡耕平	成山堂書店	2010.2	1,200	978-4-425-95204-5
671	武道の礼法	小笠原清忠	日本武道館	2010.2	2,400	978-4-583-10238-2
672	武蔵「円明流」を学ぶ	赤羽根大介	スキージャーナル	2010.2	2,500	978-4-7899-2127-5
673	居合の流派	京一輔	愛隆堂	2010.2	1,500	978-4-7502-0307-2

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
674	アジア各国におけるスポーツ法の比較研究		エイデル研究所	2010.12	4,286	978-4-87168-487-3
675	プロスポーツクラブ経営戦略論	大野貴司	三恵社	2010.12	2,500	978-4-88361-794-4
676	スポーツと文明化	ノルベルト・エリアス	法政大学出版局	2010.12	5,300	978-4-588-09931-1
677	スポーツ指導者のためのコンディショニングの基礎知識	山本利春	大修館書店	2010.12	1,500	978-4-469-26707-5
678	ひとりでできるスポーツマッサージ	曽我武史	実業之日本社	2010.12	1,400	978-4-408-45300-2
679	スポーツアロママッサージ	神崎貴子	フレグランスジャーナル社	2010.12	5,800	978-4-89479-190-9
680	スポーツライフ・データ 2010		笹川スポーツ財団	2010.12	2,000	978-4-915944-44-4
681	ランニング解剖学	ジョー・プレオ	ベースボール・マガジン社	2010.12	2,200	978-4-583-10278-8
682	アドバンスト・マラソントレーニング	ピート・フィッツィンジャー	ベースボール・マガジン社	2010.12	2,500	978-4-583-10280-1
683	レモシステム	川原剛正	旭屋出版	2010.12	1,200	978-4-7511-0905-2
684	42.195KM トレーニング編	齊藤太郎	フリースペース	2010.12	2,500	978-4-434-15280-1
685	基本から戦術までよくわかる女子バスケットボール	村松啓三	実業之日本社	2010.12	1,300	978-4-408-45318-7
686	フットサル・レフェリーズ　改定版	松崎康弘	アドスリー	2010.12	1,000	978-4-904419-21-2
687	サッカーのコンディショニング	戸苅晴彦	大修館書店	2010.12	1,800	978-4-469-26705-1
688	バドミントン連続写真で見る世界のテクニック集		ベースボール・マガジン社	2010.12	1,143	978-4-583-61743-5
689	指導者バカ	西村卓二	日本経済新聞出版社	2010.12	850	978-4-532-26101-6
690	レベルアップする!野球	石橋秀幸	西東社	2010.12	1,200	978-4-7916-1690-9
691	野球技術 捕手編 捕手の心得、構え、捕球、送球、配球のすべて	西井哲夫	舵社	2010.12	1,800	978-4-8072-6539-8
692	プロ野球the Technical		ベースボール・マガジン社	2010.12	1,429	978-4-583-61742-8
693	ゴルフ潜在軌道理論	栗林保雄	日本経済新聞出版社	2010.12	2,000	978-4-532-16777-6
694	日本スキー教程 安全編	全日本スキー連盟	スキージャーナル	2010.12	2,800	978-4-7899-1201-3
695	北海道の登山史	安田治	北海道新聞社	2010.12	1,800	978-4-89453-573-2
696	大相撲力士名鑑 平成23年版	京須利敏	共同通信社	2010.12	2,700	978-4-7641-0621-5
697	格闘技 技の大百科		ベースボール・マガジン社	2010.12	1,429	978-4-583-61741-1
698	始める!八極拳	青木嘉教	愛隆堂	2010.12	1,900	978-4-7502-0315-7
699	THE SAMURAI MIND	クリストファー・ヘルマン	チャールズ・イー・タトル出版	2010.12	1,400	978-4-8053-1155-4
700	山本博のゼロから始めるアーチェリー	山本博	実業之日本社	2010.12	1,500	978-4-408-45316-3
701	スポーツマネジメントを科学する	日本スポーツマネジメント学会	創文企画	2010.11	1,800	978-4-86413-007-3
702	Rによるスポーツ統計学	青柳領	櫂歌書房	2010.11	1,800	978-4-434-14854-5
703	アスレティック・トレーニング入門	スー・ケイ・ヒルマン	大修館書店	2010.11	2,800	978-4-469-26706-8
704	金メダル遺伝子を探せ!	善家賢	角川書店	2010.11	1,400	978-4-04-885078-0
705	運動生理学のニューエビデンス	宮村実晴	真興交易(株)医書出版部	2010.11	8,500	978-4-88003-846-9
706	スポーツ音響システムガイド	日本体育施設協会スポーツ音響部会技術委員会	日本体育施設協会スポーツ音響部会	2010.11	2,300	978-4-924833-50-0
707	ストップ・ザ・オーバートレーニング　新版	新畑茂充	黎明書房	2010.11	1,700	978-4-654-07620-8
708	ボディメンテナンスメソッド	石井直方	成美堂出版	2010.11	1,200	978-4-415-30935-4
709	サッカー最強の戦略・戦術論	西部謙司	PHPエディターズ・グループ	2010.11	1,500	978-4-569-79172-2
710	サッカー「真」常識	後藤健生	学研パブリッシング	2010.11	1,400	978-4-05-404748-8
711	テニスダブルスの基本レッスン	石井弘樹	新星出版社	2010.11	1,200	978-4-405-08660-9
712	教育本部オフィシャル・ブック 2011年度	全日本スキー連盟	スキージャーナル	2010.11	2,300	978-4-7899-1202-0
713	武道的感性の高め方	柳川昌弘	BABジャパン	2010.11	1,400	978-4-86220-545-2
714	柔道体型別技の大百科 1 背負投/体落		ベースボール・マガジン社	2010.11	1,800	978-4-583-10318-1
715	柔道体型別技の大百科 3 捨身技/返技/大内刈/小内刈/組み手		ベースボール・マガジン社	2010.11	1,800	978-4-583-10320-4
716	柔道体型別技の大百科 2 大外刈/内股/払腰		ベースボール・マガジン社	2010.11	1,800	978-4-583-10319-8
717	ハンターシート馬術	ジョージ・H.モリス	恒星社厚生閣	2010.11	4,500	978-4-7699-1233-0
718	現代スポーツ評論 23 特集スポーツ思想を学ぶ	友添秀則	創文企画	2010.11	1,600	978-4-86413-008-0

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
719	スポーツイベントのマーケティング	間宮聰夫	市村出版	2010.10	3,000	978-4-902109-22-1
720	〈スポーツする身体〉とはなにか	竹谷和之	叢文社	2010.10	2,000	978-4-7947-0653-9
721	あなたの運動は大丈夫?	葛西奈津子	明治書院	2010.10	1,200	978-4-625-68454-8
722	スポーツと政治的なるもの	松井良明	叢文社	2010.10	2,000	978-4-7947-0652-2
723	ドイツに学ぶスポーツクラブの発展と社会公益性	クリストフ・ブロイアー	創文企画	2010.10	1,800	978-4-86413-005-9
724	元気くんとのん気ちゃんの運動あそび	犬飼己紀子	遊戯社	2010.10	1,000	978-4-89659-007-4
725	歩行寿命が延びる!セーフティウォーキング	土井龍雄	三省堂	2010.10	1,500	978-4-385-36483-4
726	バスケットボールルール・審判・スコアの付け方	東祐二	池田書店	2010.10	780	978-4-262-16342-0
727	采配力	川淵三郎	PHP研究所	2010.10	760	978-4-569-77901-0
728	サッカー競技規則 2010/2011	日本サッカー協会審判委員会	日本サッカー協会	2010.10	1,500	978-4-583-10304-4
729	スイミング解剖学	イアン・マクロード	ベースボール・マガジン社	2010.10	2,200	978-4-583-10277-1
730	武道的思考	内田樹	筑摩書房	2010.10	1,600	978-4-480-01507-5
731	三十二式太極剣	中国・人民体育出版社	ベースボール・マガジン社	2010.10	800	978-4-583-10310-5
732	身体能力を高める「和の所作」	安田登	筑摩書房	2010.10	600	978-4-480-42754-0
733	ACSM健康にかかわる体力の測定と評価	アメリカスポーツ医学会	市村出版	2010.1	3,400	978-4-902109-17-7
734	スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション	内山英司	運動と医学の出版社	2010.1	5,800	978-4-904862-00-1
735	足関節捻挫予防プログラムの科学的基礎	福林徹	ナップ	2010.1	2,500	978-4-931411-91-3
736	スポーツサイエンス入門	田口貞善	丸善	2010.1	2,900	978-4-621-08216-4
737	体の軸・心の軸・生き方の軸	高岡英夫	ベースボール・マガジン社	2010.1	2,000	978-4-583-10191-0
738	子どものスポーツライフ・データ 2010		笹川スポーツ財団	2010.1	2,000	978-4-915944-43-7
739	青少年のスポーツライフ・データ 2010		笹川スポーツ財団	2010.1	2,000	978-4-915944-42-0
740	マラソン100回の知恵	原章二	平凡社	2010.1	680	978-4-582-85507-4
741	山の遭難	羽根田治	平凡社	2010.1	760	978-4-582-85506-7
742	レッスル・カルチャー	岡井崇之	風塵社	2010.1	1,800	978-4-7763-0046-5
743	合気道探求 第39号	合気会「合気道探求」編集委員会	出版芸術社	2010.1	1,000	978-4-88293-386-1
744	スポーツ社会学研究 第18巻第2号(2010)	日本スポーツ社会学会	日本スポーツ社会学会	2010.09	1,800	978-4-86413-004-2
745	トップアスリート 天使と悪魔の心理学	ポール・ゴーガティ	東邦出版	2010.09	1,500	978-4-8094-0886-1
746	テーピング	小柳磨毅	文光堂	2010.09	3,500	978-4-8306-5156-4
747	図解最先端テーピング術	岩崎由純	東邦出版	2010.09	1,429	978-4-8094-0882-3
748	高齢者のための筋力トレーニング	鈴木正之	黎明書房	2010.09	2,800	978-4-654-07619-2
749	バットマンになる!	E.ポール・ゼーア	青土社	2010.09	2,400	978-4-7917-6570-6
750	ファンクショナルトレーニング	中村千秋	文光堂	2010.09	4,500	978-4-8306-5157-1
751	女性アスリートのための筋力トレーニング科学	鈴木正之	黎明書房	2010.09	2,300	978-4-654-07617-8
752	積極的マイナス思考のすすめ	友末亮三	スキージャーナル	2010.09	1,400	978-4-7899-2131-2
753	ドイツ体操祭と国民統合	松尾順一	創文企画	2010.09	5,400	978-4-86413-001-1
754	裸足ランニング	吉野剛	ベースボール・マガジン社	2010.09	1,300	978-4-583-10305-1
755	わかりやすいバスケットボールのルール 2010	成美堂出版編集部	成美堂出版	2010.09	700	978-4-415-30956-9
756	ベスト・オブ・コーチング＆プレイング・バレーボール vol.1 個人スキ		バレーボール・アンリミテッド	2010.09	1,500	978-4-434-14822-4
757	サッカー専用ボディ強化計画	鈴木章史	スタジオタッククリエイティブ	2010.09	1,500	978-4-88393-414-0
758	テニスセンスが身に付く本	橋爪宏幸	学研パブリッシング	2010.09	1,500	978-4-05-404714-3
759	「まわり道」の効用	小宮山悟	講談社	2010.09	838	978-4-06-272677-1
760	分析野球	大田川茂樹	舵社	2010.09	1,600	978-4-8072-6538-1
761	ゴルフのスコアは「誤解」に気づけば必ずアップする!	宮里優	角川SSコミュニケーションズ	2010.09	760	978-4-04-731529-7
762	クロール	奥野景介	ベースボール・マガジン社	2010.09	1,800	978-4-583-10300-6
763	自転車でどこまでも走る	のぐちやすお	ラピュータ	2010.09	1,500	978-4-905055-00-6

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
764	ツール・ド・ランス	ビル・ストリックランド	アメリカン・ブック＆シネマ	2010.09	1,800	978-4-903825-06-9
765	めざせ!健康運動指導士演習問題集	呉泰雄	ほおずき書籍	2010.09	2,800	978-4-434-14819-4
766	闘野の思考	佐々木康	創文企画	2010.08	2,000	978-4-86413-000-4
767	スポーツメンタルトレーニング指導士活用ガイドブック	日本スポーツ心理学会資格認定委員会	ベースボール・マガジン社	2010.08	2,500	978-4-583-10290-0
768	ジムに通う前に読む本	桜井静香	講談社	2010.08	900	978-4-06-257695-6
769	賢いスポーツ少年を育てる	永井洋一	大修館書店	2010.08	1,500	978-4-469-26704-4
770	Jリーグの行動科学	高橋潔	白桃書房	2010.08	3,300	978-4-561-26537-5
771	世界は日本サッカーをどう報じたか	木崎伸也	ベストセラーズ	2010.08	724	978-4-584-12291-4
772	楕円の学び	上野裕一	叢文社	2010.08	952	978-4-7947-0650-8
773	絶対うまくなる!バドミントン	大束忠司	主婦の友社	2010.08	1,500	978-4-07-273821-4
774	広陵野球の美学	山田良純	南々社	2010.08	1,500	978-4-931524-79-8
775	必ずうまくなる野球・練習法	高畑好秀	コスミック出版	2010.08	1,205	978-4-7747-5393-5
776	学生野球憲章とはなにか	中村哲也	青弓社	2010.08	1,600	978-4-7872-3318-9
777	また自己ベスト!のゴルフ	桐林宏光	ゴルフダイジェスト社	2010.08	838	978-4-7728-4120-7
778	剣道は私の哲学	宮崎正孝	体育とスポーツ出版社	2010.08	2,100	978-4-88458-238-8
779	弓具の雑学事典	日本武道学会・弓道専門分科会	スキージャーナル	2010.08	2,000	978-4-7899-2130-5
780	注意と運動学習	Gabriele Wulf	市村出版	2010.07	3,000	978-4-902109-21-4
781	スポーツ障害から生き方を学ぶ	杉野昭博	生活書院	2010.07	2,500	978-4-903690-58-2
782	スポーツマッサージ	S.フリッツ	西村書店	2010.07	4,200	978-4-89013-397-0
783	スポーツゼロ年代	毎日新聞運動部	創文企画	2010.07	1,700	978-4-921164-99-7
784	バスケットボール選手のためのフィジカル・トレーニング	窪田邦彦	ベースボール・マガジン社	2010.07	1,143	978-4-583-61693-3
785	サッカー戦術の歴史	ジョナサン・ウィルソン	筑摩書房	2010.07	4,000	978-4-480-87822-9
786	甲子園最高勝率	中村順司	ベースボール・マガジン社	2010.07	900	978-4-583-10281-8
787	動くが負け	岡田彰布	幻冬舎	2010.07	740	978-4-344-98178-2
788	もっと!もっと!!泳力が伸びる288のエクササイズ	加藤健志	ベースボール・マガジン社	2010.07	2,000	978-4-583-10250-4
789	大相撲行司の伝統と変化	根間弘海	専修大学出版局	2010.07	3,600	978-4-88125-256-7
790	相撲の歴史	新田一郎	講談社	2010.07	1,200	978-4-06-292001-8
791	フットボールカルテ Vol.3（2010July）		BIG SHOT	2010.07	714	978-4-434-14730-2
792	スポーツコンディショニング	ビル・フォーラン	大修館書店	2010.06	3,400	978-4-469-26703-7
793	基礎から学ぶ!スポーツマッサージ	溝口秀雪	ベースボール・マガジン社	2010.06	1,600	978-4-583-10214-6
794	中高年者の疾病予防・改善のための運動プログラム　第2版	日本体育協会	ナップ	2010.06	2,200	978-4-931411-97-5
795	中高年者の元気長寿のための運動プログラム　第2版	日本体育協会	ナップ	2010.06	2,000	978-4-931411-96-8
796	スポーツ医学常識のうそ	横江清司	全日本病院出版会	2010.06	2,600	978-4-88117-054-0
797	屋外体育施設の維持管理マニュアル	日本体育施設協会屋外体育施設部会	日本体育施設協会屋外体育施設部会	2010.06	1,800	978-4-924833-49-4
798	パワー系アスリートのためのトレーニングメソッド	村上貴弘	実業之日本社	2010.06	1,500	978-4-408-45291-3
799	競技力アップのボディコントロール	小林敬和	ベースボール・マガジン社	2010.06	1,800	978-4-583-10262-7
800	勝つ!ひと言	山田ゆかり	朝日新聞出版	2010.06	700	978-4-02-273343-6
801	日本人の健康体力と運動処方	唐津邦利	文園社	2010.06	1,600	978-4-89336-241-4
802	バスケットボールアタッキング・ゾーンディフェンス	ジョン・クレッセ	大修館書店	2010.06	1,700	978-4-469-26689-4
803	アフリカサッカー	イアン・ホーキー	実業之日本社	2010.06	1,900	978-4-408-45282-1
804	「イチローの成功習慣」に学ぶ	児玉光雄	サンマーク出版	2010.06	1,300	978-4-7631-3046-4
805	海を渡った柔術と柔道	坂上康博	青弓社	2010.06	2,000	978-4-7872-3315-8
806	スポーツ法学序説	千葉正士	信山社	2010.06	1,480	978-4-7972-8003-6
807	トレイルランニング	有吉正博	岩波書店	2010.05	1,900	978-4-00-024150-2
808	サッカー依存症	武智幸徳	日本経済新聞出版社	2010.05	1,500	978-4-532-16741-7

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
809	現代スポーツ評論 22 特集ネット時代のスポーツメディア	清水諭	創文企画	2010.05	1,600	978-4-921164-98-0
810	スポーツのリスクマネジメント	小笠原正	ぎょうせい	2009.9	2,857	978-4-324-08838-8
811	近代スポーツのミッションは終わったか	稲垣正浩	平凡社	2009.9	2,400	978-4-582-83427-7
812	スポーツビジネス・マジック	小林淑一	電通	2009.9	1,600	978-4-02-100902-0
813	Sports Biomechanics　改訂版	川島一明	アイ・ケイコーポレーション	2009.9	1,500	978-4-87492-277-4
814	スポーツ社会学研究 第17巻第2号(2009)	日本スポーツ社会学会	日本スポーツ社会学会	2009.9	1,800	978-4-921164-90-4
815	運動と免疫	大野秀樹	ナップ	2009.9	3,600	978-4-931411-88-3
816	幻の東京オリンピックとその時代	坂上康博	青弓社	2009.9	4,000	978-4-7872-2036-3
817	事故防止のためのスポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引	日本体育施設協会施設用器具部会	日本体育施設協会施設用器具部会	2009.9	2,500	978-4-924833-48-7
818	オリンピック返上と満州事変	梶原英之	海鳴社	2009.9	1,600	978-4-87525-261-0
819	和でエクササイズ	湯浅景元	岩波書店	2009.9	1,200	978-4-00-025769-5
820	ランニングの作法	中野ジェームズ修一	ソフトバンククリエイティブ	2009.9	760	978-4-7973-5377-8
821	黄金世代	元川悦子	スキージャーナル	2009.9	1,600	978-4-7899-0073-7
822	世界漕艇物語	クリストファー・ドッド	東北大学出版会	2009.9	4,500	978-4-86163-121-4
823	登山は元気を与えてくれる総合芸術	大野秀樹	ナップ	2009.9	1,100	978-4-931411-87-6
824	スポーツ医学実践ナビ	武藤芳照	日本医事新報社	2009.8	5,000	978-4-7849-6119-1
825	肩・肘のスポーツ障害	金谷文則	メジカルビュー社	2009.8	10,000	978-4-7583-1010-9
826	水泳パフォーマンスの最新理論	野村武男	筑波大学出版会	2009.8	3,800	978-4-904074-13-8
827	中村敏雄著作集 別巻 中村敏雄の人と仕事	中村敏雄	創文企画	2009.7	3,000	978-4-921164-87-4
828	つなぐ力	石井信	集英社	2009.7	933	978-4-08-781425-5
829	メディアスポーツ解体	森田浩之	日本放送出版協会	2009.12	970	978-4-14-091148-8
830	基礎から学ぶ!スポーツ救急医学	奥水健治	ベースボール・マガジン社	2009.12	1,600	978-4-583-10213-9
831	スポーツ立国の虚像	谷口源太郎	花伝社	2009.12	1,800	978-4-7634-0561-6
832	2016東京オリンピック招致失敗で変わる日本のスポーツ	杉山茂	創文企画	2009.12	1,000	978-4-921164-93-5
833	突破力	ジェイソン・セルク	マグロウヒル・エデュケーション	2009.12	1,600	978-4-88996-269-7
834	コントロロジー	ジョセフ・H.ピラティス	万来舎	2009.12	2,800	978-4-901221-42-9
835	オランダに学ぶサッカー戦術練習メニュー120	林雅人	池田書店	2009.12	1,500	978-4-262-16332-1
836	オシムの伝言	千田善	みすず書房	2009.12	2,400	978-4-622-07504-2
837	サッカー＆フットサル足技スーパーテクニック	アレグレ・フットボールコーチング	新星出版社	2009.12	1,500	978-4-405-08651-7
838	サッカーを100倍楽しむための審判入門	松崎康弘	講談社	2009.12	1,300	978-4-06-215693-6
839	シャビもセスクも学んだジュニア年代の考えるサッカー・トレーニング		ベースボール・マガジン社	2009.12	1,143	978-4-583-61633-9
840	不屈の「心体」	大畑大介	文藝春秋	2009.12	880	978-4-16-660732-7
841	雪山の基本	中山建生	枻出版社	2009.12	1,600	978-4-7779-1494-4
842	居合道審査員の目	「剣道時代」編集部	体育とスポーツ出版社	2009.12	2,000	978-4-88458-235-7
843	健康運動実践指導者試験筆記対策分野別＆模擬問題集	NESTA JAPAN	日本能率協会マネジメントセンター	2009.12	2,000	978-4-8207-4621-8
844	トップスポーツビジネスの最前線 2009 ドリーム・ジョブへの道	平田竹男	講談社	2009.11	1,714	978-4-06-215971-5
845	スポーツ医学入門	目崎登	文光堂	2009.11	3,500	978-4-8306-5153-3
846	ニュースポーツの面白さと楽しみ方へのチャレンジ	愛知東邦大学地域創造研究所	唯学書房	2009.11	1,800	978-4-902225-52-5
847	スプリントトレーニング	日本トレーニング科学会	朝倉書店	2009.11	3,400	978-4-254-69020-0
848	BIOMECHANICS STABILIZATION OFFICIAL BOOK	柳谷登志雄	PCY	2009.11	1,800	978-4-901173-24-7
849	教える力、育てる力		講談社	2009.11	838	978-4-06-378121-2
850	ランニングと脳	久保田競	朝倉書店	2009.11	1,900	978-4-254-69043-9
851	陸上競技のコーチング・指導のための実践的研究	岡野進	創文企画	2009.11	3,400	978-4-921164-91-1
852	ランニングを極める	マルコム・ボーク	春秋社	2009.11	1,800	978-4-393-71374-7
853	マラソン完走マニュアル	ランニングマガジンcourir	ベースボール・マガジン社	2009.11	1,429	978-4-583-61628-5

	書　名	著　者	出版者1	出版年	本体価格	ISBN
854	ブラジルバレーを最強にした「人」と「システム」	米虫紀子	東邦出版	2009.11	1,500	978-4-8094-0834-2
855	植田辰哉徹底マネジメント	植田辰哉	総合法令出版	2009.11	1,600	978-4-86280-181-4
856	日本ラグビー世界への始動	日本ラグビー狂会	双葉社	2009.11	1,600	978-4-575-30181-6
857	これでダブルスに勝てる	ボブ・ハーマン	アイオーエム	2009.11	1,500	978-4-900442-50-4
858	スカウト	安倍昌彦	日刊スポーツ出版社	2009.11	1,500	978-4-8172-0273-4
859	安打量産!!打率アップ・メソッド	手塚一志	高橋書店	2009.11	1,600	978-4-471-14107-3
860	野球は人生そのものだ	長嶋茂雄	日本経済新聞出版社	2009.11	1,600	978-4-532-16723-3
861	野村克也知略と戦略	二宮清純	PHP研究所	2009.11	1,300	978-4-569-77174-8
862	自然で楽なスキーのすすめ	全日本スキー連盟・教育本部	スキージャーナル	2009.11	2,400	978-4-7899-1196-2
863	スキー指導者必携	全日本スキー連盟・教育本部	スキージャーナル	2009.11	2,800	978-4-7899-1197-9
864	教育本部オフィシャル・ブック 2010年度	全日本スキー連盟	スキージャーナル	2009.11	2,000	978-4-7899-1198-6
865	SAJスノーボード教程	全日本スキー連盟・教育本部	スキージャーナル	2009.11	2,800	978-4-7899-1199-3
866	脳と刀	保江邦夫	海鳴社	2009.11	2,000	978-4-87525-262-7
867	平直行が行く身体感覚の宝島	平直行	BABジャパン	2009.11	1,400	978-4-86220-465-3
868	指導者の器	山下泰裕	日経BP社	2009.11	1,400	978-4-8222-6548-9
869	0からわかる木刀による剣道基本技稽古法	太田忠徳	体育とスポーツ出版社	2009.11	2,000	978-4-88458-234-0
870	百射百中を目指す!「勝つ弓道」のポイント50	落合榮司	メイツ出版	2009.11	1,300	978-4-7804-0722-8
871	現代スポーツ評論 21 特集国際化時代の武道を考える	友添秀則	創文企画	2009.11	1,600	978-4-921164-92-8
872	スポーツライターになろう!	川端康生	青弓社	2009.10	1,600	978-4-7872-9192-9
873	継続する力	児玉光雄	幻冬舎	2009.10	952	978-4-344-01739-9
874	これなら続く!考える筋トレ	有賀誠司	岩波書店	2009.10	1,400	978-4-00-022497-0
875	カラダ×ココロ改善計画	森本貴義	PHP研究所	2009.10	1,200	978-4-569-77313-1
876	「才能」の伸ばし方	折山淑美	集英社	2009.10	720	978-4-08-720512-1
877	ボディIQ	廣戸聡一	ベースボール・マガジン社	2009.10	1,500	978-4-583-10152-1
878	ストレッチングアナトミー	Arnold G.Nelson	医学映像教育センター	2009.10	3,800	978-4-86243-323-7
879	伝承遊びアラカルト	西村誠	昭和堂	2009.10	2,000	978-4-8122-0942-4
880	ランニングの世界 8 特集なぜ走るのか	山西哲郎	創文企画	2009.10	1,600	978-4-921164-89-8
881	日本一監督が教えるフットサル速効マニュアル100	須賀雄大	白夜書房	2009.10	1,600	978-4-86191-558-1
882	サッカー競技規則 2009/2010	日本サッカー協会審判委員会	日本サッカー協会	2009.10	1,500	978-4-583-10229-0
883	ケース・ブック 2009-2012	国際セーリング連盟	舵社	2009.10	2,000	978-4-8072-1044-2
884	1日100キロ超えをめざす実践的サイクリング	のぐちやすお	ラピュータ	2009.10	1,500	978-4-947752-90-1
885	弓道パーフェクトマスター	村木恒夫	新星出版社	2009.10	1,500	978-4-405-08647-0

【資料 8-1】

「社会福祉援助技術実習」承諾先

	施設名及び施設種別	氏名 （法人にあっては名称）
実習施設	佐賀市社会福祉協議会	社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会
	救護施設 かんざき日の隈寮	社会福祉法人 佐賀整肢学園
	特別養護老人ホーム 佐賀整肢学園	社会福祉法人 佐賀整肢学園
	特別養護老人ホーム きんりゅうケアセンター	社会福祉法人 凌友会
	児童養護施設 佐賀清光園	社会福祉法人 佐賀清光園
	就労支援事業所 みのり	社会福祉法人 みのり福祉会
	障害者福祉サービス事業所 どんぐり村	社会福祉法人 若楠
	生活介護事業所 響	社会福祉法人 スプリングひびき
	知的障害者就労支援施設 かささぎの里	社会福祉法人 かささぎ福祉会
	障害者支援施設 佐賀整肢学園・オークス	社会福祉法人 佐賀整肢学園
	障害者支援施設 長光園障害者支援センター	社会福祉法人 長興会

【資料 8-2】

「健康産業施設技術実習」承諾先

・株式会社リョーユースポーツプラザ

・佐賀市健康運動センター

・小城市牛津保健福祉センター

【資料 8-3】

「教育実習」承諾先

・佐賀清和高等学校

・神埼市教育委員会（神埼中学校、千代田中学校、脊振中学校）

・吉野ヶ里町教育委員会（三田川中学校、東脊振中学校）

実習業務委託契約書

西九州大学（以下、甲という）と　　（以下、乙という）は、甲が学外実習を目的として甲の学生（以下、実習生という）を乙へ派遣し実習業務を委託することについて、次のとおり契約を締結する。

（実習事項）

第１条　甲が乙に委託する業務は、次のとおりである。

（１）委託業務名　　健康産業施設等現場実習

（２）委託業務内容　　学生への実習指導

（３）実習期間　　平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日

（４）実習時間　　時　　分から　　時　　分

（５）実習生数　　名

（実習要領）

第２条　実習要領等は甲乙協議のうえ、実施するものとする。

（１）　実習生は、施設長の命じた職員の指示に基づき実習を行うものとする。

（２）　実習生は、実習期間中に知り得た情報を実習中および実習終了後も第三者に漏洩しないものとする。

（３）　実習生として相応しくない行為があった場合、乙は実習を停止するか、もしくはこの契約を解除または、変更することができる。

（事故による損害賠償等）

第３条　実習生が実習中に故意または過失により乙の施設備品等を損傷した場合は、甲はその損害を賠償しなければならない。ただし、乙が損害の程度が軽微と認めた場合はこの限りではない。

２　実習生が実習中に故意または過失により第三者に損害を与えた場合は、甲はその賠償の責を負うものとする。ただし、その損害が乙の責によるときは、この限りではない。

（委託料）

第４条　実習業務委託料の額は、実習生１人１日につき 1,000 円とする。

（協議）

第５条　この契約に定めのない事項またはこの契約の履行について疑義が生じたときは、甲乙協議のうえ定めるものとする。

なお、この契約の締結を証するため、本契約書２通を作成し、甲・乙両者記名押印のうえ各１通を保有するものとする。

平成　　年　　月　　日

甲　　佐賀県神埼市神埼町尾崎 4490-9
西九州大学
学長　　向井　常博

乙

資料10. 短期インターンシップ実績一覧表（平成22～24年度）

資料　10

平成22年度実績

	事業所／団体名	参加者数
1	株式会社　あんくるふじや	1
2	三瀬保育園	1
3	社会福祉法人川原福祉会　くるみ保育園	2
4	武内保育園	1
5	株式会社　ニューエイジ	1
6	株式会社　ニューオータニ九州　ホテルニューオータニ佐賀	1
7	社会福祉法人慈光会　知的障害者更生施設あすなろの里	1
8	ホームセンターユートク　佐賀店	1
9	諸富保育園	1
10	株式会社　積文館書店　江北店	1
11	株式会社　優和会　いこいの家	3
12	農家民宿　具座	4
13	株式会社　シャトー文雅	1
14	なかよし保育園	2
15	フラワーショップサガ	3
16	協同組合アルタ・ホープグループ（開成店）	2
17	佐賀県教育委員会	1
	合計	27

平成23年度実績

	事業所／団体名	参加者数
1	佐賀市役所 佐賀市環境センター	1
2	ホテルニューオータニ佐賀	2
3	保育園ひなた村自然塾	1
4	積文館江北店	1
5	ダイレックス株式会社嘉木瀬店	1
6	佐賀市健康運動センター	1
7	株式会社ヤクルト本社佐賀工場	3
8	本村製菓株式会社	1
9	NPO法人鳳雛塾	1
10	社会福祉法人慈愛会□　諸富保育園	4
11	フラワーショップサガ	1
12	株式会社ホテルマリターレ創世佐賀	1
13	株式会社観光ホテル田代田館	1
14	日清医療食品株式会社ヘル囚ケアフードサービスC九州	1
15	田中養鶏場	1
16	ハンズマン大野城店	1
17	株式会社 西日本旅行	1
	合計	23

平成24年度実績

	事業所／団体名	参加者数
1	唐津市近代図書館	1
2	宮島醤油株式会社	1
3	愛生会　恵誠園	1
4	まんえい堂	1
5	財団法人佐賀保育園	1
6	フラワーショップ佐賀	2
7	丸秀醤油株式会社	1
8	株式会社　ヨシケイ佐賀	1
9	特定非営利活動法人NPO小麦の家	1
10	武雄市役所　子ども部　未来課	1
11	株式会社　ダイレックス　佐賀店	2
12	大分マリーンパレス水族館「うみたまご」	2
13	CSOかんざき	4
14	株式会社　ライフサポートNEO	1
15	株式会社　マリトピア	3
16	シャトー文雅	2
17	永原学園　西九州大学	19
	合計	44

資料11－1

科目名	あすなろう体験Ⅰ（基礎）					開講キャンパス	神　埼
担当者	各学科担当教員						
開講年次	1	開講期	通年（隔週）	単位数	1	必修･選択	必　修
授業の概要及びねらい	本学の建学精神である「あすなろう」に基づき、幅広くかつ明確な職業観を養うための基礎を身につけるとともに、社会人として求められる基礎力を理解することをねらいとする。そのため、専門分野にとらわれない学内外における幅広い活動への参加・参画体験機会を提供する。						
授業の到達目標	1）キャリア形成のためのポートフォリオ作成能力の基礎を身につける ・これまでの体験を振り返り、自分史としてまとめる ・この１年間を通じて経験する様々な出来事（体験活動等）について、記録する習慣を身につける ・経験した事を主観的、客観的に振り返ることができる ・次回への課題設定等をより具体的に記入（表現）できる ・社会人に必要とされる自律的能力の基礎を獲得する 2）専門分野にとらわれない様々な体験活動を通して幅広い職業観を養うための基礎（知識）を身につける 3）社会人基礎力について						
学習方法	正規時間内の講義・演習及び正規時間外での学外体験						
テキスト及び参考書等	『あすなろう学―西九大生のための就業力育成BOOK―（西九州大学あすなろうセンター編）』 その他適宜資料を配布する						

評価基準・方法	到達目標				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%
定期試験					
小テスト等					
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	20
授業態度			○		15
受講者の発表	○	○	○	○	10
授業への参加度			◎		40
その他	○	○	○	○	15
	キャリア・ポートフォリオ				
合計					100

（表中の記号　○評価する観点　◎評価の際に重視する観点）

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）	
第1週	オリエンテーション　（「体験Ⅰ」について、社会人基礎力診断テスト等）　【全体→ゼミ別 】
第2週	ポートフォリオ作成　（自分史、現在・将来の自分について及び体験活動に関する入力方法等）【全体】
第3週	キャリア講座①　（仕事、学び、キャリアとは）　【ゼミ別】
第4週	社会人基礎力講座①　（「考え抜く力」、「前に踏み出す力」を理解する）　【全体】
第5週	社会人基礎力講座②　（「チームで働く力」を理解する）　【全体】
第6週	社会人基礎力講座③　（上記３つの力の理解を深める）　【ゼミ別】
第7週	★体験活動
第8週	・学内外のイベントへの参加・参画
第9週	・講演、セミナー、ワークショップ等への参加・参画
第10週	・その他　各種ボランティア活動等
第11週	※所属する・しない学科に関連する活動に条件があるので注意すること（テキスト参照）
第12週	キャリア講座②　（キャリア形成について）　【全体】
第13週	キャリア講座③　（体験活動を通じて得られた経験を基に、自身のキャリア形成について考える）【ゼミ別】
第14週	体験活動報告会①　（プレゼンテーション、討論）　【ゼミ別】
第15週	体験活動報告会②　（プレゼンテーション、討論）　【全体】
第16週	体験活動報告会③　（プレゼンテーション、討論）　【全学】
備　考	本科目は「基礎演習あすなろう」との連携を図りながら実施されることから、授業計画の各週の学習内容はあくまでも予定であり、速度に応じて多少の変更が出ることがあります。

資料11－2

科目名	あすなろう体験Ⅱ（実践）					開講キャンパス	神　埼
担当者	各学科担当教員						
開講年次	2	開講期	通年	単位数	1	必修･選択	選　択
授業の概要及びねらい	本科目では「あすなろう体験Ⅰ（基礎）」で身につけた、幅広くかつ明確な職業観を養うための基礎と社会人基礎力の知識を活かした学内外の企業インターンシップ・海外インターンシップ等への参加を通じて、職業人としての「総合的な社会的知性」を習得することをねらいとする。						
授業の到達目標	１）キャリア形成のためのポートフォリオ作成能力を身につける ・大学生活を通じて経験する様々な課題を体験・克服していく過程を記録し、次への課題を明らかにすることが　できる ・これにより、社会人に必要とされる自律的能力を獲得する ２）職業人としての「総合的な社会的知性」を習得する ・学内インターンシップに参加し、学外や海外でのインターンシップへの準備を行う ・学外インターンシップにより幅広い職業観を身につけるとともに、社会人基礎力の理解を深める ３）グループでの効果的な討議力や発表力を身につける ４）活動報告会の企画・運営を行うことができる						
学習方法	正規時間内の講義・演習及び正規時間外でのインターンシップ						
テキスト及び参考書等	『あすなろう学―西九大生のための就業力育成BOOK―（西九州大学あすなろうセンター編）』、その他適宜資料を配布する						

評価基準・方法	到達目標				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%
定期試験					
小テスト等					
インターンシップへの参加	○	○	◎	○	40
授業態度			○		15
受講者の発表	○	○	○	○	10
授業への参加度			◎		20
その他	○	○	○	○	15
	キャリア・ポートフォリオ				
合計					100

（表中の記号　○評価する観点　◎評価の際に重視する観点　出席は欠格条件　その他下段については自由記述可能）

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）

通年	第1回	オリエンテーション　（「体験Ⅱ」について、社会人基礎力診断テスト等）
	第2回	インターンシップに向けて①（コミュニケーション・マナー学習等）
	第3回	インターンシップに向けて②（研修先調査研究等）
	第4回	インターンシップに向けて③（ケースメソッド　その１）
	第5回	・職場体験（アーリーエクスポージャー） ・企業体験（企業インターンシップ） ・学内インターンシップ（あすなろうセンター補助） ・学内のイベントへの参加・参画 ・講演、セミナー、ワークショップ等への参加・参画
	第6回	
	第7回	
	第8回	
	第9回	
	第10回	
	第11回	
	第12回	
	第13回	総合討論会（準備）
	第14回	総合討論会（個人発表、グループ討議）
	第15回	総合討論会（全体会（体験Ⅰと合同）発表）
	第16回	総括（キャリア・ポートフォリオ更新、社会人基礎力診断テスト等）

備　考	本科目は原則として「あすなろう体験Ⅰ（基礎）」科目の単位取得者のみ受講できるものとする。 授業計画の各週の学習内容はあくまでも予定であり、進度に応じて多少の変更が出ることがあります。 ※各評価項目の点数配分についてはオリエンテーション時に提示します。

資料11－3

科目名	あすなろう体験Ⅲ（応用実践）					開講キャンパス	神　埼
担当者	吉原俊樹、各学科担当教員						
開講年次	3	開講期	通年（隔週）	単位数	1	必修･選択	選　択
授業の概要及びねらい	本科目では、あすなろう体験Ⅰ（基礎）、体験Ⅱ（実践）それぞれで身につけた幅広い職業観や社会人基礎力、そして総合的な社会的知性を応用しながら実践する能力を養うことをねらいとする。そのため、市民社会組織（CSO）や企業等と協働して地域活性化や地域づくり事業を企画・運営する機会を提供する。						
授業の到達目標	1）キャリア形成のためのポートフォリオ作成能力を身につける ・大学生活を通じて経験する様々な課題を体験・克服していく過程を記録し、次への課題を明らかにした上で具体的に取り組むことができる ・これにより、社会人に必要とされる自律的能力をさらに高める 2）職業人としての「総合的な社会的知性」を発揮する ・専門分野にとらわれない様々な体験を主体的に実践する ・社会人基礎力を高める ・リーダーシップ力を高める ・企画・運営力を身につける 3）グループでの効果的な討議力や発表力を高める 4）地域社会の仕組みを理解し、社会に貢献する能力を身につける						
学習方法	講義・演習						
テキスト及び参考書等	『あすなろう学―西九大生のための就業力育成BOOK―（西九州大学あすなろうセンター編）』、その他適宜資料を配布する						

評価基準・方法	到達目標				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%
定期試験					
小テスト等					
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	10
授業態度			○		20
受講者の発表	○	○	○	○	10
授業への参加度			◎		50
その他	○	○	○	○	10
	キャリア・ポートフォリオ				
合計					100

（表中の記号　○評価する観点　◎評価の際に重視する観点　出席は欠格条件　その他下段については自由記述可能）

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）

通年	第1回	オリエンテーション　（「体験Ⅲ」について、社会人基礎力診断テスト等）
	第2回	地域社会（神埼）のまちづくりについての現状と課題（情報収集）
	第3回	CSO（市民社会組織）の社会課題への取組み（情報収集）
	第4回	〃
	第5回	実践事例研修　　地域社会現地での研修
	第6回	CSOと協働した課題解決（目的達成）へのテーマ（活動主題）の設定　　グループワーク
	第7回	〃　　課題解決（目的達成）への活動内容企画　　グループワーク
	第8回	絞り込んだテーマへの実践に向けて、地域現場での参画（長崎街道かんざき宿場まつり・櫛田の市など）
	第9回	〃
	第10回	地域社会での実践活動（受身での参加では無く、独立した自主的なコーナー運営）
	第11回	〃
	第12回	活動の振り返りと社会人としての今後の自分自身の在り方や物事への対処プログラムづくり
	第13回	総合討論会（準備）
	第14回	総合討論会（個人発表、グループ討議）
	第15回	総合討論会（全体会（体験Ⅰ・Ⅱと合同）発表）
	第16回	総括（キャリア・ポートフォリオ更新、社会人基礎力診断テスト等）

備　考	本科目は「あすなろう体験Ⅱ（応用）」科目の単位を取得して受講することが望ましい。 授業計画の各週の学習内容はあくまでも予定であり、進度に応じて多少の変更が予想される。

資料　12

参加者数の多かった活動例

活動日	イベント（ボランティア）の名称	具体的な活動内容	主催者	参加者
6/3他	みんなのしあわせ（共生など）	「共生の街づくり、性同一性障害、人権問題」等全4回	佐賀市 人権・同和政策課	40
6/4他	サガン鳥栖ボランティア	チケットもぎり、ごみ回収、誘導、身障者の介添えなど	株式会社サガン・ドリームス	69
6/9	多文化ソーシャルワーク講義	NPO法人国際エンゼル協会講師の講演 「国際社会における支援活動」の聴講	西九州大学 社会福祉学科	48
6/11	こどもまつりｉｎみやき	まつりの諸準備から運営に至るまでのサポート全般など	みやき町 こども応援隊(学童保育)	28
7/10他	サガン鳥栖ボランティア	チケットもぎり、ごみ回収、誘導、身障者の介添えなど	株式会社サガン・ドリームス	30
7/10他	大和特別支援学校 ボランティア養成講座	オリエンテーション､様々な体験遊び､子供たちとの交流	佐賀県立大和特別支援学校	20
7/23	第１７回長崎街道 かんざき宿場祭り	イベントスタッフ、うち水大作戦、パレード参加、本部	神埼市 かんざき宿場祭り実行委員会	28
8/7	佐賀城下栄の国まつりの 「総おどり」	大学コンソーシアム佐賀の一員として｢総おどり｣に参加	佐賀城下栄の国まつり実行委員会	21
8/20	第９回なかばる紀水苑 夏祭りボランティア	夏まつり会場準備、夜店販売手伝い、入所者の介助補助	特別養護老人ホーム なかばる紀水苑	20
9/2	作業療法学に関する講演	「作業療法学から見る社会・作業・健康」の聴講	大和日英基金 西九州大学作業療法学科 ほか	21
10/8･9 ･10･16	大川木工祭り・環境王祭り	出店販売の補助（綿菓子、ポップコーン、カレー、 ジュース、授産製品等）	社会福祉法人　大川市福祉会 木の香園就労支援センター	38
10/15 ･16他	ハートライトフェスタ2011	イルミネーションのチェック、飾りつけ、杭打ち、清掃等	鳥栖商工会議所青年部	57
10/23 他	サガン鳥栖ボランティア	チケットもぎり、ごみ回収、誘導、身障者の介添えなど	株式会社サガン・ドリームス	50
10/29 ･30	ひのくま祭ボランティア	東日本大震災西九大グループ復興支援隊関連ボランティア、 車の誘導、同窓会関連の諸業務、ＥＳＲＤサークルの手伝い	西九州大学あすなろうセンター	49
10/31	生物と環境に関する講演	【君たちは２１世紀をどう生きるか？】講演の聴講	西九州大学 健康栄養学科	48
11/3･ 5･6	佐賀バルーンフェスタ　ファンタ ジーバルーン ボランティア	ファンタジーバルーンの立ち上げおよび全般にわたる補助	佐賀熱気球大会運営委員会	43
11/17･18	かまっくの社会人基礎力up講座	ビンゴでマナー（挨拶・身だしなみ・接遇用語など）	西九州大学 あすなろうセンター	43
11/19･20	CSOフォーラムさが2011inとす	震災復興支援隊パネル展示、機材（パネル・テーブル等） の搬入・搬出、イベントの案内、アンケート調査など	ＮＰＯ法人とす市民活動 ネットワーク	22
11/21	国際交流講演会報告会	タイの「社会」「文化」「福祉」についての講義の聴講	西九州大学 国際交流委員会	97
12/1	年金学習セミナー	わかりやすく・ためになる年金学習セミナーへの参加	佐賀年金事務所	79
12/11	青年海外協力隊 帰国隊員報告会への参加	ＪＩＣＡ 帰国隊員による体験発表会の聴講	独立行政法人 国際協力機構（ＪＩＣＡ）	20
12/18	リハビリＯＳＣＥ	３年次のＯＳＣＥの準備、見学、後片付け等	西九州大学 リハビリテーション学部	46
24/ 1/7･8･9	ハートライトフェスタ鳥栖 in2011	電飾のチェック、イルミネーションの後片付け、公園 および近隣の清掃・その他	鳥栖商工会議所、 鳥栖商工会議所青年部	26
1/21	**平成２３年度体験活動報告会**	報告会におけるスタッフ（司会、受付・案内、駐車場等）	西九州大学 あすなろうセンター	22
1/29他	みんなが作るMy弁当コンテスト	佐賀県産の食材を使った手作り弁当のコンテスト	株式会社エフエム佐賀	24

資料　13

就業力向上を図る学内体制図